

2024年度

経営学部演習ガイド

明治大学

2024 年度演習一覧

演習の タイプ	コード	演習名	研究テーマ
【 2 年 半 タ イ プ 】	01	青木 克生	戦略と組織のマネジメント
	02	石塚 史樹	雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究
	03	一之瀬 真志	運動に対する生体反応とトレーニングによる身体適応のメカニズム
	04	大倉 学	財務会計における情報有用性に関する考究
	05	大槻 晴海	戦略管理会計に関する基礎的研究
	06	小俣 光文	データで企業活動を捉えるスペシャリストに！
	07	折方 のぞみ	グローバリズムと国際化社会：ヨーロッパ的視点からの世界観
	08	郝 燕書	中国における日系企業の人材マネジメント
	09	加藤 友佳	時事問題や税制
	10	金子 敦子	マネジメント・コミュニケーション、組織行動、グローバル経営人材育成
	11	キアナン・パトリック	言語と異文化コミュニケーション
	12	菊地 端夫	行政・自治体を中心とした公的組織・サービスのマネジメントに関する研究
	13	小関 隆志	非営利組織・社会的企業による地域課題への取り組み
	14	薩摩 秀登	歴史を通して世界を見つめる
	15	鈴井 正敏	ライフスタイル・マネジメント
	16	鷺見 淳	グローバル化と企業の国際経営
	17	竹内 拓史	ドイツ語圏の文学・文化研究
	18	田中 充洋	スポーツ組織マネジメント、ボールゲームのコーチング
	19	千葉 貴律	社会と会計（環境会計論、環境マネジメント論）
	20	塚本 一郎	持続可能な経済・金融・社会システム構築のための 価値創造経営・価値共創に関する研究
	21	辻 昌宏	現代イタリアの文化、社会を、EU 諸国や日本社会と比較し つつ考察する
	22	鳥居 陽介	日本における株式所有構造の変遷と企業財務に関する研究
	23	中澤 高志	経済地理学
	24	長野 史麻	企業のマネジメント・コントロール・システム
	25	野田 寛達	現代中国の社会・文化・ことば
	26	畑 一成	想像力を通じた科学と芸術の融合に関する哲学的研究
	27	畑中 基紀	フィクションの表現を分析し、「リアル」について考える
	28	原田 将	日本企業のマーケティング・マネジメントに関する理論 的・実証的研究
	29	古川 裕康	グローバル・マーケティング論、消費者行動論
	30	松野 裕	持続可能な発展のための経済・社会の仕組みに関する研究
	31	三上 真寛	市場と組織の経済学
	32	宮田 憲一	ビジネス・システムの国際比較研究
	33	森田 広大	簿記システムおよび会計理論の歴史研究
	34	森光 高大	エビデンスに基づく管理会計研究
	35	山下 充	自分の興味と関心をベースに個人インタビューで企業活動を分析
	36	山下 佳江	Advanced Academic English
	37	吉松 梓	野外教育、多様なニーズのための自然体験活動

演習のタイプ	コード	演習名	研究テーマ
「 2 年 タ イ プ 」	38	浅野 千鶴	現代会計基準における基礎概念
	39	石津 寿恵	営利組織・非営利組織の活動に関する会計的考察
	40	牛丸 元	企業の戦略や意思決定の要因について多角的に研究
	41	枝村 祥平	哲学
	42	岡田 浩一	中小企業・ベンチャービジネスの成長・発展戦略
	43	佐々木 聡	日本の経営発展を担った企業と企業家の革新と発展要因についての実証的研究
	44	高澤 陽太郎	経営数学
	45	中西 晶	心理学を活かしたマーケティングやリーダーシップ研究など
	46	早川 佐知子	経営学を使ってWell-Beingを創り出す
	47	真継 左和子	地域研究, 応用言語学 (英語教育)
	48	森田 直美	「日本文化」について多彩な観点から研究
49	山崎 憲	企業活動をめぐる社会・経済システム	

【参考データ】

(2023 年度)

2年生総数 825名 (申込受付時点)

1次試験申込者数	689名 (申込率 83.52%)
1次試験合格者数	363名 (合格率 52.69%)
最終(全選考終了時点)入室者数	594名 (入室決定率 73.09%)

(2022 年度)

2年生総数 735名 (申込受付時点)

1次試験申込者数	631名 (申込率 85.85%)
1次試験合格者数	369名 (合格率 58.47%)
最終(全選考終了時点)入室者数	594名 (入室決定率 80.81%)

経営学部の演習制度について

(1) 演習のタイプについて

経営学部で開講される演習は、以下の2種類の演習のタイプがある。

担当教員により募集する演習タイプが異なるので、演習ガイド等で確認すること。

① 2年半タイプ

2年次秋学期から開始し、「演習Ⅰ」、「演習ⅡA」、「演習ⅡB」、「演習ⅢA」、「演習ⅢB」で構成する。

② 2年タイプ

3年次から開始し、「演習ⅡA」、「演習ⅡB」、「演習ⅢA」、「演習ⅢB」で構成する。

(2) 演習科目の卒業に必要な単位への算入について

① 「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」及び「演習ⅢB」は、すべての単位を修得した場合にのみ、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入する。したがって、「演習ⅢB」を単位修得できなかった場合、既に修得している「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」の6単位は、卒業に必要な単位数に算入しない。

② 「演習Ⅰ」の修得単位は、「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」「演習ⅢB」の単位修得にかかわらず、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入する。

(3) 「演習Ⅰ」「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」「演習ⅢB」について

演習では、おおむね以下のようなプロセスで2年半もしくは2年の期間において学習することになる。このプロセスをよく理解した上で、それぞれの演習案内を熟読し、自分の強い関心領域や将来の進路を考えて、演習を選択すること。

① 「演習Ⅰ」

2年次の秋学期に開講し、3年次以降の演習での研究に必要な基礎的な学習を行う。

② 「演習ⅡA」「演習ⅡB」

「演習ⅡA」は3年次春学期、「演習ⅡB」は3年次秋学期に開講し、本格的な演習の研究活動を行う。演習によっては、経営学部の懸賞論文への応募や全国・関東学生経済セミナー大会（通称インター・ゼミナールおよびインナー・ゼミナール大会）、ゼミプレ（学内プレゼン大会）などに参加したりする。それぞれの演習における活動を通して、研究を深める。

③ 「演習ⅢA」「演習ⅢB」

「演習ⅢA」は4年次春学期、「演習ⅢB」は4年次秋学期に開講し、引き続き研究活動を実施する。演習によっては、卒業論文を作成する。自ら設定した研究テーマに基づき、担当教員から指導を受けながら卒業論文を執筆していく。

(4) 所属演習の変更について

所属演習が決定すると、卒業まで他の演習へ変更することはできない。

演習入室試験の受験上の注意

演習の履修を希望する者は、受験にあたっての注意事項をご確認ください。

(1) 1次募集・2次募集・3次募集 共通

- ①各種の申込み、手続きは、定められた日時を厳守すること。
- ②事務室からの入室試験に関する告知、連絡は、Oh-o!Meiji ポータルサイトを使用する。
- ③受験申込みは、Oh-o!Meiji システム（アンケート機能）から行う。その他、各ゼミから別途、書類等の提出が求められることがある。その場合は、Oh-o!Meiji アンケートへの申し込み期限と、ゼミへの書類等の提出期限が異なることがあるので注意すること。
- ④受験申込み後に、受験する演習を変更することはできない。
- ⑤合格が決定した者は、それ以降に実施する試験を受験できない。
- ⑥同一試験期間内に複数の演習を申込み、あるいは受験した者は、それらの申込み、あるいは受験を全て無効とする。
- ⑦基本的に入室試験は、対面形式の面接、非対面形式の面接、書類選考で行われる。入室試験に関する連絡は各ゼミのOh-o!Meiji グループ内で行われるため、希望するゼミのOh-o!Meiji グループを確認すること。

(2) 申込方法

受験申込みは、Oh-o!Meiji システムのアンケート機能を利用し、入室試験申込み（アンケート回答）期間内に手続きすること。希望者は定められた期間内に必ず手続きすること。システム上、締切時間を過ぎてからの申込みは一切できないので注意すること。

※Oh-o!Meiji システムが利用できない場合、締切期間より前に余裕をもって経営学部事務室に連絡すること。

※各ゼミから別途、書類等の提出が求められることがある。その場合は、Oh-o!Meiji アンケートへの申し込み期限と、ゼミへの書類等の提出期限が異なることがあるので注意すること。

(3) 2次募集

- ①2次募集入室試験を実施する演習は、1次募集入室試験の合格発表日にお知らせする。
- ②受験申込みが可能な者は、1次募集入室試験終了時点で入室が決定していない者を対象とする。
- ③受験申込み方法は、(2)と同じ。
- ④1次募集入室試験で不合格となった演習が2次募集を行う場合、再度受験申込みできる。

(4) 3次募集

- ①3次募集入室試験を実施する演習は、2次募集入室試験の合格発表日にお知らせする。
- ②受験申込みが可能な者は、2次募集入室試験終了時点で入室が決定していない者を対象とする。
- ③受験申込み方法は、(2)と同じ。
- ④2次募集入室試験で不合格となった演習が3次募集を行う場合、再度受験申込みできる。

重要

2024 年度 経営学部「演習」入室試験日程など

- ・ 演習入室試験に関わる事務室からの情報は、Oh-o!Meiji で配信されます。
- ・ 各ゼミの情報は、Oh-o!Meiji 各ゼミグループを確認してください。

1. 演習入室に関わるガイダンス

4 月末頃に、経営学部事務室からガイダンス資料を Oh-o!Meiji で配信します。

2. ゼミナビ・合同プレゼンテーション

5 月 11 日（土）13:30～16:30

- ・ 学生の参加は任意です。演習入室希望者は積極的に参加してください。
- ・ 各ゼミについても参加任意としています。参加するゼミのみ対面形式又は Zoom 等を使用して実施します。
- ・ 各ゼミからゼミ紹介資料等がある場合は、各ゼミグループで閲覧できます。（5 月 8 日（水）以降に順次公開）
- ・ 実施方法等の詳細は、4 月末頃に Oh-o!Meiji でお知らせします。
- ・ 興味のあるゼミについては、随時、各ゼミグループを確認するようにしてください。

3. 個別ガイダンス

一次募集 5 月 13 日（月）～17 日（金）12:40～13:20

二次募集 6 月 4 日（火）～ 7 日（金）12:40～13:20

三次募集 6 月 18 日（火）～19 日（水）12:40～13:20

- ・ 学生の参加は任意です。演習入室希望者は積極的に参加してください。
- ・ 各ゼミについても参加任意としています。上記の期間内に、実施するゼミのみ対面形式又は Zoom 等を使用してガイダンスを行います。
- ・ 各ゼミから資料等がある場合は、各グループで閲覧できます。
- ・ 実施方法等の詳細は、前日までに Oh-o!Meiji でお知らせします。
- ・ 興味のあるゼミについては、随時、各ゼミグループを確認するようにしてください。

4. 入室試験

- ・入室試験は、面接や書類選考で行われます。
- ・入室試験受験のためには、下記2点の手続きが必要です。募集期毎に、(1)・(2)の

期限が異なる場合がありますので注意してください。

(1) 事務室への Oh-o!Meiji アンケート回答 (期限は次項目「事務申込受付」を確認)

(2) ゼミが求める書類の提出 (内容・期限は各ゼミグループを確認)

(1) 一次募集	
書類選考提示	5月13日(月)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	5月14日(火)9:30~5月22日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	6月1日(土)9:30~14:30 ※5月27日(月)~5月31日(金) 昼休み及び5限以降においても試験を実施するゼミがあります。
合格発表	該当者には各ゼミから通知されます。
発表方法	6月3日(月)19:00(予定) 経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ
(2) 二次募集 (実施するゼミのみ)	
書類選考提示	6月3日(月)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	6月4日(火)9:30~6月12日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	6月15日(土)9:30~14:30
合格発表	6月17日(月)19:00(予定)
発表方法	経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ
(3) 三次募集 (実施するゼミのみ)	
書類選考提示	6月17日(月)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	6月18日(火)9:30~6月19日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	6月22日(土)9:30~14:30
合格発表	6月24日(月)19:00(予定)
発表方法	経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ

5. 入室決定ゼミ登録

必要な履修手続きの詳細は全ての入室試験が終わった後に対象者に案内します。(7月上旬予定)

以上

入室演習決定後の手続きについて

入室が決定した演習のタイプ（2年半タイプ又は2年タイプ）によって、2年次に行う手続きに違いがあります。3・4年次の手続きは、演習のタイプに関わらず同じです。
注意事項は次のとおりです。

(1) 2年次に行う手続き



(2) 3年次に行う手続き

2年半タイプ演習、2年タイプ演習とも、4月の履修登録時に、**各自で『演習ⅡA』『演習ⅡB』の登録を行う**こと。登録を行わなかった場合、演習の履修を放棄したと見なします。
※『演習ⅡA』『演習ⅡB』（各2単位）は、年間の履修単位数制限に含むので注意すること。

(3) 4年次に行う手続き

2年半タイプ演習、2年タイプ演習とも、4月の履修登録時に、**各自で『演習ⅢA』『演習ⅢB』の登録を行う**こと。登録を行わなかった場合、演習の履修を放棄したと見なします。
※『演習ⅢA』『演習ⅢB』（各2単位）は、年間の履修単位数制限に含むので注意すること。

演習（ゼミナール）って何だろう

経営学部長 中西 晶

2年生のみなさま、進級おめでとうございます。経営学部では、いよいよ演習（ゼミナール：以下、ゼミとします）の入室を考える時期となりました。この「演習ガイド」や Oh-o!Meiji, SNS や先輩方の情報やゼミナビ等のガイダンスをもとに、大学生活の2年、あるいは、2年半のあいだ、重要な位置づけとなる「ゼミ」を選び、入室試験を受けるということで期待と不安で心がいっぱいの方も多いでしょう。

経営学部では、学部創設の1953年以来、ゼミを学部教育における重要科目として位置付けてきました。少人数で、学生どうし、あるいは、学生と教員がともに議論し、活動していくことで研究を深めていくゼミは、大人数での講義やオンデマンドの授業とは異なる学生の自律的・能動的な行動が求められます。また、少人数であるがゆえのチームビルディングや対人関係の構築、ときには他のメンバーとの葛藤や対立などを経験することで、経営学の基本的なテーマの一つである「組織のあり方」について考えるきっかけとなるでしょう。経営学部では、ほとんどすべての教員がゼミを担当しています。専門的な文献を研究していくゼミ、データ分析を中心とするゼミ、企業訪問や現地フィールドスタディなど、教室外での活動を重視するゼミ、資格試験取得を目標とするゼミなど多様なゼミがあります。一般教育も含め、経営学科、会計学科、公共経営学科といった学科所属にかかわらず、自分が参加したいゼミを選択することが可能なのも経営学部のゼミの特徴です。会計学科に所属しながら、深い教養を身につけるために一般教育系のゼミを選ぶ、などといった学び方も可能です。

現在、経営学部のゼミは必須科目ではありません。しかし、2年ないし2年半、同じ仲間とともに学ぶという貴重な経験となりえることは疑いありません。留学や3年早期卒業を計画しているから、とためらっている方もいるかもしれません。まずは、気になるゼミの担当教員や先輩に相談してください。こうした計画を受け入れているゼミも多いです。明治大学経営学部のなかに「帰る場所」を持つことで、より充実した学生生活を送れるのではないのでしょうか？

一方で、ゼミはクラスやサークルとも異なります。それぞれのゼミでは、「研究テーマ」を持って活動しています。自分で研究テーマを探すゼミもあれば、伝統的に研究テーマが受け継がれているところもあるでしょう。「楽しそうだから」「先輩に誘われたから」「SNSが映えてたから」という理由だけではなく、自分自身がそのゼミに対してどのような貢献ができるのか／したいのか、を考えてみてください。それが冒頭に述べた「自律的・能動的な行動」ともつながります。ゼミには入室試験がありますが、「自分がゼミで何ができるか」というビジョンを明確に語れる人をどのゼミでも期待しているでしょう。そして、この姿勢は、みなさんがキャリアを形成していくうえでも重要なこととなります。

必須科目でもなく、クラスやサークルでもないゼミ。それが何かは、もしかしたら、卒業してからわかるのかもしれませんが。10年後、20年後、さまざまなキャリア積んだゼミの仲間が集まることもしばしばです。そのときに、もう一度、明治大学経営学部のゼミってなんだろう、と語り合あえるゼミを選んでください。

2年生のみなさんへ

経営学部ゼミナール協議会
2023年度委員長 栗田 光

こんにちは。2023年度経営学部ゼミナール協議会委員長、青木克生ゼミナール所属の栗田と申します。私たちゼミナール協議会、通称ゼミ協は約60の経営学部のゼミを統括する組織であり、経営学部で行われるイベント（ゼミナール対抗プレゼンテーション大会やスポーツ大会など）の企画・運営などを行っています。興味がある方は最終ページをぜひご覧ください。

経営学部では、2年生の春学期にゼミを選択します。2年生になってすぐにゼミ選びが始まるため、最初はゼミに所属する自分の姿を想像できないでしょう。また、ゼミの数も非常に多いため、どこから見てよいか迷ってしまうこともあると思います。私もゼミの選択にはとても悩み、大変苦労しました。しかし、これからの大学生活において、ゼミは一生に関わるほどの大きな学びと大切な仲間を手に入れることができます。その為、ゼミ選びはたくさん悩んだ末に決めてほしいのです。

実際、経営学部で行われるゼミプレ（ゼミナール対抗プレゼンテーション大会）やスポーツ大会などイベントのほとんどが、ゼミ単位での参加となります。また、経営学部では3年生での必修科目がほとんどありません。その為、ゼミのメンバーと関わる時間が自然と増え、その時間は大学生活の後半を過ごす上でかけがえのないものとなります。また、1月に開催されたゼミプレでは18ゼミから合計52チームが参加し、どのゼミも素晴らしい発表を見せてくれました。このように、同じゼミの仲間が一致団結して1つのことに熱中できるのも、ゼミの大きな魅力だと思います。

まずは今まで学んだことや自分の興味を思い出してみ、この先何を深く学んでいきたいかをじっくりと考えてみてください。「友達がこのゼミを志望しているから」や「皆から人気のゼミだから」といった理由ではなく、学びたいことや自分に合うゼミの雰囲気など沢山のことを考慮し、その中で本当に入りたいと感じたゼミに入室してほしいと思います。どうしても自分の軸がわからないときは、友人や先輩、家族などに相談するのも良いです。1度入室すると変更はできません。中にはゼミをやめてしまう人もいますが、せっかくゼミ試験を突破し入室できたのであれば、卒業まで所属してもらいたいのです。明確な基準を持って、ゼミを探してみてください。今回のゼミナビがその手助けになればとても光栄です。

皆さんのこれからの大学生活がゼミ活動によって充実し、さらに有意義なものになっていくことを心から祈っています。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

研究課題「戦略と組織のマネジメント」

現代企業が激化する競争状況を勝ち抜いていくためにはどのような戦略と組織が必要とされているのか」を大きなテーマとして研究していく。この演習は2つの大きな狙いを持っている。1つは専門書を読むことを通して戦略と組織について深い理解を獲得することである。もう1つは実際に自分たちで体験することを通して戦略と組織のマネジメントについてよりリアルな感覚を持つことである。またゼミナールは専門知識だけではなく人間成長の場としても重要な意味を持つてくる。グループワークやディスカッションなどを通して社会に出てから必要となるコミュニケーション能力の育成なども平行して行っていく予定である。

2 研究内容

まず2年次秋学期においては、戦略と組織の理論について理解するための基礎固めを行う。参考文献に記されている3冊の著書を購入し、お互いに発表し、議論を展開していく。3年次においては、戦略と組織の実践について理解するために、自分たちでビジネスプランの作成を行う。ゼミ生同士でグループを作成し、ビジネスモデルの構築、市場調査、財務分析とビジネスプランの作成に必要な作業全てを自分たちで実践していく。その一方で、他大学や他のゼミナールなどとの公開討論会などにも積極的に取り組んでいく。4年次は卒業論文の作成が中心的な課題となる。各自でテーマを設定し、自らのテーマを報告し、それに対して皆でコメントをしながらゼミ生が相互にブラッシュアップしていく予定である。

3 参考文献

グロービス・マネジメント・インスティテュート編『MBA ビジネスプラン』ダイヤモンド社。
グロービス・マネジメント・インスティテュート編『MBA 経営戦略』ダイヤモンド社。
井口嘉則『マンガでやさしくわかる事業計画書』日本能率協会マネジメントセンター。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。志望動機(ゼミで何を学びたいか?) A4で1枚、面接

5 その他

特になし

青木ゼミとは

青木ゼミの1番の特徴は、**ビジネスプランの作成**です！「ビジネスプラン」ってなんでしょう？企業が事業を行う際に作る”あの”ビジネスプランです。最近Youtubeでも事業プランを活用したコンテンツが話題になっているため、聞きなじみがある方も多いのではないのでしょうか。とても実践的なテーマで、ワクワクしませんか？

ビジネスプランの作成を通して、組織経営に関する知識を得るだけでなく、新しいものを自分たちで創造する力を身につけることができます。なんとなく学問の研究をするのではなく、「主体的に新しいものを生み出してみたい」という方や、「何かをチームで一から組み立ててみたい」という方、「ビジネスや経営戦略を実践的に学んでみたい」という方にとって最高の環境です！

活動内容

活動のメインとなるのは、3年生によるビジネスプランの作成及び、民間のプレゼン大会への出場です！ゼミ内で3-4人のグループを作り、グループごとに考えたビジネスプランをプレゼンし、大会への出場を目指します。そのため、2年生の秋学期は教科書を使った輪読により、土台となる知識を身につけます。他にも、追いコンやBBQ、スポーツ大会など、研究以外の活動もゼミ生が主体となって取り組むことができます！

青木先生ってどんな教授？

研究分野は経営管理論と組織論。主にイギリスで長く研究をされていて、国際的視野に富んだ先生です。また、研究分野の関係でトヨタやソニーといった企業研究も行い、独自の人脈をお持ちです。ゼミではディスカッションで行き詰った時、瞬時に的確なアドバイスをくれる、とても優しい先生です！

ゼミ生より

青木ゼミはゼミ生が主体となって動くことができるゼミです。ビジネスプランの作成を通し、創造力やプレゼン関連のスキルを身につけることができます。青木ゼミには、自分たちで物事を考える機会がたくさんあります！ぜひ青木ゼミを私たちと共に作り、一緒に成長していけるのを楽しみにしています！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究。

2 研究内容

【演習Ⅰ（2年次秋学期）】

社会科学の実証研究に必要な基礎的な大学数学を中心に研究します。具体的には、データ分析の理論を理解するために必要不可欠な、各種数学理論の導出と実践利用法を研究します。

【演習Ⅱ A・B（3年次）】

そのうえで、研究方法の種類の学習、データ・情報獲得の方法、統計分析に必要な数学的基礎の運用方法などを勉強します。そして、Rなどの無料統計分析ソフトウェアなどを実装し、テストデータで色々と遊んでみたいと思います。さらに、各種社会調査の無料データベース、各自が興味のある分野でのインタビューなどから得たデータ、あるいは各自が Google アンケートで得たデータなどを使い、様々な実証研究の手法を応用して何ができるか、何がわかるかを、楽しみながら試行錯誤していただきたいと思います。なお、3年時には、立教大学・中央大学のゼミと一緒に、雇用関係をテーマとした、合同ゼミを実施します。

【演習Ⅲ A・B（4年次）】

これまで養った実証研究の素養を用いながら、実際に卒論を構築していただきたいと思います。この過程で、もし希望があれば、ゼミ合宿などをやっても構いません。福岡県の西南学院大学にいたころは、よく阿蘇でやっていました。懐かしいですね。

3 参考文献（あくまで現在の実績です。将来的にはさらなる展開も考えています）

馬場敬之『キャンパス・ゼミ（微分積分・確率統計）』マセマ出版（2年時で教科書として使用）。

星野・田中・北川『Rによる実証分析』オーム社（3年時で教科書として使用）。

4 募集予定人員・選考試験

10名以内。実習形式でじっくりと確実に勉強するので、少人数になります。ご自身をアピールする自己紹介書をワープロ1,600字程度にまとめて提出してください。その際、できる範囲でご自身の経歴と興味のある分野（学業・仕事・趣味など）について説明してください。特殊技能などを書いていても良いです。その後、個人面接を行って決めます。

5 その他

私の本来の研究テーマは、ドイツの人的資源管理・労使関係研究です。独語の通訳案内士資格も持っており、独企業での各種調査も継続的に実施してきましたので、ドイツに関するテーマは全般的に扱えます。ですが、経営学のゼミで優先的に学ぶべきことは、実証研究の基礎ではないかと考えています。ですので、同ゼミでは私の専門にこだわらず、広い応用可能性のある実証研究の方法を皆様と試行錯誤しながら研究したいと思います。経営学分野でどのような実証研究を行うべきかに興味のある方は大歓迎です。大学数学も実証研究の理解を深めてくれるので、演習を通じて、楽しみながら身に着けていければと思います。数学については、私も先輩方とともに勉強中なので、無理な課題は押し付けません。一緒に研究し、理解を深められればと思います。

ここ数年やってみて気づいたのですが、高校では理科系だった方も含めて、かつて数学や物理で思うような学習ができなかったが、これらの分野の勉学をじっくりと再挑戦してみたい方に特に向いている気がします。また、手前味噌で恐縮ですが、我がゼミの先輩方は、優しく、そして大変優秀です。

石塚ゼミナール

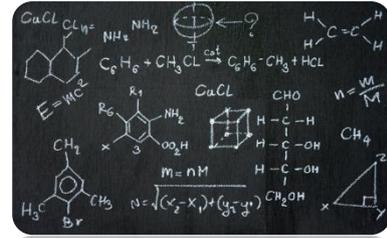
〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

[石塚ゼミ 研究内容]

「雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究。」

統計分析に関連する研究を行います！



2年後期

- 統計分析に必要な数学的基礎の学習

ゼミ生が事前に予習を行い、
授業を行います！

教えられる=理解している

3年

- 数学的基礎の学習の継続
- 各種データベースをもとに、統計分析ソフトを用いてより実践的な演習の実施

4年

- これまで養った実証研究の素養をもとに卒論の作成
- ゼミ合宿（変更の可能性有り）



石塚先生ってどんな先生？

専門は雇用・労使関係論、ドイツ語の通訳案内業免許を取得するなど語学にも富んだ先生です！
ゼミの最初には一人一人の意見を聞いて、丁寧にベクトル合わせをしていただきます。

ゼミ生から皆様へ

2年後期の数学的基礎の学習では主に「微分積分」について取り扱います。
「雇用とか統計分析には興味があるけど、数学が苦手だし……。」と思っている方も心配なくて大丈夫！今のゼミ生もほとんどが元々は数学が得意ではありませんでした。重要なことは、ゼミに入室した後に意欲的に取り組めるかどうかです！意欲のある方をお待ちしています！

予習で上手く理解できなかった所は授業中に丁寧に解説してくれます！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

スポーツ科学 - 運動に対する生体反応とトレーニングによる身体適応のメカニズム -

2 研究内容

スポーツに関わる話題を耳にしない日はないほどスポーツは私たちの生活に深く浸透してきました。それにともないスポーツ科学への期待・注目は益々高まっています。ゼミでは、運動を可能とする身体のしくみや運動による健康の維持・増進、トレーニングによる身体適応と運動能力向上のメカニズムについて研究しています。文系学部のゼミとしてはとても珍しいですが、実際に測定や実験を行い科学的にスポーツを研究しています。

身体活動の不足は、循環器疾患やがんなどの非感染性疾病発症のリスクを高めます。WHOは、高血圧、喫煙、高血糖に次いで、身体活動不足を全世界の死亡に対する危険因子の第4位に位置づけています (Global Recommendations on Physical Activity for Health. WHO 2010)。日本人を対象とした調査では、身体活動不足は喫煙、高血圧に次いで非感染性疾病による死亡の3番目の危険因子であると報告されています (Ikeda et al. PLoS Med. 2012)。他方、運動を習慣的に行う人の割合は、20歳以上の男性では33%、女性では25%のみです (厚生労働省 令和元年「国民健康・栄養調査」)。年代別では、大学生を含む20歳代は全体平均よりも低く、男性では28%、女性では13%ととても低い水準にあります。高齢化と生活習慣病の増加により国民医療費(年額)は毎年約1兆円増加しており、既に45兆円を超えています。身体活動・運動の意義と重要性を認識し、実践していくことは個人の健康の維持・増進のみならず社会保障制度ひいては日本の社会そのものの持続可能性を高めると考えられます。国は、いわゆる国民健康づくり運動(健康日本21など)を推進していますが、十分な成果が得られているとは言い難いです。このような喫緊の社会的課題を解決するためには、経営学や組織マネジメント等の知識とスポーツ科学の観点を併せ持つ人材が必要であると思います。

演習Ⅰ(2年次)では、運動と関連する身体の機能に関する研究分野であるスポーツ生理学の基礎的内容を理解することを目標とします。スポーツ生理学を学ぶことにより、運動による健康の維持・増進やトレーニングによる運動能力の向上を考慮するうえで必須の知識を身につけることが出来ます。参考文献を深く読み込み全員で議論したいと思います。また、心拍数や血圧、心機能、酸素摂取量などの測定方法についても実習を交えて学びます。これらの活動を通して、研究テーマを絞り込んでいきます。演習Ⅱ(3年次)では、自分の研究テーマを決め、文献や資料を収集して具体的な研究方法や実験プロトコルなどを考えていきます。各自が先行研究や研究方法などについてまとめ、プレゼンテーションをし、議論することで研究の方向性を定めていきます。演習Ⅲ(4年次)では、自分の研究テーマについての実験や調査を行います。それらの結果をまとめ、自分なりの考察を加えます。

ゼミの活動を通して、自分の体についての理解を深め、健やかに生きるための知識を獲得してもらいたいと思います。また、測定実習や実験を自ら行うことで、科学的エビデンスがどのようにして集積されるのかを理解し、客観的・論理的に物事を考える力を養ってほしいと思います。

3 募集予定人員・選考試験

10名程度・面接による選考を予定します。

4 その他

運動・スポーツをしていなくても大丈夫です。少人数で楽しく勉強・研究しています。

一之瀬ゼミナール

研究内容

体の事やスポーツに関係していること
で興味のある事を色々と研究できま



〈研究内容の例〉

- ・プロ選手のコンディショニング
- ・企業における従業員への体のケア
- ・行政がすべき健康問題への取り組み
- ・睡眠について
- ・トレーニングの効果

など

先生

一之瀬先生は、運動や生理学に関することはもちろん、それ以外にも個人的な相談など何でも答えてくれる、**とても優しい先生**です。

活動内容

授業と研究・測定以外の活動（合宿・サフゼミなど）は特に行っていません！

研究のための測定などは、各自で予定を合わせて行うため、自分の計画で研究をすることができます。

興味のあることを専門的に研究できるということが、一之瀬ゼミ最大の特徴です。

ぜひ、活気ある一之瀬ゼミで学びましょう！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

- ・財務会計における情報有用性に関する考究 ～基礎概念の特質究明～
- ・(会計学の学習～ゼミ活動～を通じて、多角的検討視座をもてるようになること。)

2 研究内容

本演習では、財務会計（外部報告会計）における財務諸表情報の有用性に関する考究をおこないます。

まずは財務会計をとりまく会計制度に関して、その歴史的経緯・現代的意義を検討します。

ここにおいては、日本の会計制度のみならず諸外国の会計制度を、そして近時おおきな問題としてとりあげられている国際財務報告基準(IFRSs)を基底とした制度も対象とします。

次に、これら会計制度のもとで作成・開示される会計情報の有用性について様々な視点からの考究をおこないます。会計目的観から演繹的な検討をおこなうか、具体的事象から記述的な検討をおこなうかは、各学年の皆さんと相談のうえ決定します。

こうした話し合いや演習での質疑応答を通じて、他人の意見を聞き、自分の意見を明確に示せるようになることも重要なゼミ活動のテーマです。

3 参考文献

開講時に指示しますが、以下に何冊かの参考文献をお示しします。

- ・桜井久勝 著『財務会計講義 〈最新版〉』, 中央経済社
- ・佐藤信彦他 編著『スタンダードテキスト 財務会計論 I 基本論点編 〈最新版〉』,
中央経済社
- ・桜井久勝 著『テキスト 国際会計基準 〈新訂版〉』, 白桃書房
- ・秋葉賢一 著『エッセンシャル IFRS 〈最新版〉』, 中央経済社

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人数：15 名程度

選考試験：(a) エントリーシートの提出

(b) 面接（原則として対面）

(a) および(b)を選考基準に照らして数値化し選考します。

5 その他

活動内容：各種資格・検定向けの勉強会，夏合宿・コンパ等の実施の有無はゼミ生の要望にあわせて設定・実施します。

サブゼミ：ゼミでの報告準備として、最低週1回のサブゼミを設けたいところですが、学年ごとに相談して決めることとしています。

注意事項：シラバスも参考にすること。

当ゼミは、就職・資格取得・大学院進学・留学と多様なキャリアデザインを有する者が在籍しています。お互いに多忙な時期を慮りながら活動しているので、多様な価値観に触れながら他人を思いやることのできる人材を求めています。財務会計を基礎から丁寧に学びたい者、礼儀・マナーを含めたコミュニケーション能力を涵養したい者の入室を希望します。(学年によっては、テーマが会計から経営・経済系にまでひろくすることがあります。)

大 倉 ゼ ミ

OKURA SEMINAR

大倉ゼミとは…

大倉ゼミでは、会計を考える上で不可欠である国際会計をはじめとした、財務会計全般に関する勉強と研究を行っています。

また、大倉ゼミではゼミ生の主体性を重視しており、学生全員が主人公となって研究を行います！

そのため研究テーマや行事などの全てをゼミ生が話し合って決めます。ゼミ生が決めたことには大倉先生が寄り添いサポートして下さるため、いつも安心して興味のあることに取り組むことができます。



ゼミ生の先輩は…

大倉ゼミでは公認会計士や税理士を目指している人や、大学院へ進学する先輩、また一般企業へ就職する先輩など、多様な目的を持った先輩がいます！そのため、どの様な進路を考えている人でも最適な環境になること間違いなしです！

また、会計学科だけでなく、経営学科・公共経営学科所属で大倉ゼミに入室した学生もあり、入室前の会計に関する知識の有無に関して心配する必要はありません。

ゼミ生：2年 22名 3年 16名 4年 23名

年間行事は…

- 6月 新歓コンパ
- 9月 夏合宿
- 10月 スポーツ大会
- 12月 忘年会
- 3月 追いコン

大倉先生とは…

明治大学経営学部OBであり、昨年度まで3期6年間にわたり経営学部の学部長を務めていらっしゃいました。

また、公認会計士試験の試験委員を務めていた経験もあり、会計に関する知識は非常に幅広く、ゼミ生のどんな疑問に対しても多角的な視点から回答をして下さる先生です。

大倉先生の温かいお人柄のおかげでゼミ内の雰囲気はいつも最高です！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

戦略管理会計に関する基礎的研究

2 研究内容

当ゼミでは「戦略管理会計」について研究しています。戦略管理会計は、組織体の経営管理をサポートする管理会計の一分野であり、経営管理者が経営戦略の策定、実行、評価、見直しなどにおいてさまざまな意思決定（判断）を行い、業績を向上させていく上で役立つ情報を提供するための会計領域です。

企業を代表とする現代の組織体は、激変するグローバルな経営環境にうまく適応しながら、厳しい生存競争を生き抜いていかなければなりません。そのために、経営管理者は経営環境を勘案して経営戦略を策定し、組織内の人々が協力しあってこれを実行し実現していきます。このような経営スタイルは「戦略経営」と呼ばれています。

戦略管理会計は、戦略経営において、組織体の業績に影響を及ぼす市場や顧客、競争相手といった組織外部の環境要因に焦点を当て、それらの要因の変化や動向が組織内部の組織要因および業績に及ぼす影響を会計情報という形で経営管理者や従業員たちに示すことによって、組織全体が経営環境の変化に柔軟に適応していくために必要な革新的なアイデアや方策の創出を促進し、経営戦略を実現に導くものです。

現代のようにさまざまな要因が複雑に絡み合い、先行きの見えない状況の中で、組織体の経営における戦略管理会計の重要性はますます増大しています。その一方で、戦略管理会計に関する研究はまだ十分に蓄積されているとはいえません。

そこで当ゼミでは、現代の戦略経営に役立つ会計情報とは何か、そしてそれをいかに作成して提供するか、また経営戦略を実現に導く仕組みをどのように構築するか、といった課題について、戦略管理会計に関する文献と調査に基づきながら研究しています。まず、2年次には、戦略管理会計を研究する上での前提となる基礎的な知識の修得を目指して、管理会計に関するテキストを用いて学習します。3年次には、戦略管理会計に関する文献（著書や論文など）を輪読した後、グループによる共同研究を通じてさまざまな論点を考察し、懸賞論文の作成を目指します。4年次には、これまでの研究を踏まえ、各自でテーマを設定して個人研究を行い、卒業論文の作成を行います。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は、ゼミの中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度。選考は、エントリーシートおよび面接試験にて行います。

5 その他

- (1) ゼミ活動は授業における本ゼミを基本とします。また、希望により週1～2回のサブゼミも行います。これ以外に、年2回（夏休みと春休みに2泊3日）の合宿、スポーツ大会や学内外のプレゼンテーション大会への参加、他大学との合同ゼミ、実務見学、コンパなどを行います。これらの活動はゼミ員主体で企画し行っていきます。
- (2) 本ゼミは、4年次を除いて、基本的に輪読を中心に進めていきます。輪読とは、研究テーマに関する1つの文献を複数人で分担し、各担当者による報告と質疑応答を行いながら読み進めることにより、文献上のさまざまな概念を相互に理解しあい、グループ間で基本的な知識を共有して行く学習法です。そのため、報告者には報告および質疑応答に関する事前の準備（レジュメの作成や関連資料の用意など）を責任をもって行うことが求められます。また、報告者以外の者にも、報告者に質疑するための事前の準備（文献を読んで問題意識をもち、疑問点を明確にしておく姿勢など）が求められます。
- (3) 当ゼミでは、何事も“楽しむ”ことのできるゼミ員を募集しています。会計のゼミですが、管理会計は“マネジメント”に興味・関心のある人なら誰でも学べ、将来必ず役に立ちます。会計学科はもちろん経営学科や公共経営学科の学生も大歓迎です。面白くて

ためになるゼミを目指して、私と一緒にいろいろなことにチャレンジしましょう！

大槻ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

～大槻ゼミナール 17期ビジョン～

共に!!
充実・成長・探求

こんにちは！大槻ゼミです。本ゼミでは、「楽しむ」をモットーに**管理会計**を学びます！
また、このゼミは会計ゼミですが、経営学科生も多くいます！
学科関係なくお持ちしています！

ゼミの雰囲気

皆が仲良く明るく雰囲気です！
ゼミのモットーでもあるように楽しんで活動しています。
研究活動では、楽しみながらも真剣にメリハリを持って取り組んでいます。勉強も遊びも両立したい人にうってつけのゼミです！



先生の紹介

なんといってもとにかく優しい先生です！ゼミ生主体で活動することができます。また、説明が非常に分かりやすいです。ゼミ活動の最後には毎回、的確なアドバイスをしてくれます！



年間行事

- 5月 入室試験
- 7月 キックオフミーティング
- 9月 夏合宿
- 11月 OB・OG会
- 12月 ゼミブレ、アカコン
- 2-3月 冬合宿（スキー・スノボ）
インゼミ

インスタグラム ID: <https://www.instagram.com/ootsuki.zm>
ゼミ生一同、皆さんと活動できることを楽しみにしています！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

データで企業活動を捉えるスペシャリストに！

2 研究内容

小俣ゼミでは、現実の事例の検討によって、日頃培ってきた知識を、実際の事例にどのように適用して判断するのかといった問題解決能力や健全なアカウンティング・マインドを身につけることを目標にしています。そのために、実際の企業の財務諸表や会計に関する資格試験の問題を題材にゼミ生全員で検討することによって、実際に社会に出て実務を行う際に、会計プロフェッションとしての判断が行えるような知識を身につけていきます。

具体的には

2 年秋学期は会計の基本書を輪読し、範囲内の会計に関する問題について、資格試験の問題等を題材にしてディスカッションして、理解を深めます。

3 年次は、財務諸表にどのようにサステナビリティ情報が開示されるかを中心に企業財務諸表を読み、現在いろいろと話題となっているサステナビリティ情報の開示と保証について分析し、開示された情報から企業活動のある程度類推できる能力を養います。

4 年次は、3 年次までに学習した成果をもとに各自興味のあるテーマを選定して、卒業論文を制作します。

3 参考文献

桜井 久勝『財務会計講義』（最新版）中央経済社
大津広一『会計力と戦略思考力』日経ビジネス文庫
有限責任 あずさ監査法人『すらすら図解 IFRS のしくみ』中央経済社
宇沢亜弓『財務諸表監査における不正対応』清文社 など

4 募集予定人員・選考試験

15 名程度

日商簿記検定 2 級程度の筆記試験と面接を行います。

5 その他

将来会計を武器にして活躍したいという意欲のある諸君の参加を待っています。

ゼミの紹介

小俣ゼミは、2010年に創設され、2023年現在で15期を迎えました。小俣ゼミの特長は、会計のプロフェッショナルである公認会計士をはじめとした、税理士や日商簿記1級などの上位資格を目指す人が多く所属しているところです。

経営学部の中でも屈指の公認会計士現役合格者数を誇るゼミなので、学業と資格試験合格を共に達成するのに最適な環境です。公認会計士や税理士などの会計プロフェッションを目指す方は、よく自分のことだけに没頭してしまいがちですが、私たちのゼミでは、会計のプロを目指す者同士、お互いに助け合っていくことで、ともに成長することができます。

またゼミの中では、資格試験の専門知識に関するディスカッションや、その先にある実務上のケーススタディを行うため、資格試験やその後の実務経験に活かせる多様な知識を身に付けることができます。



先生紹介

小俣先生は公認会計士としての実務経験が豊富なので、監査法人での貴重なお話を聞かせていただくことができます。



ゼミの活動内容

公認会計士や税理士などの試験に合格できたとしても、実際の業務は学習内容とは異なっています。そのため、試験のための学習だけでは、会計プロフェッションとしての「実務」に対応していくことができません。そこで「**実務**」を意識した以下のような活動をしています。

- 2年次：企業会計基準の理解
- 3年次：企業のデータ分析
- 4年次：卒論のテーマ決定・作成

活動内容は学年で相談して決定しているため、学年によって少し変動があります。

ゼミの雰囲気

小俣ゼミは、比較的穏やかな雰囲気が漂ったゼミです。また、ゼミ生の裁量権が大きいので、ゼミ生自身が研究テーマを定めて主体的に活動することができます。

他にも、歓迎会や忘年会、OB・OG会などのイベントがあり、夏休みには先生のご実家がある山梨県でバーベキューを行いました。

公認会計士試験現役合格実績

2023年度：10名

2022年度：3名

2021年度：5名



07. 折方演習〔2年半タイプ〕

准教授 折方 のぞみ

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバリズムと国際化社会：ヨーロッパ的視点からの世界観

2 研究内容

教員のフィールドはフランスですが、広くヨーロッパ的な視点から世界を見ることに主眼を置いています。アフリカの台頭でフランス語話者人口は 2050 年に世界一になると予測されるなど、世界は「英語を話せば国際人」といった近視眼的視点の遙か先の未来予想図を提示し、諸外国は敏感に反応・対応し始めています。グローバリズムが生まれ故郷であるイギリスとアメリカで相次いで行き詰まりを見せる中、世界を俯瞰的にみる力と自国を客観的に語る力を育み、真の意味での「国際感覚」を身につけることは喫緊の課題です。

当ゼミでは各自の興味と主体性を尊重しながら幅広い視点と自由な発想力を養い、政治、経済、メディア、社会政策、文化など、多様な観点からインターナショナルな世界を考えます。先輩たちの卒論テーマ例は、「都市空間におけるグリーンインフラの導入」「離島における EV 車の有用性」「日本のキャラクタービジネス」「スポーツを通じた地域振興」「ストーリーミングサービスがもたらす音楽市場の変化」「アメコミにおける女性ヒーロー」「アイドル×出版業界」「ファッションとジェンダー」「日本の教育産業における Edtech」など多岐に渡ります。

ゼミの到達目標は、自ら学ぶ姿勢を養い、学んだ事を的確に伝え、意見を的確に発表する力を身につけることです。また、グループ研究やディベートを取入れることでチームワークや対話力も養います。ゼミ生の希望によって、フィールドワークを実施することもあります。サブゼミは学生のニーズに合わせて行いますが、3年次は例年定期的に行っています。

- ・ 演習 I では基礎的知識を身につけます。基礎的な文献の輪読発表を通して要点をつかんでまとめる力をブラッシュアップします。また、ディスカッションを通して問題を掘り下げて考え討論する力を養います。
- ・ 演習 II では専門的な文献購読のほか、社会問題を深く考える補助線として映像資料視聴の機会も多く取り入れ、さらにディスカッション力を磨きます。また、春学期はテーマを決めてグループ調査研究を行い、調査力とプレゼン力を養います。秋学期はテーマを決めてグループ対抗でディベートを行い、討論力を磨くと同時にエビデンスを持って自説をアピールする力を養います。
- ・ 演習 III では各自関心のあるテーマでの卒業論文の執筆がメインとなります。

3 参考文献

授業内で随時紹介、指示します。

4 募集予定人数・選考試験

12名程度 エントリーシートと面接

5 その他

異文化理解や国際比較に関心のある、意欲ある学生の入室を歓迎します（語学力は問いません）。「よく遊びよく学べ」をモットーに、楽しく充実したゼミ活動を行いたいと思います。ゼミ活動を通して一生の仲間を作った先輩たちも多いです。みなさんとの新たな「出会い」に期待しています！

折方ゼミナール

〈2年半 タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

【折方ゼミとは】



折方ゼミは、主にヨーロッパ的な視点から国際比較を行う「国際教養ゼミ」です。世界の国々から日本を見つめることで、新たな発見や問題の捉え方を見出し、「真の国際感覚」を身につけることを目標としています。また、折方ゼミの特徴として「自由度の高さ」が挙げられます。2年次のゼミ活動を通して積み上げた知識をもとに、3年次には研究したいテーマごとに分かれてグループワークを行います。

2023年度は、ファッション、観光、ドラマなど、様々なテーマでプレゼンテーションを行いました。チームワークを大事にしながら、興味を持ったテーマについて、しっかり掘り下げることができる点が折方ゼミの魅力です。折方先生から豊富な知識や指導、サポートをいただけるため、全員がしっかりと研究に励むことができます。

【活動内容】

授業では、複数の書籍や映像を通してグローバルズムや各国の社会文化事情について学んでいきます。各自が考察や資料を持ち寄り、チームでディスカッションを行うことで、より考えを深めていきます。授業以外でも様々な課外活動を行っており、2023年度はゼミ合宿やスポーツ大会に参加しました。ゼミ合宿では書籍に関するディスカッションをはじめ、学年を超えた交流やスポーツ、花火などを行いました。2023年度のスポーツ大会ではサッカー部門でまさかの優勝しちゃいました!! ♡♡♡



国内外でのフィールドスタディを行うこともあります。過去には函館や広島、フランスなどに現地調査に行きました。基本的に学生が希望すれば可能なことが多く、自主性が尊重される環境となっています。

折方ゼミはオンとオフの切り替えがはっきりしています。授業前後にご飯に行ったり、懇親会を開いて先輩・後輩の親睦を深めたりしています。「課題には真剣に取り組み、楽しむ時は楽しむ！」というメリハリのある活動が折方ゼミの特徴です！

←13期生でディズニーランドに行きました☆

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

中国における日系企業の人材マネジメント

2 研究内容

企業の競争力を決定するカギはヒトである。しかし、人材マネジメントに悩んでいる中国に進出する日系企業は少なくない。同時に非常に成功している企業もある。意欲が高く個性に富み、協動的かつ能力のある人材はどのように育成されているのか、その仕組みと制度はどのようなものなのか。現地へ赴き、中国に進出する日系企業の調査を通してこの課題を追求し、解明することを目的とする。

3 ゼミ運営

演習Ⅰ（2年） 事前学習 日本企業・中国企業における人材マネジメントの文献を学習し、基本的な知識、調査研究の方法を学ぶ。調査研究のテーマを決め、アンケート・インタビュー項目を検討し、予備調査を行う。

演習Ⅱ（3年春学期） 企業訪問 日本国内・中国の企業を訪問し、関係者からアンケート収集や聞き取り調査を行う。文献研究をすると同時に、調査資料を集計し、分析する。

演習Ⅱ（3年秋学期） 事後学習と論文作成 もう一度文献を吟味しながら、訪問の成果をまとめ、不足点を検討し、報告書を作成する。学内大会に参加し、懸賞論文に投稿する。

演習Ⅲ（4年） 調査研究をベースに、独自の視点をもって質の高い学士論文を仕上げる。

4 ゼミ目標

ゼミでは、「グローバルビジネスリーダー」を志とする諸君に実践する「場」を提供している。「自治・自立・自主・自信・自強」という方針に基づいて、諸君の個性を伸ばすと同時に、チームワークをベースとする様々な活動を通じ、課題を考え、方法を見出し、問題解決に取り組む姿勢を培う元気なゼミ組織づくりを心がける。

現地へ赴き、現場で経営者・管理者・従業員等の活動ぶりを自らの目で観察し、異文化経営の雰囲気や直に肌で感じ、人材育成の手法を観察し、人材マネジメントのメカニズムを探求する。

将来、国際大舞台で活躍できるビジネスリーダーになるために、競争力のあるゼミ組織の活動を通じてヒトの心をつかみ、人を動かすための人材育成の理念と手法を習得し体験することに努力する。

5 募集予定人員・選考試験

10名。筆記試験および面接を行う。

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉



? カクゼミとは

日中比較経営を通して人事評価制度やネット市場、人材開発など、チームごとに自由なテーマを研究できます。グローバルビジネスリーダーを目指し、個人の自主性を尊重して活動するゼミです。



📎 活動内容

◇2年次

- ・ 輪読
- ・ プレゼン能力強化

◇3年次

- ・ ビジネスコンテスト
- ・ 企業訪問
- ・ 講演会参加
- ・ 中国研修
- ・ ゼミプレ

◇4年次

- ・ 卒業論文

○25期生大募集○

ゼミ生主体の研究活動を通し、社会の即戦力になるスキルを身につけたい方、メリハリのあるゼミ活動をしたい方、是非一度足を運んでみてください！皆さんの入室を心よりお待ちしております。

どんなゼミ？

- ・ ゼミ生主体で授業進行し、社会の即戦力になる力を培う。
- ・ 学びたいことを自由に好きなだけ学べる。
- ・ 縦のつながりが強い（OB会などを通して社会人の話を聞くことができる。）

09. 加藤(友)演習〔2年半タイプ〕

准教授 加藤 友佳

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

- ◇ 社会の変化と租税
時事問題や税制を中心に課題を発見し、解決のために学修成果を総合的に活用する。
- ◇ ディベートによる知識の実践
講義で学んだことをディベートで実践活用することで、自分の力にする。

2 研究内容

大学の講義では様々な知識を修得します。このゼミでは、講義で学んだ知識等を、ディベートを通じてゼミ生自ら主体的に考え、論理的主張としてまとめ、発信することによって、生きた知識として実践しながら研究を行います。グローバル化が当たり前になった現代社会では、価値観の多様化や社会的認識の変化が急速に進んでおり、新たな社会問題や経済取引の複雑化も生じています。

例えば、企業が法人税を払いたくないと思うことは悪いことなのか（租税倫理）、ふるさと納税の返礼品規制は必要か、地方自治体による婚活推進は問題かなど、社会の変化に対応すべき租税の新たな問題は、個人や法人の生活と深く関わっています。こうした社会問題に対して、ゼミ生の研究関心に応じてディベートのテーマ選定を行い、租税、社会保障制度、ジェンダー等のアプローチから、賛成・反対チームに分かれて議論を交わし、ジャッジが勝敗を下します。

【到達目標】

時事問題について、経済的・法的視点から研究し、ゼミ内で議論を重ねることによって理論的思考のトレーニングを行います。ディベートを通じて研究を行うことで、自分たちの主張の正当性だけでなく反対意見も検討する必要があるため、多様な価値観を学び、論理的な説明ができるようになります。

3 参考文献

ゼミ生の関心テーマに応じて、随時紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度 エントリーシートと面接

5 その他

ディベート本番にむけて、チームに分かれて楽しく話し合いを進めることが必要なため、積極的かつ協力的にゼミに参加する姿勢が求められます。人前で話すことが苦手でも、トレーニングを重ねることで上達していきますし、論理的思考が得意な頭脳タイプもディベートには必要です。大切なことは、自分で学ぶ意欲を持ち続けることです。楽しいゼミにしましょう。

加藤友佳ゼミ

活動内容

加藤ゼミは主な活動として**税法**を題材に実際に過去に起きた事件を取り上げて、**ディベート**を行います。原告側と被告側に分かれて事件について調べ、それぞれ主張や根拠、予想される反論などを考えた上で実際に討論し、勝敗を決めます。授業の流れは、2コマ半ほどテーマについて情報を調べ、班で共有し合い、作戦を立てます。そのあと20分間のディベートを行います。ディベートを行う側だけでなくジャッジとして参加し、勝敗を決めることもあります。

加藤ゼミの雰囲気は？

一昨年に創設されたばかりのゼミであり、自由度がかなり高く、やってみたい活動、挑戦してみたいことなどの希望が通りやすいです！全員が積極的に意見を出し合える環境で明るく真剣に議論しています！！

先生はどんな人なの？

友佳先生はとても優しく、フレンドリーで美人な先生です！ディベートで取り扱う事件について毎回丁寧に分かりやすく解説し、どんなに初歩的な質問でも笑顔で教えてくださいます。生徒の自主性を大切にしつつ、困ったときは適切なアドバイスをしてくださいます。

どんな人に向いているの？

- ・ディベートが好きな人
- ・話すことが好きな人
- ・論理的に話せる人
- ・反対に話すこと自体や論理的に話すことは得意ではないけど鍛えたい人(就活のグループディスカッション対策に！)

ゼミ生から皆さんへ

法律の知識がなくても大丈夫です！最初は簡単なテーマ(移住するなら北海道か沖縄どちらがいいか？やドラえもんとのび太どちらが主人公か？など)から始めていきます。法律のことも先生が手取り足取り丁寧に教えてくださるので安心してください！私たちも最初は法律の知識ゼロからスタートしました。先生の解説やディベート前の話し合い、準備を重ねていくうちに身につけていきます。ディベートを通して一緒に楽しく学びましょう！！



@KATO_ZEMI2

その他質問などは公式Instagramへ！
気軽にご質問ください！

◀ @kato_zemi2

10. 金子演習〔2年半タイプ〕

准教授 金子 敦 子

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ Topics

マネジメント・コミュニケーション、組織行動、グローバル経営人材育成
Management Communication, Organizational Behavior, Global Competencies

2 研究内容 Seminar Outline

今日のマネジャー・リーダーには、「人とともに仕事をやり遂げる」ことが求められています。当ゼミでは、組織におけるコミュニケーションと効果的なマネジメントについて研究します。

活動の主軸は、ゼミ生による研究発表と議論です。効果的な仕事のコミュニケーション、経営の戦略と実行、コンピテンシー、働き方、グローバル経営人材など、個人・グループ毎に、ゼミ生が教員と相談の上で選んだテーマについて研究し、研究成果を関西大学・関西学院大学・法政大学との合同ゼミで発表します。これまでの研究キーワードは、コミュニケーションのほか、リーダーシップ、ユーモア、オンラインと対面、居場所感、SNS、口コミ、消費者行動、性格特性、アサーティブネス、アルバイト経験、タスク管理、就職活動、留学などです。ゼミ生の自主性を尊重して活動するゼミです。

なお、グローバル経営人材育成を視野に、留学生・留学経験者・留学予定の方の参加を歓迎します。

[活動概要] 2年次：文献講読・共同研究；3年次：共同研究；4年次：卒業論文制作。

[講師略歴] マネジメント・コミュニケーション研究・教育；株式調査部アナリスト（UBS証券会社）；コンサルタント（アクセンチュア）；MBA（Imperial College, London）；文学士（東京大学）。

Effective managers and leaders get things done with people. Management communication will focus on analyzing communication behavior in organizations and explores the implications for managerial practice. Students conduct research projects and deliver presentations at an intercollege conference.

[Main Productions] Year 2 and 3: group research projects; year 4: graduation projects.

[Instructor Profile] More than ten-year experience in studying and teaching management communication; six years as an equity analyst (UBS Securities), six years as a consultant (Accenture); Master of Business Administration (MBA), Imperial College London; Bachelor of Arts in Art History (BA), the University of Tokyo.

3 参考文献 Books

Cardon, P. (2023). Business Communication: Developing Leaders for a Networked World 5th ed. McGraw-Hill

4 募集予定人員・選考試験 Enrollment

12名前後を募集予定。選考は英語と日本語による筆記および面接。Around twelve students would be enrolled. The selection process includes interviews and essays in English and Japanese.

5 その他 Notes

授業内言語は日本語と英語とする。English for Business Studies、Strategic Business Communication、英語による講義科目を履修済みであることが望ましい。Classroom language: Japanese and English.

KANEKO SEMINAR

~Exceed your limits~



金子ゼミとは?

私たちは、マネジメント・コミュニケーション、組織行動を主なテーマとして、組織におけるコミュニケーションと効果的なマネジメントについて研究を行っています。

普段の授業では、クラス内でのディスカッションや研究発表などを行います。また、他大学との合同ゼミや英語プレゼンテーションに参加をしています。2年半を通して、グループ研究と個人研究をどちらも行うことで、有意義な経験をすることができます。

金子ゼミはゼミ生の自主性を尊重して活動するゼミです！皆さんも一緒に8期生として素晴らしいゼミをつくりあげていきましょう！



Prof. Atsuko Kaneko

- マネジメント・コミュニケーション研究・教育
- 株式調査アナリスト;コンサルタント MBA (Imperial College London)
- 文学士 (東京大学)

年間スケジュール

5・6月	ゼミ入室試験
7月	新歓コンパ
8月	夏合宿
10月	英語プレゼン大会 スポーツ大会
11月	合同ゼミ
2月	冬合宿

SUMMER CAMP

INTERACT SEMINAR

SPORTS FESTIVAL



11. キアナン演習〔2年半タイプ〕

教授 キアナン・パトリック

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

言語と異文化コミュニケーション

2 研究内容

この演習では、英語を通して、言語学と異文化コミュニケーション研究し、言語や文化について、さまざまなことを学んでいく。

将来、海外や国際的な企業で働くためには、まず世界的な共通である英語習得が不可欠となる。しかし、文法などの言葉の理解のほかにも、効果的なコミュニケーションには、文化的な理解が欠かせない。文化的違いを意識して、それを乗り越えるコミュニケーション力が必要である。世界的なビジネスの場においても、上手くいくはずの計画が失敗になった数多くの例が、異文化コミュニケーションに対する認識不足のためともいえる。そこでこの演習は、英語を通して異文化理解を勉強するものであり、その中でも、特に重要となる言語を取り入れた「言語と異文化コミュニケーション」に注目する。さらに、言語と異文化コミュニケーションを調べながら、英語のディスカッションで、発言のしかた、効果的なプレゼンテーションの作り方、英文の書き方などを学ぶ。またインターネットから英語のビデオ、記事なども用いて、英文読解力と聴解力を強くする。教員は理論などを紹介し、学生自身は、興味のある分野をさらに研究して、授業中の発表やディスカッションで紹介、また英語のレポートを書く。1学期（2年秋学期）は、異文化コミュニケーションを紹介して、ディスカッション、討論、発表の仕方について勉強する。第2・3学期（3年春学期・秋学期）には言語、文化とビジネスという幅広いテーマから最近の例を考えながら便要する。また、学生はブランディングについて、勉強して、グループでビジネスプランを作成して発表をする。夏休みの初めまたは、最後に合宿行い。合宿は、ゼミ生の交流と共に英語プレゼン大会を準備する。3年後期では、その英語ライティングコンテストを参加して、そして英語ライティングコンテスト及び学生向き教育学会も参加できる。最後に12月頃 iMeeting というイベントを経過してから開催する。第4・5学期（4年春学期・秋学期）は、英語により卒論を書きます。テーマの選び方から文書の修正まで丁寧指導しますので、ご安心ください。

3 参考文献

参考資料は、授業に案内するし、Oh-o!Meiji によるリンクまたは、添付する。

4 募集予定人員・選考試験

20名程度

5 その他

この演習は、基本的に英語で行う。効率をあげるために、毎回予習・復習をし、授業に活発に発言しましょう。これにより英語を上達し、重要な文化的事情を学びながら、同じ演習を受ける学生との交流もはかれる。

Kiernan Zemi 2024

現代では英語が話せて当たり前と言われていています。社会に出て何不自由なく外国人とコミュニケーションがとれて、グローバルな社会人になるためには、大学生の期間に『日本』という限られた価値観の中で勉強していくには限界があります。しかし、留学や英会話学校に通うというのは、お金や時間の制限があるためなかなか難しい…。だったらいっそのこと、大学で英語に触れ合う機会を増やしてしまうのが手っ取り早い！私たちキアナンゼミでは英国人先生の下、日々英語で講義を行いながら、世界へ視点を向けて勉強しています。英語でのディスカッション・プレゼンテーションは社会に出てから必須！国際的な知識や視点が無いと、将来取り残されてしまいますよ！

☆ここが特徴！☆

- ◆ 経営学部唯一、英国人先生によるゼミ！
- ◆ 日本人だけでなく、留学生もゼミ生！
- ◆ 英語コミュニケーションだけでなく異文化やグローバル 이슈について勉強が出来る！
- ◆ 英語プレゼンテーションコンテストに参加出来る！
- ◆ ゼミ合宿やパーティもある！

If you love English, why not join us?



12. 菊地演習〔2年半タイプ〕

教授 菊 地 端 夫

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

行政・自治体を中心とした公的組織・サービスのマネジメントに関する研究

2 研究内容

本演習は、行政組織を中心とした様々な公的組に関わるサービスやマネジメントについて探求を行うことを目的としています。

かつて、行政組織を中心とした公的組織のマネジメントは、民間企業とは異なる原理で行われるべきとされてきました。しかし、20世紀後半から企業の経営手法に学ぼうという改革が行われるようになり、一方で民間企業ではCSRなど広範な社会的責任に応える経営が重視されるようになりました。行政組織と民間組織のマネジメントの差異は相対化しつつあります。

これまで本ゼミでは、上記の大枠に基づき、次のような幅広いテーマで学生による研究が行われてきています。「世代間の利害調整手法としての“フューチャー・デザイン”の可能性」、「道の駅」における農産物直売所が販売農家のモチベーションに与える影響に関する研究」、「空き家再生・利活用を目的とした不動産業者の関わりに関する研究」、「ローカル線が持つ多面的価値による持続可能性に関する研究」、「WITH コロナ時代におけるキャンパスライフ再開に向けた学生の行動変容のための有効なメッセージの在り方に関する研究」、「農業の持続可能性を高める一手法としてのグリーンツーリズムの可能性に関する研究」、「自治体クラウドファンディングの成功要因についての実証研究」、「自治体の子育て支援策が出生率に及ぼす影響力の検証ー近居推進事業の政策的効果に注目して」、「都市型マルシェの持続可能性向上策に関する研究」他。

また本ゼミでは、夏季休暇中の合宿に加えて、これまで鳥取大学との合同発表会、ゼミプレや外部の研究発表への参加、英語プレゼン大会への参加なども行ってきています。ゼミ生の卒業後の進路は公務員も一定数いますが、大半が民間企業への就職です。ゼミでの経験を活かして、行政経営コンサルタントとして活躍している卒業生もいます。国立・私立の大学院への進学や、アメリカ、カナダ、イギリス、オランダ、シンガポールなどへ留学し、海外で働いている卒業生もおります。

そのため将来の進路として公務員を考えている学生のみならず、ひろく企業での働きや自らの事業での活動を通じた公共的な価値形成とそのマネジメント一般に関心のある学生にも入室をお勧めします。近年は英語による研究の発信にも力を入れています。ゼミでの活動で様々な挑戦をしてみたい学生の応募を期待しています。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は学生と相談しながら決めますが、これまで、研究の方法に関する文献（伊藤公一朗（2017）『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社、伊藤修一郎（2022）『政策リサーチ入門』東京大学出版会他）と、研究の対象に関する文献（枝廣淳子（2018）『地元経済を創りなおすー分析・診断・対策』岩波、大月敏雄（2017）『町を住みこなすー超高齢社会の居場所づくり』岩波、曾我謙悟（2019）『日本の地方政府』中公新書、川端基夫（2017）『消費大陸アジア：巨大市場を読みとく』筑摩書房、他）を数多く読み進めています。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。入室試験は身上書と事前レポートの提出に加え、面接を行う予定です。2024年度の活動や選考の詳細はゼミナビ（個別説明会）で発表しますので、履修希望の学生は必ず参加してください。

5 その他

同じ志をもった仲間とともに切磋琢磨しあい、卒業後も長きにわたってつきあいの続く一生ものの仲間に、ゼミで出会いませんか。最低限の礼節を備え、時に苦しいけれども学ぶこと全般を楽しめる学生（No Joy, No Gain!）の参加を大いに期待しています。



菊地ゼミ

菊地ゼミってどんなゼミ？

学んでいる分野

行政組織を中心とした
様々な公的組織・サービス
のマネジメントに関する実証研究

授業内容

- 2年 3分間スピーチ
文献輪読
- 3年 グループ研究
ゼミプレ
- 4年 卒論研究

実績

2023年度

- ゼミプレ
- 優勝 Hブロック
- 第3位 Dブロック
スポーツ大会
- 優勝 ハレーボール

菊地先生について

菊地先生の研究分野は、
行政学・地方自治論・公共政策論です。
先生は日本に加えて海外でも活躍されており、
知識量の多さに、毎週驚かされます。
先生はとてもお話ししやすく、そして的確な
アドバイスもくださるので、ゼミ生のお父さん
のような存在です！笑

菊地ゼミの魅力

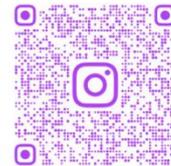
- ①縦のつながりが強い
菊地ゼミは10年以上の歴史があるため、
多くの先輩が社会で活躍されています！
皆さんとても協力的で、頼れる先輩方です！
- ②全員が成長できる雰囲気
毎授業行う3分間スピーチでは、
様々なテーマを3分で話すことでスピーチ力を身につけます
文献の輪読やグループ活動では、お互いの意見を交換し、
そこから新たな考えを生むというプロセスで柔軟な思考を身につけます
- ③公共経営学科でなくても大丈夫
ゼミ生の中には、経営学科や会計学科の人もたくさんいます
グループワークなどではテーマを自由に決めることができるため、
公共経営学科でないと入室できないということはありません！

年間スケジュール

5月 2年生歓迎会
7月 夏合宿
10月初旬 スポーツ大会
10月下旬 英プレ
11月 ゼミプレ
12月・1月 クリスマス会
OR
新年会
3月 追いコン

ゼミ生から一言

学びも遊びも全力で取り組み、個性豊かなゼミ生と博学多識な先生と共に
菊地ゼミで、大学生生活の「最高の1ページ」をつくりませんか？
ゼミ生一同、14期生と共に活動する日を心待ちにしています！
募集の詳細はゼミナビ・個別相談会で！



@KIKUCHI.SEMINAR.MEJI

No joy, No gain

1 研究課題・テーマ

非営利組織・社会的企業による地域課題解決、地域振興の取り組み

2 研究内容

(1) 研究テーマ：このゼミでは、非営利組織（NPO/NGO）や社会的企業による地域課題への取り組みを研究テーマとしています。非営利組織や社会的企業は、教育、医療、福祉、まちづくり、スポーツ、途上国支援など幅広い分野で活躍しており、私たちの生活と密接なかかわりがあります。

地域社会には、実に様々な社会問題や環境問題があり、解決を迫られています。そのためには国や自治体はもちろん、非営利組織や社会的企業、営利企業、住民団体などが連携することが重要です。非営利組織や社会的企業は、「こんなまちにしたい！」という一人一人の願いに始まり、多くの共感を得て、比較的自由的な立場で意見を出し、事業を創出できるのが強みです。

(2) 2年生（演習Ⅰ）：二つの活動の軸を設けています。一つは、地域課題に関するテーマを各自が一つ選び、資料を調べて報告するというもので、何をどう調べてまとめればよいのかというスキルを身につけることができます。もう一つは、非営利・協同組合、商店街、観光、地域スポーツなど多様な分野で、地域振興の活動をしている方を招いて話をお聞きします。商店街などの現地訪問もあります。可能ならば3年生の夏合宿にも参加します。

(3) 3年生（演習Ⅱ）：数名でグループを作り、地域課題に関する研究テーマを決めて調査研究を行います。過去にどのような研究テーマがあったかは、小関ゼミのサイトを参照してください（「小関ゼミ」で検索すると出てきます）。

本や記事・論文などを幅広く集めて基礎知識を得るとともに、関係の団体や企業、自治体などを訪問して話を聞いたり、施設を見学したりします。訪問先は、各自で探してアポイントを取り、事前に質問を書いて送るなどの準備作業を行いますので、訪問インタビューの経験を積むことで自信がつかます。

夏季休暇中の合宿は、各グループが研究テーマに沿って訪問先を決め、合宿先の地域で訪問調査を行います。合宿先の地域の選定からレクまで全て、ゼミ生が話し合って決めます。過去の合宿の記録も、小関ゼミのサイトにあります。

他大学・他学部のゼミとの交流もあります。12月に合同の成果報告会を開き、プレゼンテーションを行います。翌年1月には、研究成果の報告書を冊子にまとめ、配布します。

(4) 4年生（演習Ⅲ）：各自がそれぞれテーマを自由に決め、卒業論文を執筆します。論文のテーマ⇒構成案⇒文献収集・現地調査⇒各章の執筆⇒加筆修正と、段階を追って書き進めます。メンバーが互いに助言しあい、励まし合います。教員による個別指導のサポート体制もあります。過去の卒論は小関ゼミのサイトに掲載されています。

3 参考文献

小関隆志編著『生活困窮と金融排除——生活相談・貸付事業と家計改善の可能性』明石書店、2020年

佐藤順子編著『フードバンク——世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策』明石書店、2018年

4 募集予定人員・選考試験

12名程度。エントリーシートを提出してもらいます。

入室試験は、面接を行う予定です。

<このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です>

Koseki Seminar

Vol.01



□関ゼミとは？

小関ゼミでは、非営利組織(NPO)や社会的企業、地域活性化などの身近な生活に深くかかわる内容を、2年半かけて学んでいきます。実際の活動では、一人ひとりの関心に合致した学問分野を見つけ出して研究を進めています！まだ自分の興味関心が固まっていない人でも入りやすいゼミになっています。優しい小関教授のもとで大学生活のうちの2年半私たちと一緒に学んでみませんか？

年間スケジュール



- 2年 秋 個人発表やインタビュー
- 3年 春 グループ作業
- 夏 合宿など
- 秋 スポーツ大会や
- 冬 報告書作成など
- 4年 卒論準備

SNSなど！

Instagram [koseki__seminar_2023](#)

Twitter [@kosekiseminar](#)

公式 HP <http://kosekizemi.net/>

ゼミ生の人数や学科について

- 現4年 経営学科7名、公共経営学科5名
合計12名
- 現3年 経営学科7名、公共経営学科7名
合計14名
- 現2年 経営学科9名、公共経営学科4名、
会計学科2名 合計15名



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

歴史を通して世界を見つめる。

2 研究内容

このゼミは経営学部では唯一、歴史を中心として研究していくゼミです。しかしゼミの活動は、教科書に載っているような狭い意味での「歴史」に限定されるわけではなく、現代世界に関する数多くの問題も積極的にとりあげていきます。

「歴史を学ぶ」というよりも、「歴史を通して、私たちの住む社会や世界について考える」のがこのゼミのねらいです。次の3つを基本方針として進めます。

- ① 各自の関心を尊重した、自由なテーマによる研究が基本です。研究対象は、地域や時代を問いません。日本史や世界史の中からさまざまな事例をとりあげて研究することもできるし、私たちが生きている現代の社会問題や文化などをテーマにしてもかまいません。研究発表をもとにして皆で討論を重ね、理解を深めていきます。4年次に卒業論文を作成します。
- ② 文献や資料を読み進めることが基本になりますが、歴史について考える素材はほかにもたくさんあります。街並みや建築、文化財などの歴史遺産、芸術作品、人々が日常的に用いてきた生活用具、さらには自然景観なども、人間や歴史について豊富な情報を提供してくれます。なるべく生きた歴史に触れるため、実際に各地の史跡や博物館などを訪れ、歴史が展開した「場」を体験することを重視します。近年のゼミ合宿では、京都、名古屋、仙台、広島などで主に史跡に関する調査を行ってきました。
- ③ 史跡は、貴重な文化遺産であるとともに、観光資源としても有用です。各地の史跡をいかに役立てていくか、なるべく多くの事例にもとづいて考えていきます。

3 参考文献

共通の参考文献は特に決めていません。各ゼミ生の関心にもとづいて、参考となる図書や資料を指定します。

4 募集予定人員・選考試験

12名。面接により選考します。

どのようなテーマに関心があるのか、なぜそれが重要なのか、自分の考えをまとめて選考試験に臨んでください。

5 その他

- ① 歴史を手がかりとして幅広く考えるのが目的のゼミです。研究対象は広く設定できますので、大学受験で日本史や世界史を選択科目としなかったという人でも問題ありません。
- ② 3年次にゼミプレに参加して研究成果を発表します。
- ③ 夏休みに史跡見学などを中心とした合宿を行います。2年次の夏にはまだゼミは始まっていませんが、意欲的な参加を期待します。

～過去を語らずに今は語れない！～

About us



このゼミの最大の特徴は、研究する内容を自分たちで決められる所です。

自分の興味を持ったことについてのプレゼンテーションを行い、それについて意見を交わし研究を進めていきます。日本史・世界史について研究するもよし企業やスポーツ、文化の変遷について研究するもよし！仏のように優しい先生が豊富な知識でサポートして下さります。様々なプレゼンを聞くことで自分の知識もどんどん増えます！また、プレゼンテーションをする機会も多いので、人前で話す力やわかりやすい資料を作成する力もつきます。

Instagram @satsuma32_seminar

演習 I・II 年間スケジュール

6月 ゼミ試・新歓コンパ

夏休み ゼミ合宿

9月 演習 I 授業スタート！

10月 スポーツ大会

11月 演習 II ゼミプレ

1月 新年会

3月 追いコン



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

ライフスタイル・マネジメント

2 研究内容

グローバル化にともなって、自己責任、自己管理が個人に強く求められるようになっていきます。ゼミでは新しい健康の考え方であるウェルネスの観点から、ライフスタイル・マネジメントについて勉強していきます。ライフスタイルを構成する要素である運動、栄養、休養、ストレス・マネジメント、悪習慣（たばこ、アルコール、ドラッグ）マネジメントなどから、自分の興味に基づいたテーマを決めて、研究を進めます。さらに、新しい健康（ウェルネス）の意味を現時点でのライフスタイルからライフステージへ、また、個人から家族、地域、自然環境、企業へ発展させて考えてみたいと思っています。自分自身について今何をやったらいいか、10年後、20年後、30年後のライフスタイルをどのように設計するのか、考えてみる機会になればいいでしょう。演習Ⅰ（2年）では、まず自分自身についての理解を深めます。自分のライフスタイルを運動、栄養、休養の観点から、エネルギー代謝測定（カロリー消費能力）、行動調査、栄養調査（カロリー摂取量と摂取栄養素比率）を実際に行い、検討していきます。調査結果はコンピュータ（主にエクセル）を使って処理し、さらにパワーポイントを使いながらまとめ方やプレゼンテーションの仕方を勉強します。演習Ⅱ（3年）では、ライフスタイル・マネジメントの要素から、自分のテーマを決めます。文献や資料を収集し、内容をパワーポイントでプレゼンテーションします。発表と議論を重ねるに連れて、自分の興味の方向性を定めていくこととなります。また、その過程から4年次に行う実験やアンケート調査の方法を調べます。演習Ⅲ（4年）では、卒業論文の作成が活動の中心となります。3年次の活動を基礎に、実験や調査を行い、自分自身のオリジナルなデータを収集し、卒業論文を作成します。

3 参考文献

特に指定しません。

4 募集予定人員・選考試験

約10名。面接を中心に行います。

5 その他

ゼミ合宿、年2回、2泊程度で2～4年生合同で行います。スキーやスノーボード、キャンプなど、スポーツ活動を中心にゼミ生の希望に応じて内容を決めたいと思います。また、その他に特別な企画を立てて希望者による合宿やイベントを行うこともあります。

ゼミを選ぶにあたって健康に興味のある人、身体について興味のある人、ストレスについて興味のある人、フィットネスを増進させたい人、スポーツが好きな人、自然が好きな人を歓迎します。積極的に活動（発言）できる人材を求めます。ゼミ活動中は禁煙です。

《研究内容》 私たちのゼミでは、ライフスタイル・マネジメントについて勉強しています。運動、健康、スポーツマネジメントなどに関連する自分の興味に基づいたテーマで研究を進めていきます。自分自身が今何をやるべきか、将来のライフスタイルをどのように設計するのか、一緒に考えていきましょう！研究テーマが幅広く、自身の将来について真剣に向き合える機会があります。

3年生の研究テーマ（例）

- ・睡眠について
- ・靴下が運動に及ぼす効果
- ・記憶について
- ・タバコが健康に及ぼす影響



《活動》 鈴木ゼミの特徴は週一回のゼミ活動に加えて、夏はキャンプ、秋はスポーツ大会、冬はスノボ合宿とアウトドアに動くイベントがあります！

サブゼミなどはなく、自分の時間が十分に取れるため、体育会の活動や長期インターンと両立できます（でも体育会ゼミではありません）。

体を動かすことや健康に興味がある人やスポーツを観るのもするのも好きな人はぜひ鈴木ゼミへ！

卒論テーマも健康に関することなら自由なので幅広く研究したい人、まだ何をしたいか決まっていなくてもおすすめです！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバル化と企業の国際経営

2 研究内容

本演習は、グローバル化のなかで、急速に変化しつつある企業の国際経営について学び研究することを目的とします。経営学分野の学問的素養を高め、企業の国際経営一国境をまたいだ経営活動—について考察することに重点を置くのはもちろんですが、ゼミの活動では、企業を実際に訪問し、その企業について調査・研究することを特色とします。調査対象とする企業組織については、日本の大企業ばかりでなく、中小企業、外国企業や日本の外資系企業も視野に含め、製造業のみならず、ホテルや旅館などの観光・サービス産業、さらに商社も考察の視野に入れていきます。具体的には、日本企業の日本本社と海外現地子会社をターゲットにして、学生の方から、積極的に企業にコンタクトをとることからゼミの実際の活動は始まりますが、外国企業の日本子会社の訪問や、可能ならば、海外本社や生産・販売拠点の訪問もスコープに入れて活動していきます。

演習1では、国際経営の概要の理解と、基本的な論点であるグローカリゼーション（企業の国境をまたいだ経営において、「グローバル」と「ローカル」な要因に、どう対応するかという問題）の理解を到達目標とします。これは私によるレクチャーを中心に行いますが、これに平行して、訪問企業の決定と企業にコンタクトをとる活動が中心になります。

本演習のもう一つの特色は、英語の積極的な活用です。外国書の講読を通じて英語の読解力を向上させるとともに、時には、英語によるプレゼンテーションやディスカッションなどの機会を設けていきます。意欲のある学生には、英語による卒業論文の作成も奨励します。また、英語による学習を通して、異文化間コミュニケーションに関連する問題も実践的に学習していきます。このようなゼミの学習環境の中で、英語をツールとして研究し、将来、日本語のみならず英語により職業生活を送ることのできるような人材を育成することもゼミの目標の一つです。海外大学院進学を目指す学生や留学生、外資系企業への就職を考えている学生にも有用なゼミにしたいと考えています。

3 参考文献

吉原英樹『国際経営』（第5版）2021 有斐閣アルマ。

根本孝（編著）『グローバル経営：国際経営の進化と深化』2004 同文館出版。

ジェフリー・ジョーンズ 『国際経営講義：多国籍企業とグローバル資本主義』

安室憲一・梅野巨利訳 2007 有斐閣。

その他、必要に応じて随時紹介していきます。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。面接試験（主に日本語でおこないますが、最後に英語による質問を加えます。これには英語での対応が必要です。）

『経営学への扉』（第5版）の第17章、「企業の国際化」を読んでおくこと。

5 その他

コロナ禍と在外研究のため鷺見ゼミは2019年から募集していません。今年度の新規募集がゼミ11回生になります。講義や学生の個人プレゼンテーションには、日本語のみならず英語による時間も積極的に設けていきます。また、ゼミ全体で読む文献や討論のトピックにも、英語論文の書き方や英語によるプレゼンテーションの仕方に関する内容も取り上げていく予定です。

鷺見ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

Sumi Seminar

鷺 見 ゼ ミ ナ ール



【ABOUT US & WHAT'S SUMI SEMINAR?】

鷺見ゼミは国際経営について専門的に学んでいます。授業内はもちろん、授業外でも積極的にグループワークに取り組んでいます。そして企業訪問を通し実際の現場と照らし合わせ、グローバルな視点から研究を進めています。また海外にも足を運び国際ビジネスの実態を調査し、企業にとってより良い国際経営のあり方を研究します。

鷺見ゼミはまだ若いゼミであるがために、自分達自身でゼミを作りあげることができます。そのため各代とも様々な特色を持ち、個性を尊重したゼミであることも大きな特徴です。これから入室する11期のみなさんがどのような鷺見ゼミにしていくのかを楽しみにしています。それではゼミナビでお待ちしています！

【ACTIVITIES】

- 8月 ゼミ合宿
- 9月 本ゼミSTART
- 10月 ゼミプレ (4年連続ブロック内優勝)
- 11月 経営学部英語プレゼン大会 (3年連続優勝)
- 3月 海外企業訪問、追いコン
- 過去の企業訪問 キリン(日本、シンガポール、ミャンマー)、Microsoft(日本)、明治製菓(日本、シンガポール)、みずほ銀行(ミャンマー)、ホンダ技研



☞ Visit our HP!

Twitter ☞ @sumiseminar

Facebook ☞ 鷺見ゼミナール

【PROF.SUMI】



慶応義塾大学経済学部卒業後、渡米。ニューメキシコ大学で人類学博士号取得。その後サザンメソジスト大学・テンプル大学日本校などで10年以上教鞭を執り、2010年明治大学経営学部に着任。研究テーマはグローバル化と国際経営。

1 研究テーマ

主にドイツ語圏の文学・文化研究

2 研究内容

この演習で目指すのは、小説や映画、マンガ等について、自分の「解釈」を他の人に見える形＝説得的な言葉で伝える能力を養うことです。私たちが考えたり感じたりすることは、多くの場合とても非論理的で直感的なものです。それらを他者に分かりやすく論理的に伝えることは、私たちが社会で他者と共に生きていくうえで必須のスキルでもあります。非論理的ではっきりしないものを論理的に伝えるというこの作業が、しばしばとても困難なものであることは、皆さんも経験的に理解していることでしょう。

一方でやり方によっては、これはスリルに満ちたとても楽しい知的作業で、この演習では上述のように小説や映画を使ってそのスキルを磨きます。これらのメディアは上記の能力を養う格好の材料だからです。というのも、そこに描かれているのは多くの場合、(たとえ登場人物が「人間」でないとしても)「人間」という極めて非論理的な存在で、彼らは現実に存在している(であろう)私たち同様、いつも論理的で合理的に行動するわけではないからです。そのような作品を自分なりに読み解き、さらにはそれら非論理的な存在についての自分の考えを伝えるためには、二重の意味で論理的な思考が必要となります。つまり作品を読み解くとき(インプットするとき)と、自分の考えをまとめるとき(アウトプットするとき)です。

担当教員の専門はドイツ語圏の文学ですが、演習では2年次に様々な国の小説やマンガ、映画などを用いて「解釈」の仕方について学びます。3年次にはドイツ語圏の短編小説や自分たちで選んだ作品を使って、お互いの「読み」や「解釈」を伝え合い議論し、行間に隠れた多くの物語を探し出しながら、上記の能力を養います。4年次はそのスキルを用い、各自の定めたテーマについて個人研究論文を卒論として作成してもらいます。その際のテーマは、文学や映画、ヨーロッパの文化や社会等から自由に定めることができます。

この演習でまず求められるのは、作品と自分にじっくり向きあうことです。そのうえで感じたことや考えたことを根気強く説得的な言語に変換する忍耐力が必要となります。他者と常に即座に結びつくことができる(結びつかねばならない)時代には逆行しているかもしれませんが、作品や自分自身に沈潜できる人や、したい人には向いているでしょう。もちろん、とにかく文学やマンガ、映画、アニメが好き、ヨーロッパ文化が好きという方も大歓迎です。

3 参考文献

『文学の方法』(川本皓嗣編, 東京大学出版会)

教科書ではありませんので、必ずしも買う必要はありません。

4 募集予定人員・選考試験

10人程度を志望動機書により選考します(場合により面接も行ないます)。

5 その他

ドイツ語ができる必要はありません。

竹内ゼミ

当ゼミは、
ドイツ語圏の文学を研究分野とする
竹内拓史先生のもと、論理的思考力や論述力、
また表現力や言語化能力といった「語る力」を、
主に文学作品をテーマに感想や意見を
述べることで培うゼミです。

活動内容

ゼミ生によるディスカッションが中心です。

二年次の後期はドイツ文学などの課題図書を通じて
作品の読み方について議論を深めます。

作品を楽しむだけでなく、
作品の裏にあるヨーロッパ文化や歴史的背景も学びます。

三年次の前・後期はゼミ生が持ち寄った好きな作品や
興味のある議題について意見を交わし合います。

四年次は通年卒論制作で、
テーマは分野を問わず自身の興味関心に合わせて決めます。

「正解」を求められないディスカッションの機会が
減っている大学生活にぴったりのゼミです！

18. 田中演習〔2年半タイプ〕

教授 田 中 充 洋

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

スポーツ組織マネジメント，ボールゲームのコーチング

2 研究内容

なぜ，スポーツには魅力があるのでしょうか!? 勝負の厳しさ，技の巧みさ，ファッション性，健康や医療としての役割，それともビジネスやコミュニケーションソフトとして利用できるからでしょうか？

当ゼミでは，こうしたスポーツの多義的な要因を様々な角度から研究していきます。

授業の主な流れは，2年次（スポーツ実習と理論），3年次（フィールド調査と発表），4年次（卒業論文の作成）です。

各自が関心あるスポーツを選び，既存のコーチング理論や施策から，今後のスポーツのあり方について考えて欲しいと思います。

3 参考文献

スポーツ・マネジメントやコーチングに関する書籍・文献を授業内で適宜紹介していきます。

4 募集予定人数・選考試験

15名 面接で選考

5 その他

当ゼミは，アスリート・コーチ・運営スタッフを目指す学生をサポートするゼミです。私の研究対象はラグビーですが，他競技の体育会所属学生やスポーツを探究したい学生が多く集まってきます。

学内での講義・実習に加え，ゼミ合宿やスポーツ観戦／視察なども予定しています。

単にスポーツ好きだけではなく，ゼミの運営に積極的かつ献身的に関わっていける学生を望んでいます。



田中ゼミでは、スポーツのコーチングからビジネスに至るまで、スポーツ界を取り巻く様々な問題について研究しています。昨年は、オリンピック・パラリンピックや W 杯などビッグスポーツに関する一連の問題や、J リーグやプロ野球をはじめとする国内プロスポーツ、そしてわが明治大学体育会などアマチュアスポーツの運営に至るまで幅広く議論しました。体育会ゼミだと思われがちですが、ゼミ生の構成はプロを目指すものからサークルや地域スポーツクラブでスポーツを楽しむ人まで様々で、とにかくスポーツが大好きな人たちが集まったゼミです。

授業では、各々が携わる競技について裏話も飛び出したりして毎回新しい発見も多く、比較することで異なった視点を持ち自分達の競技力を高める良い刺激にもなっています。

3・4 年生は、キャンパスにスポーツ施設がなく、またコロナ禍ということで、全員一緒に運動する機会は少ないのですが、またゼミ合宿やボウリング大会・アウトドアスポーツイベントを通して親睦の場を作れればと考えています。

先生自身が、本学体育会ラグビー部の元監督であることもあり、シーズンが近くなるとラグビーの話題も多くなるので、明大生だなあ・・・という実感も湧いてきます。



(スポーツ大会 & 親睦活動)

1 研究テーマ

社会と会計（環境会計論、環境マネジメント論）

2 研究内容

地球環境問題への取り組みを中心に、環境マネジメントや統合報告といった視点から、多面的かつ幅広く研究したいと思います。

これまでの環境問題への取り組みは、一人ひとりが環境意識をもって省エネ・省資源活動にはげみ、日々の経済活動や生活態度を見直すことから始まるとされてきました。そのため、環境意識を高めるようなマインドセット（mind-set）への転換が叫ばれてきたわけです。

そして今日、社会全体のカーボンニュートラル（Carbon Neutral）の達成を目指し、EV以外の新車販売規制や排出量取引の拡大、IoT やビッグデータを活用する「デジタル革新（DX: digital transformation）」を通じて社会システムそのものを変革しようとする議論が進められています。スマートタウン（smart-town）やスーパーシティ（supercity）の構想などがその典型で、すでに国内外の多くの都市・地区などで実証実験が始まっています。

加えて、気候変動枠組条約締約国会議（COP）でもたびたび議論されるように、近時頻発する豪雨や大規模自然災害、不測事故等による「損失や被害（loss and damage）」は看過できず、経営者には、非常／緊急時においても最低限の事業活動を継続できるようにするための「事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）」の策定も要請されています。サプライチェーンやバリューチェーンを考慮することの重要性はよりいっそう増してきています。

さらに、2020年に入ってから、新型コロナウイルス感染予防のために、多くの企業がリモートワークを導入してオンラインを用いた業務展開を急速に拡大させたことから、人々の働き方も大きく変わり、「新しい日常」への模索も始まっています。

こうした環境変化に対応するために、2019年度からの演習では、最初に日本経済団体連合会（経団連）の提言『Society5.0 -ともに創造する未来-』（2018.11.13）を使って、日本の経済界がどのような未来構想を描いているのかを参照し、そこから派生する諸課題について演習参加者の関心に応じて研究を進めることとしました。

幅広い視野と多様な観点、旺盛な好奇心を持って議論ができれば良いと考えています。

3 参考文献

日本経済団体連合会（2018）『Society5.0 -ともに創造する未来』

その他、関連する報告書やニュース資料等を参照しながら理解を深めていきたいと思っています。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度

選考方法 ①書類審査：エントリーシート（様式あり）
②面接審査

5 その他

なし

研究の基礎となるアカデミック・スキルを磨き応用力を高めます

* 千葉ゼミナールでは、「環境」に関する様々な活動や動向を多面的にとらえて研究対象としています。

* 2022-23 年度はゼミ合宿も復活し対面のイベントも多く開催しました。それ以外でも各学年がそれぞれに課題に取り組みました。

その結果、ゼミプレでは行政チームがCブロックで第3位になりました。

～2023年度の活動状況～

2年生…『Society5.0』にもとづく発表と考察

3年生… ゼミ合宿（9月）懸賞論文作成（10月）、ゼミプレ発表
（11月）

4年生… 3年生向けの就活相談会（5月）、卒業論文作成

* 千葉ゼミナールでは、学生が主体となって行事を企画し運営していきます。

もちろん、わからないことや迷ったときには先生にアドバイスを求めますが、やりたいことや挑戦してみたいことには躊躇することなく取り組んでいます。



「仲間と一緒にひとつひとつ創りあげる」というかけがえのない経験を通じて
社会に出てからも役立つ【企画運営力】や【課題克服力】を磨きませんか？
「知的な好奇心」「自由な発想」「目的意識」を持った諸君をお待ちしています！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

持続可能な経済・金融・社会システム構築のための価値創造経営・価値共創に関する研究

2 研究内容

本演習では、営利と非営利、財務と非財務という二項対立図式を超えて、多様な主体の協働による価値創造あるいは価値共創の観点から、持続可能な経済・金融・社会システムの構築に貢献しうる、新たなタイプの人材の育成をめざしている。また、単に英語で流暢にコミュニケーションできるという、狭い意味でのグローバル人材ではなく、人種・民族・文化・価値観・政治経済システムの多様性について偏見なく分析し、独自の視点や価値観から国内外に存在する多様性をめぐる課題を認識し、身近にも存在する多様性を楽しみ、多様性への理解や付き合い方を職業・生活に活かすことのできる人材の育成をめざしている。

演習担当教員の塚本は従来、営利・非営利組織双方の特徴を併せ持つ、ハイブリッド型企業である社会的企業 (social enterprise) に関する研究を専門領域としてきたが、近年、研究対象を CSR, CSV, そして社会課題解決を目的とした社会的インパクト投資 (social impact investment)、特にソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) に広げている。近年、多くの株式会社や、「営利」と「非営利」の境界を越えて社会課題解決のための社会貢献活動に積極的に関与したり、社会貢献のレベルを超えて、サプライチェーンやバリューチェーンを含む事業活動全体の環境・社会への負の影響 (外部不経済) を削減する取組みを行ったり、従来の財務情報に加え積極的にサステナビリティ関連情報を開示するなど、企業の経営活動は、単に経済価値だけではなく、社会価値も同時に追求する方向に変化している。一方で、社会課題の解決を本業として、株式会社や非営利法人の形態で事業活動を行う社会的企業という組織も世界的に台頭しており、社会性と収益性を両立させながら、就労支援、学習支援、地域再生、環境保全、フェアトレード等、様々な分野で事業展開している。また社会課題解決に金融の仕組みを活用するインパクト投資も世界的に台頭しており、グリーンボンド、ソーシャル・インパクト・ボンド等、社会貢献型債券の発行も進んでいる。

演習では、ゼミ生と相談しながら、主に以上の分野を対象に研究活動を行う予定である。本演習の研究方法の特徴は、文献研究のみならず、フィールドワーク (現地調査) を重視する点にある。これまでゴールドマン・サックス、損保ジャパン、味の素、リクルート等の CSR 先進企業、デロイト・トーマツ、地方自治体等にインタビュー調査 (半構造化インタビュー) を実施してきた。まず2年次においては、企業の社会的責任や価値創造経営、価値共創に関する基礎的文献を輪読し、各自、その内容の要約・感想等を発表し議論を行う。3年次においては、グループに別れ、グループごとに研究テーマを設定して研究に取り組む、その最終成果を他大学との合同ゼミプレで発表する。4年次は、各自関心のあるテーマで卒業論文を作成してもらう。

3 参考文献

塚本一郎他編著『インパクト評価と価値創造経営』第一法規。

塚本一郎他編著『ソーシャル・インパクト・ボンドとは何か』ミネルヴァ書房。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートや面接等を中心に行う。

5 その他

無断欠席・遅刻は厳禁とする。

塚本一郎ゼミナール

研究内容

NPO やコミュニティビジネス, NPO マネジメント, 社会的企業, NPO と企業・行政の協働や企業の社会的責任(CSR)など

塚本ゼミの特徴

- ① 公共経営系のゼミですが, NPO や行政だけでなく企業視点からの研究も行います。
(経営学科, 会計学科の学生も多数在籍)
- ② フィールドワーク重視! 座学だけではなく, 実際に自分たちの目で見て学んでいきます。

〈今までの調査先〉

損保ジャパン, マイクロソフト, アサヒビール, リクルートなど

主な活動 (過去の例)

- 9月: ゼミ合宿, スポーツ大会
- 12月: フィールドワーク(静岡), 忘年会
- 2月: フィールドワーク(仙台, 石巻)
- 3月: 研究発表, 卒業パーティー
- 8月: フィールドワーク(石巻, 女川), バーベキュー など



9月 スポーツ大



2月 フィールドワーク



9月 ゼミ合宿(清里)

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

現代イタリアの文化、社会を、EU 諸国や日本社会と比較しつつ考察する。

2 研究内容

現代イタリアの文化、社会を、いくつかの切り口から見ていく。

- (1) イタリア映画に描かれたイタリアの社会
- (2) 日々発行されているイタリアの新聞記事
- (3) イタリア・オペラに描かれたイタリア
- (4) イタリアにおけるカトリック教会の意味を考察する

これらを通じて、イタリアの文化や社会を、他のヨーロッパ諸国や日本と比較しつつ考察する。イタリアの新聞記事に関しては、教員がていねいに説明する。

これらの過程を通じて、イタリアの特徴・独自性、ヨーロッパ諸国における共通性、さらに、日本との異質性や共通性も明らかになるだろう。

3 参考文献

北村暁夫著『イタリア史 10 講』(岩波新書)

土肥秀行・山手昌樹編著『教養のイタリア近現代史』(ミネルヴァ書房)

伊藤武著『イタリア現代史』(中公新書)

村上信一郎著『ベルルスコーニの時代』(岩波新書)

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。簡単な筆記試験および面接実施（イタリアの何に関心があるかを尋ねる）。

5 その他

間口は広いので、イタリアについて強い関心を持ち、本、雑誌、テレビ、インターネットを通じて知見を広めよう。

授業では、各自が選んだテーマを発表し、ゼミ員同士で質疑応答をする。

辻ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

辻ゼミとは！

辻ゼミはイタリアを中心とするヨーロッパ文化をオペラや映画を用いて学ぶ、教養ゼミです！
しかしそれらに限らず、サッカー、料理、歴史など、自らが興味を持った分野を自由に 学ぶことができます。



普段は学生の発表プラス雑談形式で授業が進み、教養豊かな
先生のお話 からはイタリアだけでなく、幅広い知識 が得られるでしょう。

イタリアへの興味の対象は、みなさんそれぞれ異なり、多種多様です。

そのため自分が知ることもなかった世界を見ることができますし、お互いに刺激しあえる だけでなく、あなたの新しい将来の道が開けるかもしれませんよ♪

辻ゼミの雰囲気は？

目じりの笑顔しわが素敵な辻先生と作る、和やかでゆったりした雰囲気です。
自分のペースで活動できる上、気軽に意見交換ができます！

行事活動

年によって合宿を催したり、オペラや映画を見に行ったりします！
やりたいことがあれば、企画提案することもできますよ(*^▽^*)
新国立劇場で、皆でオペラ「イドメネオ」を鑑賞したこともあります♪

辻ゼミに向いている人

イタリアに興味がある人はもちろん、何も知らないけど学んでみたい人、辻先生が好きの人、などなど大歓迎です！！
また、力を注ぎたいこととゼミとを両立させたい人にも、個人の時間も取りやすいゼミなので、お勧めです。

辻ゼミ Q&A

- Q. 英語とか喋れないんだけど…
- A. 特別なスキルは必要ありません！
- Q. プレゼンが苦手です…〈〉
- A. 気楽に発表できる雰囲気なので安心♪
- Q. 他にも質問したいことが！
- A. ぜひ各種ガイダンスにお越し下さい！



辻ゼミで楽しく
学びましょう！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本における株式所有構造の変遷と企業財務に関する研究
サステナブルファイナンスの推進に向けた諸課題の検討
中小・ベンチャー企業の資金調達のあるり方

2 研究内容

企業の資金調達と運用を意味する「財務管理」ですが、本演習では、財務管理に関連する内容についての研究・実践を行い、以下のような能力を身につけることを目指します。

(1) 株価の動きを通じて、個別企業の評価や今後の経済動向等を推察する力を身につける

財務諸表や株価動向等から、投資対象としてふさわしい銘柄選定の体験を行います。個別企業の経営分析・財務分析を実際に行うことで、企業を見る力を養っていくとともに、「株価」という視点からも見ることで、株価の変動に影響を与える金利動向や日本経済・世界経済の今後の方向性にも興味を持てるようになって考えています。こちらは、就職活動に向けた経済・経営の知識を積極的に身につけられることに加え、NISA 恒久化にあたって、自身の資産運用にも役立つと思われます（個人的には実際に投資の体験もしてもらいたいと考えていますが、大学・ゼミとして株式投資を推奨しているわけではありません）。

(2) 論文作成を通じて、論理的思考能力を身につける

学内討論会であるゼミプレや、全国の財務・証券系を学ぶ学生が集う証券ゼミナール大会に参加します。論文作成を通じて、「相手に伝わる文章を書く」方法を理解するとともに、各討論会・大会では、限られた時間内で発表を行いますので、その練習を通じてプレゼンテーション能力を高めることも目的としています。パワーポイントを使いながら、どうすれば「論理的な」説明になるのかを練習します。

(3) 産学連携事業による実務体験を通じて、課題発見・解決力を身につける

座学だけでなく、実際に事業を展開している方と一緒にプロジェクトを行っています。現在は、既存のビルを環境に配慮したビルにリノベーション（グリーンビルディング化）し付加価値をつける事業を行っている、株式会社ビル mo の吉田様とのプロジェクトが進行中です。ゼミでは、新築ビル建設が話題になっている一方で築年数が経過した物件が増加している中、環境配慮に加えてどのような特徴を足してリノベーションすることがさらなる価値向上に結び付くか、その資金をどこから捻出するのか、についてディスカッションしています。

3 参考文献

鳥居陽介編著『テキスト財務管理論（第6版）』、中央経済社、2022年。
坂本恒夫・鳥居陽介編著『企業財務と証券市場の研究』、中央経済社、2018年。

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人員：最大15名程度
選考試験：面接を実施します

5 その他

プレゼン大会や年2回実施予定の合宿等、ゼミのイベントには必ず参加してください。加えて、プレゼン大会の準備等のため、サブゼミを実施します。こちらの参加も必須です。また、学年を超えたグループによる上記産学連携プロジェクトも実施しておりますので、こちらへの参加を希望する意欲のある学生を募集します。教員から提供される知識を身につけるだけでなく、自ら主体的に勉強することができる学生を求めます。

🔪鳥居ゼミとは

坂本恒夫先生の意思を受け継いだ鳥居先生による数少ない証券を研究テーマとしたゼミナールです。東京証券取引所訪問や株式会社 QUICK 訪問など、自分たちの知識の引き出しを増やす貴重な機会が多くあります。

財務管理論や現代コーポレート・ファイナンス論など、人気の高い講義を担当する鳥居先生の下で二年半学んでみませんか？



🔪活動内容

昨年度はゼミプレ・証券ゼミナール大会の二つに出場し、「日本におけるベンチャーファイナンスのあり方」、「持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスのあり方」、「株主にとって望ましい株主還元政策」をテーマに研究を行いました。特に、証券ゼミナール大会は全国規模の大会であるため、他大学の研究を聞くことのできる貴重な機会です。また、その準備にあたって行う合宿は他大学と合同で開催し、お互いの研究内容について発表をしています。このように、他大学との結びつきが強いのも鳥居ゼミの特徴です！



今年の夏合宿は大阪商業大学・創価大学・嘉悦大学との夏合宿でした！

今年度の証券ゼミナール大会では、「株主にとって望ましい株主還元政策」班が賞を獲得することが出来ました！



X (旧 Twitter)・Instagram は
@toriseminar で検索！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

私の専門は経済地理学です。一般に経済地理学は、多国籍企業がどのような論理で事業所展開をしているのかや、コンビニチェーンはどのような店舗展開をしているのかといったように、経済活動の立地や分布を説明する学問であると考えられているようです。

私自身は、立地や分布を重視する経済地理学とは、少し違った経済地理学を目指しています。人間の暮らし方は地理的・歴史的に一定の枠組み持っています。人々は、この枠組みの下で／枠組みを変えながら、生きています。私が考える「経済」とは、この暮らしの枠組みそのものであり、それを把握できるような新しい経済地理学を作りたいと考えています。

私自身の研究テーマについて話したいことはたくさんあるし、興味を持ってくれればうれしいのですが、経営学部の学生にとっては、個別経営体の立地や場所による土地利用の違い、地域おこしといったような、明らかに経済地理学っぽいテーマのほうが、わかりやすいし興味を持ちやすいのではないかと思います。ですので、限界集落の問題、団地の高齢化、都市開発に伴う諸問題、外国人労働者の増加、地域ブランド戦略、まちづくり・村おこし、交通問題、地域の観光戦略、工場閉鎖と地域社会など、地域、場所、空間に関わる現象であれば、研究テーマとしてはOKです。

2 研究内容

わざわざゼミに所属するならば、ゼミでしかできないこと、すなわち自ら問題を設定し、調査や分析を通じて自分の力でその問いに答えることに挑戦してほしいと思います。これは結構難しいです。

演習 I：はじめにテキストを購読し、人文地理学・経済地理学の基本的な考え方を学びます。演習 I の後半では、グループにわかれて「問題」を設定し、それを「解く」にあたっての基礎的なスキルを養うことを目指します。

演習 II：グループごとに設定した「問題」を「解く」べく、調査と論文の執筆を進め、その結果を懸賞論文に投稿することを目指します。

演習 III：大学における学びの集大成です。一連の研究をすべて一人の力でやり、卒業論文を執筆してもらいます。

3 参考文献

特にありませんが、担当教員の著書を挙げておきます。

中澤高志 2008. 『職業キャリアの空間的軌跡』 大学教育出版.

中澤高志 2014. 『労働の経済地理学』 日本経済評論社.

中澤高志 2019. 『住まいと仕事の地理学』 旬報社.

中澤高志 2021. 『経済地理学とは何か―批判的立地論入門』 旬報社.

中澤高志 2024. 『ポスト拡大・成長の経済地理学へ』 旬報社.

4 募集予定人員・選考試験

12名。選考試験は、事前にエントリーシートを書いてきてもらいます。それを参照しながら面接を行います。

5 その他

無断の遅刻・欠席は認めません。また、この演習では、たびたび課題が科せられますので、時間外の作業負担は少なくありません。あとはゼミ生の自主性を尊重します。

可能な限り、私のフィールドスタディ（特に夏）を受講してください。大分県別府市・佐伯市に出かけます。

中澤ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

★中澤ゼミってどんなゼミ？

・取り扱うのは「経済地理学」。生産、流通、消費といった経済現象を地理学的立場から研究する学問で、特に中澤ゼミでは、経済立地論を中心に経営学的側面からのアプローチを学んでいきます。

・研究テーマは、空間に関わる現象なら何でも OK！

(例：限界集落問題、地域の観光戦略、まちづくり、都市開発 etc.)

★中澤先生ってどんな先生？

・経済地理学がご専門で、聞きたいことに何でも答えてくれます。

・とても生徒思いで情に厚い先生

・官邸に招かれる謎多き地理博士

★年間スケジュール (2年生秋～4年生)

2年生秋

文献輪読

(経済地理学に関する学術本を読み、この分野への理解を深めます)

3年生

グループ研究

(懸賞論文大会 (10月) に向けてグループ研究を行います)

4年生

卒業研究

(自分の好きなテーマで、卒業研究・論文執筆を行います)

フォトギャラリー📷 (ゼミ生紹介)



◎最後までご覧いただき、ありがとうございました。私たち中澤ゼミについてもっと知りたい方、入室に関してご質問がある方は、下記のメールアドレス・SNS まで是非お気軽にご連絡ください！

<連絡先>

Email (中澤高志先生宛) : nkzw23@meiji.ac.jp

Instagram (ゼミ生宛) :

https://www.instagram.com/nakazawa_seminal/?igshid=MmVIMjlkMTBhMg%3D%3D&utm_source=qr

24. 長野演習〔2年半タイプ〕

教授 長 野 史 麻

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

企業をいかにマネジメントし、目標の達成に向けてコントロールしていくかを一緒に考えていきます。

2 研究内容

いかなる組織にも計画を立て、計画の遂行をコントロールし、いくつもある選択肢から一つの行動を決めていくことは必要です。管理会計はこれらに役立つ情報を組織内のマネジャーに提供し、組織の目標達成をサポートしていくものです。管理会計を学ぶことは、将来のマネジャーにとって不可欠だけではなく、自らの人生をデザインし、それを実行していこうとするすべての人にとっても役立つものとなります。

長野演習では、2年次にケースを用いて企業活動を理解していきます。ケースにはグローバルに活躍している日本企業を取り上げます。企業がどのような目標を立て、その目標実現のためにいかなる戦略を立て、行動しているのかを多角的に調査・分析していきます。また企業分析だけではなく、業界分析、市場分析、経済状況の分析なども行っていきます。こうして実際の企業活動を企業外部から入手できる情報をもとに分析することを通じて、企業が市場でどのように評価されているのかを理解していきます。

つづく3年次には、企業内部のマネジャーが、どのようなマネジメント・コントロール・システムを用いて企業目標を達成させようとしているのか、テキストや論文を通じて、理論的に深く学んでいきます。2年次に企業活動の概略を理解しているため、企業内部で行われるマネジメント・コントロール・システムの理解が容易になると期待されます。そして4年次には各自の関心にそって研究を掘り下げていきます。

2年半の演習を通じて、すべての学生の問題発見能力と解決能力を高めていきます。また、調査・研究活動を通じて得た知見により、学生の一人ひとりが、自らの将来にむけた計画を立て、それをマネジメントできるようになるだけでなく、データにもとづく知的な意思決定ができるようになります。

3 参考文献

4 募集予定人員・選考試験

10名程度の募集を予定しています。選考はエントリーシートと面接で行います。

5 その他

長野ゼミ



年間スケジュール

- 6月 ゼミ試験
- 8, 9月 夏季集中ゼミ・OBOG会
- 10月 スポーツ大会
- 11月 ゼミプレゼンテーション大会
- 12月 合同論文発表会
- 1月 成果発表会
- 2月 ゼミ合宿
- 3月 春季集中ゼミ

管理会計って？

企業内部の意思決定や業績評価
に役立つ会計のこと！

テーマが管理会計だからと言って、
会計学科生である必要は
全くありません！
どの学科生もウェルカムです!!
一緒に学んでいきましょう！



@NAGANO_ZEMI

質問はこちらに！

- 2年生
企業・業界分析
- 3年生
グループ論文作成
プレゼン大会・合同論文発表会
- 4年生
卒業論文作成

25. 野田演習〔2年半タイプ〕

准教授 野田 寛 達

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

現代中国の社会・文化・ことばなど自身の興味に合わせて様々なテーマを選んで調査を行います。特に関東圏では身の回りに注意を向けるだけで中国を感じる事象で溢れていますので、テーマ選びに苦勞することはないでしょう。必要であればテーマに関してアドバイスもしますが、特定のテーマを強要することはありません。日本企業には中国関連のビジネスを展開しているところも少なくないので、知識を深めておくことは重要です。

2 内容

日本と中国は古来より密接な関係を持ち、特に近年では中国の国際社会での存在感の増大により、この国を知ることの重要性はより高まっています。一方で、本学部では中国に関して多角的に学ぶ機会が限られています。本演習では現代中国を対象として、政治、文化、習慣、言語等様々な問題について多様な視点から学習・研究を行います。これにより現代中国への理解を深め、ニュースから得られる知識の丸呑みを脱却し、思考する人材の育成を目指します。さらに中国語の理解・運用能力の養成もはかります。現代中国に関する様々な事象を紹介し、関連資料を参照しつつ理解を深めます。各自が設定したテーマに基づいて調査・研究を行い、その成果をプレゼン発表し、ゼミ受講生の積極的な討論を経て卒業論文を作成していきます。以下がこれまで作成された卒論テーマの一例です。

日中の生活習慣の違いとその理由の分析

ゴミを巡る中国の環境問題についての一考察

東京ディズニーランドと上海ディズニーランドの比較分析

東京の街中の中国語表記の現状と課題の分析

中国の政治と言論の自由に関して

日本酪農業の中国市場参入に関する分析

など

〈到達目標〉

中国について多様性のある知識を獲得し、理解を深め、自身で研究テーマを定め、調査・分析能力を身につけ、問題解決への思考力を強化し、研究の過程・結論をプレゼンテーションで表現でき、卒業論文を作成することをめざします。語学面ではできれば、辞書を引きながら新聞を読めるところまで到達できればと考えていますが、進度は履修者のレベルに合わせてます。

3 参考文献

家近亮子など著 2016年『5分野から読み解く現代中国（新版）』晃洋書房。

若林正丈など編 2020年『台湾研究入門』東京大学出版会

知足章宏 2015年『中国環境汚染の政治経済学』昭和堂。

荒川清秀著 2018年『中国語を歩く-辞書と街角の考現学<パート3>』東方書店

野嶋剛 2020年『香港とは何か』ちくま新書。

4 募集予定人員・選考試験

1学年約10名まで（全体の人数のバランスで決定）。

5 その他

希望者はできれば中国語初級以上を履修済みであることが望ましいですが、中国語初心者には別途学習の機会を設けるなどの配慮も行います。一次資料に触れ、生の情報を得るために中国語がある程度できた方が良いでしょう。中国人や世界中にいる華人と交流できるツールを持つことは皆さんの人生を豊かなものにするものでしょう。

野田ゼミナール



野田ゼミについて

野田ゼミは中国について、文化、社会問題、政治、ことばなど様々なトピックを題材にみんなで学んでいく教養ゼミです！全学年一緒に学びを進めるので、すぐにみんな仲良くなれますよ。学生の興味に合わせて好きなトピックを選んで学びを進めることもできます。普段のゼミは先生の現代中国に関する紹介や教養溢れるお話、中国語の学習、学生の発表、実地調査などを行なっています。ゼミの活動を通して、大切な隣国中国に関して、大いに知識を深めて、これまで気づけなかった日本との深い関係も知ることができ、皆さんの今後の人生にも大きな影響を与えることになるでしょう！企業の方は中国関連の話にはとても興味があるので、就活でも話すネタがたくさんできていいですよ！中国語が苦手でも初歩から学べますので、大丈夫です！



ゼミの雰囲気は？

ポブカットの似合う、中国大好き野田先生の醸し出す和やかな雰囲気が心地よいゼミです。学会や帰省の後には必ずお菓子を買って来てくれます！会食では先生おすすめの穴場の本格中華を食べに行ったりもします。ゼミ以外ではグルメやスポーツ、アニメなどの話に花が咲きますよ～。小規模なので打ち解けた雰囲気で、なんでも話せますよ～。



行事活動

中国人の集まる地域への実地調査、朝食ミーティング、食事会など等。学生からの提案で決まることもしばしばです。みんなのアイデアでゼミ活動を盛り上げています。



野田ゼミに向いている人

中国のことに興味のある人や学んでみたい人、中国のことと中国語の勉強を両立したい人、これから中国のことを知りたい人等少しでも中国に関心がある人は誰でも大歓迎です。リラックスした雰囲気で学びを深めたい人におすすめです。



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

想像力を通じた科学と芸術の融合に関する哲学的研究

2 研究内容

「グローバル化」を理解する鍵は、「普遍性」にあります。何かが世界中に広がるのは、それが普遍的であるからだ、と欧州では考えられています。例えば、自由、平等、博愛といったフランス革命の価値は、時代や文化を超えて、普遍妥当すると考えるから、欧州は世界中の人権問題に積極的に介入しています。この「普遍性に基づいている」という感覚は、グローバル化するビジネスの場面でも重要です。ジェンダー平等や環境保護は、まさにこの感覚を経営層が有しているのかが問われています。主要業務においても例えば、SNS のプラットフォームのような大きな社会基盤の開発にとって、普遍的な要素の創出は中心課題になっています。百数十カ国から数億人のユーザーの多様な活動を支えるプラットフォームを実現するためには、世代や地域を超える価値を見出し、それを実現する包括的なシステムを構築し、誰もが触れたいと思う美しいデザインを与える必要があります。そうした普遍性を創造し、ビジネスで活かすために哲学（価値）、科学（システム）、芸術（デザイン）を統合的に学びます。複合領域を修めるためには、考える力だけではなく、感性の力も必要になり、さらに統合するためには想像力が必要です。本ゼミでは、そうした方法論も学びながら、以下の領域を学際的に学びます。

- 1) Apple が「企業内哲学者」としてジョシュア・コーエンを雇い入れたり、PayPal の創業者ピーター・ティールや Instagram の創業者マイク・クリーガーなどが哲学を学んでいたことは有名です。実際にビジネスの現場でも導入されている哲学の方法論を紹介しながら、物事をその本質まで突き詰めて考える練習をします。
- 2) 新型コロナウイルスの mRNA ワクチンを開発したことで、BioNTech は一躍有名になりました。創業者のウール・シャヒンとオズレム・テュレジは、ともに免疫学等を研究する科学者です。科学者がそのまま経営者になった例ですが、彼らの経営判断には科学哲学が基礎にあります。現代の経営者には科学に関する深い知見が不可欠です。そのため、科学哲学と科学史を学びます。
- 3) 現代の製品やサービスは、機能的なだけではなく、美しくデザインされています。日常的に目にするガラス張りの建築やスマホでみるアイコンなど、機能と美しさの融合は、バウハウスが源流になっています。古代から近代までの美術とデザインの歴史を辿りながら、形態学や色彩学について学び、実際の制作行為も体験します。

基礎的な方法論と知識を身につけた後、ゼミ生自身が取り組みたいテーマを決め、ディスカッション等を通じて、研究に磨きをかけていきます。常識外れで独創的なテーマを歓迎します。

3 参考文献

河本英夫『哲学の練習問題』講談社学術文庫、2018年

A. F. チャルマーズ『改訂新版 科学論の展開』高田紀代志、佐野正博訳、恒星社厚生閣、2013年
畑一成『ゲーテ ポイエーシス的自然学の想像力』学芸みらい社、2020年

原研哉『デザインのデザイン』岩波書店、2003年

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートと面接。

5 その他

希望に応じて、美術館での実見や他大学との交流、合宿や国内外の研修等の各種イベントも実施したいと思います。留学を希望している方も歓迎・支援します(9年ほどドイツにいました)。

畑ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

フィクションの表現を分析し、「リアル」について考える

2 研究内容

映画や文学から、音楽や広告、あるいはモードまで、できるだけ柔軟な発想で広くジャンルを横断しながら、さまざまな対象をテキストとして分析することによって、フィクションの本質を探究します。

たとえば歴史の教科書の記述を思い出し、また、新聞やテレビのニュースの言説を考えてみても、私たちが私たちの生きている世界を知ろうとするときには、混沌とした現実の出来事にコトバを与え、因果関係をあてはめたりすることによって物語化せずにはいられないかのようです。その意味では、人は数え切れぬほど多くの物語に取り囲まれて生きているのです。そして、そのうえさらに想像力を駆使して、擬似的な世界を飽きずに産み出し、意味づけることを繰り返し続けているのが、映画や文学をはじめとするフィクションであるということもできます。いずれにしても、「リアル」かどうかというのは、実のところ、世界がどのように物語られているか、の問題でもあり、したがって、フィクションを研究するというのは、世界を表現せずにはいられない人間とは何かを考えていくことでもあるのです。

このゼミでは、具体的な対象の分析を通じて、最終的にはそうした本質的な問題の考察にまで到達することを目標に、各自が選んだテーマについて調査、分析をし、考えをまとめて報告すること、そして、それをもとに全員で討論をすることを繰り返していきます。

ただし2年次では、テキスト分析の際の基本的な考え方を平易にまとめた入門書や、映画や小説を対象とする批評のための入門書を輪読して、フィクションの考察に不可欠な記号論的発想の基礎を学びます。分担して報告することで、特定の課題について考えをまとめ、それをプレゼンテーションすること、あるいは、その聴き方や討論の行い方の基本も身につけます。

3年次では、より専門的な文献の輪読を春学期に、そして、各自の興味にしたがってテーマを絞り、卒業論文の構想をたて、秋学期からはその準備としての研究発表を行い、討論することを一年半にわたって繰り返しながら、卒業論文をまとめていきます。

★これまでの卒論テーマの実例★

「村上春樹研究」／「アメリカ映画の中の日本人像」／「フランク・ザッパ研究」／
「『GHOST IN THE SHELL』におけるネットワークと存在論的課題」／
「川久保玲と COMME des GARÇON」／「『勸進帳』論」／「広告キャッチフレーズの研究」

3 教科書・参考文献

『24 フレームの映画学——映像表現を解体する』北村匡平、晃洋書房。
『増補 文学テキスト入門』前田愛、ちくま学芸文庫。
『記号論への招待』池上嘉彦、岩波新書。
参考書については、適宜教室で紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。筆記試験及び面接を行います。

5 その他

- ・上記以外の活動についてはメンバー全員で話し合って決めます。
- ・演習とは、ひとつの「場」を全員で創っていく共同作業です。そのための責任が一人一人にあることを自覚できない人は参加をお断りします。無断欠席厳禁。

畑中ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉



こんにちは。畑中ゼミです。
僕たちのゼミは、フィクションに関する研究をしています。フィクションと言っても、人によって、文学を研究していたり、音楽を研究していたり、映画を研究していたり、マンガを研究していたり、いろいろな研究テーマがあります。

ゼミの形式としては、各週で担当を決めてプレゼンを行い、「論理が正当なものであるか?」「その研究が、ほかの研究

をしている人にもわかる内容になっているか」などを検証しあうという形です。

ここで、「文学を研究している人と、音楽を研究している人が、プレゼンし合っても、フィールドが違うので、意味がないのではないか?」という疑問が浮かぶと思います。この問題を解決するために、2年次に「記号論」というものを勉強し、違うフィールドの人が話を聞いても、理解のきっかけとなる下地、共通理解というものを構築します。

私は、映画を研究していますが、マンガを研究している人のプレゼンから、新たな発見があったり、刺激を受けたりということが実際にありました。

時系列でまとめると、

2年次	3年次前半	3年次後半以降
下地造り	→ フィクションに関する論文とは どういうものか勉強	→ 各自のテーマで卒論に向けて 研究を開始

以上のような、流れです。

求める人材としては「経営学が嫌だから、経営学ではないゼミ」という方ではなく、「フィクションが研究したい。もしくは、興味がある」という方を募集します。

皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本企業のマーケティング・マネジメントに関する理論的・実証的研究

2 研究内容

かつて世界を席卷した日本企業は、現在、そのプレゼンスを失いつつある。日本企業の低迷理由の1つにマーケティング力の問題がある。マーケティング力とは何か。そして日本企業のマーケティング問題は何であるのか。これらを受講者全員で考える場が本演習である。

2年生では、マーケティングの現代的問題に関する学術論文を論読する。同時に研究テーマごとにグループを作り、3年生から本格的に取り組む研究の準備を始める。3年生では、各グループの研究テーマに従って、専門論文を読みながら、実証研究を実施する。方法論（量的調査におけるアンケート調査の作成方法や統計分析方法、質的調査におけるインタビューの方法やそのコーディング方法）なども学習する。その成果を経営学部の懸賞論文やゼミブレで発表する。4年生は、3年生時の研究をもとに、新たな研究課題に取り組む。

3 参考文献

シラバスの記載以外で、以下のような文献を読んでもらいたい。

〈日本企業のマーケティング問題〉

原田将（2022）「日本企業におけるブランド価値経営の背景と課題 -ブランド価値の構成要素と利益」『経営論集』第69巻第4号，pp369-393。

ドミニク・テュルパン/高津尚志（2012）『なぜ、日本企業は「グローバル化」でつまづくのか』日本経済新聞社。

リチャード・ダベニー著・東方雅美訳（2011）『脱「コモディティ化」の競争戦略』中央経済社。

〈方法論について〉

井上達彦（2014）『ブラックスワンの経営学』日経BP。

西内啓（2013）『統計学が最強の学問である』ダイヤモンド社。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。選考はエントリーシートおよび面接試験にて行う。

5 その他

- (1) 演習は週1回を基本とする。また、サブゼミは学生の自主性に任せる。さらに、年2回（夏休みと春休み）の合宿やコンパ、企業訪問、他大学ゼミナールとの交流なども実施する。積極的に参加してもらいたい。
- (2) マーケティング理論の学習は輪読形式で行われる。輪読とは、担当者が担当論文について報告し、その議論を通じて共通理解を図る方法である。報告者は報告資料の作成を責任もって行わなければならない。また、報告者以外にも、当該論文の熟読、レポートの作成ならびに積極的な議論の参加が求められる。
- (3) グループ研究では自分たちで研究テーマを設定する。また、テーマに相応しい企業に調査に行く。調査のアポイントから質問票の作成まで全て自分たちで行う。つまり、主体性が求められる。
- (4) 演習のモットーは「よく学び、よく遊ぶ」である。そして、ゼミ活動の主人公は学生なので自分たちでゼミを運営してもらいたい。ゼミ活動を楽しみながら、多くのことを一緒に学びたいと考えている。

● 原田ゼミとは

「Work hard, Play hard」

学業も遊びも全力で取り組むゼミです！

原田ゼミではゼミ生が主体となって研究を行います。威厳と愛嬌を兼ね備えた原田先生のご指導の下、切磋琢磨しあえる仲間と共に、**全力で学び全力で楽しみます**。原田ゼミは一切妥協しません！



● 活動内容

2年次は担当者による論文のプレゼンとそれに対するディスカッションが中心です。また、国内・海外研修の準備も同時に行います。3年次は、経営学部ゼミナール対抗プレゼンテーション（ゼミプレ）に全力を注ぎ、日々の研究の成果を発揮します。これらの活動を通じて、**課題発見能力・論理的思考力**を培います。そして、未来のリーダーとなるための素養を身に付けます。

スケジュール

<2年次>

8月 夏合宿（3学年合同）
9月 授業開始
10月 ゼミ対抗スポーツ大会
2月 海外研修
3月 春合宿（3学年合同）

<3年次>

4月 研究開始
7月 国内または海外研修
10月 懸賞論文
ゼミ対抗スポーツ大会
11月 ゼミプレ

<4年次>

就職活動
卒論
後輩指導
追いコン

（2023年度全班優勝）

最後の学生生活、遊びも勉強も妥協したくない。
だから私たちは全力で「楽しく学ぶ」道を進むんだ。



＼1～7期まで／
@harada_seminar



＼全学年共通／
@harada_seminar



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバル・マーケティング論, 消費者行動論, ブランド戦略

2 研究内容

マーケティングは「何のために、誰に、いつ、何を、どこで、どのように提供するか」に関する活動です。この活動を通して、人々の満足度を高め、社会をより良くするのがマーケティングの役割です。なぜ我々は商品を買ってしまうのか、そして企業側からすれば商品を消費者の手に取ってもらうためにはどのような工夫が必要なのか。古川ゼミではこのようなテーマをグローバルな観点から、消費者行動論やブランド戦略論を交えて研究します。

今や消費者は世界の情報を容易に入手し、自身で発信までできる時代です。そのような時代ではマーケティングの姿や消費者の行動も大きく変化します。まだ明らかになっていない新しい世の中の変化や現象を、皆さんの力で解明してもらいます。

グローバル・マーケティングを学ぶためには、広く世界を意識する必要があります。そこで古川ゼミ生は明治大学だけに留まらず、日本中、ひいては世界中の年代を意識して、実際に交流や海外渡航しながら活動してもらいます（現在は東京大学、東北大学、慶応義塾大学、立教大学、法政大学等のゼミと学生が研究交流しています）。

【研究活動について】

グローバル・マーケティングの最前線について各種調査やデータ分析、論文サーベイから研究をします。学生が自分でテーマを選び、主体的に考え、学び、挑戦し、国内外での調査先選定や検証をしてもらいます。研究の成果は学内のゼミナールプレゼンテーション大会や懸賞論文、そして学外の「国際ビジネス研究インターカレッジ大会」等で発表し、学内外の学生と切磋琢磨して下さい。

3 参考文献

古川裕康 (2021), 『グローバル・マーケティング論』, 文真堂。

古川裕康 (2015), 『グローバル・ブランド・イメージ戦略』, 白桃書房。

4 募集予定人員・選考試験

13名程度。選考はエントリーシートを基に面接形式で実施します。

5 その他

- 古川ゼミはゼミ生主体で運営するゼミです。明治大学経営学部では2022年に新規開講したゼミのため2024年度が3期生募集となります。皆さん自身がゼミを創っていくのです。失敗を恐れず一歩踏み出そうとする気持ちが大切です。想像する力 (Imagination) と挑戦する力 (Challenge) が創造の原動力です。アクティブに未来を切り拓いてください。
- 主な行事: ゼミ合宿 (夏・春), フィールドスタディ (夏・春ともに海外), 工場視察, 納会 (春・秋学期末), 学内・学外の交流会, 卒業旅行等。その他はゼミ生と相談しながら決めていきます。
- 原則として指導教員が担当する授業は全て履修することになります。
- これから留学を希望する学生, 留学生, 大学院進学を検討している方も歓迎します。
- 古川ゼミではゼミ生が自分達で考えてゼミ活動を実施します。ゼミの主体となるのは、他でもないあなたです。
- 古川ゼミの Web ページ: <https://furukawa-meiji.com/>

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

★古川ゼミとは？

『私たちはグローバル・マーケティングに関する
新しい知見を発掘し、世界を繋ぐことに挑戦します』

この目的を念頭に、グローバル・マーケティング論、ブランド論、消費者行動論について研究し専門性を養成しています。マーケティングとは「何のために、誰に、何を、どのように販売するか」を考える学問ですが、この視野をグローバル規模に広げてみませんか？学生主体のゼミで、毎回の授業はゼミ生が中心となって運営しています。このゼミに入ることで専門性だけでなく、挑戦（Challenge）・創造（Creation）・粘る力（Grit）が鍛えられ、あなたを世界で戦えるマーケターへと育てます。

🏆 2023年の実績 🏆

【経営学部ゼミ対抗プレゼンテーション大会 2023】

→ブロック優勝 3チーム&準優勝 1チーム
(全チーム入賞!!)

【国際ビジネス研究インターカレッジ大会 2023】

→総合準優勝&総合第4位（全国）

【経営学部懸賞論文入賞】



チームビルディング合宿での集合写真

★スケジュール★

◆ 2年次

- ・9月：チームビルディング合宿
- ・3月：春合宿
- ・3月：フィールドスタディ

◆ 3年次

- ・8月：フィールドスタディ
- ・9月：夏合宿
- ・11月：経営学部ゼミ対抗プレゼンテーション大会
- ・12月：国際ビジネス研究インターカレッジ大会



←夏の納会



←ゼミ活動風景



←古川先生と
めいじろう

各種コンテンツはこちらから♪

ゼミ生が取組んでいる研究内容は？

- ① ゼミ生紹介！
- ② 他大学との切磋琢磨について
- ③ 工場見学・フィールドスタディでの様子など

Web サイト



Instagram



お問い合わせはこちら（Google Forms）

<https://forms.gle/kNzeBXX7E5PGoX3M9>

1 研究テーマ

研究テーマは、持続可能な発展のための経済・社会の仕組みに関する研究、です。

2 研究内容

持続可能な発展は、sustainable development の訳語で、持続可能な開発、とされることもあります。この概念は、国連の環境と開発に関する世界委員会の 1987 年の報告書『Our Common Future』が「将来の世代が自らの必要を充足する能力を損なうことなく、今日の世代が必要を満たすこと」と定義し、広く知られるようになりました。将来を考えるのは地球環境問題を考えることであり、現在を考えるのは各国間および各国内等の格差や貧困の問題を考えること、などと大づかみに理解することもできます。1992 年のリオデジャネイロの地球サミットで世界の首脳によって、世界が進むべき道として採択され、以後も 10 年に一度の世界の首脳会合等でそのことが確認されています。

より具体的に、2015 年の国連サミットで採択された 2030 年を目標年とした「持続可能な開発目標」を見ると、環境問題や格差問題を含みつつ、この世界のあらゆる問題に取り組んでいこうということだとわかります。先進国の人であれ、発展途上国の人であれ、老人であれ、若者であれ、男であれ、女であれ、性的なマイノリティの人であれ、障がいのある人であれ、そうでない人であれ、どんな職業についている人であれ、・・・、どのような人であれ、一人一人の人間が一人残らず大切にされる世の中にしていこう、ということだとも言えます。

ゼミでは、こうした持続可能な発展（開発）に何らかの形で関連した事を学びまた研究していこうという訳です。2 年次では基本的文献を読み、3 年次ではグループ研究などで研究の手法を学び、4 年次では卒論を作成します。よい卒論の作成がゼミ活動の目標です。担当教員は環境政策の経済学的研究が専門ですが、ゼミで何をどう研究するかを決めるのも、それを行うのもゼミ生です。

直近の先輩達は、「化粧品会社の SDGs」「空き家をいかした地域活性化」「テレビ局はなくなるか？」「理想的な食習慣、運動習慣」「声が奏でる和音と感情の関係」「持続可能な観光の実現」「ディズニーの人生や社会への貢献」「成功する道の駅とは？」「幸せとは何だろうか？」「環境保全が進められる中で自動車産業の発展方向は？」「ヴィンテージ古着はなぜ売れるのか？」「損害保険に透明性はあるのか？」「脱プラスチックは企業から見て利益になるのか？」「将棋と思考」といったテーマの研究をしています。先輩達によればこのゼミの良いところの一つは研究の自由があるところだということです。

3 参考文献

- 淡路剛久ら編（2006）『持続可能な発展』有斐閣
- 植田和弘（1996）『環境経済学』岩波書店
- ダン・アリエリー（2013）『予想通りに不合理』早川書房

4 募集予定人員・選考試験

10 人程度。入室試験はエントリーシートと面接で選考します。

5 その他

色んなことに挑戦したいと思う人、自分の頭でよく考えたいと思う人、ゼミで友達を作りたいと思う人、等々、様々な人、を歓迎します。

MATSUNO SEMINAR ENVIRONMENT & MANAGEMENT

松野ゼミナールは『SDGs』を
テーマに学習や研究を行っています。
『ディズニーと幸福度の関連性』
『スポーツと健康』 『環境×経営』 など
SDGsに関わることであればどんなことでも
研究することができます。



6月
合同コンパ

8or9月
合宿

10月
スポーツ大会

12月
忘年会 (有志)

1月
4年卒論発表

31. 三上演習〔2年半タイプ〕

教授 三 上 真 寛

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

市場と組織の経済学

2 研究内容

「市場と組織の経済学」を共通のテーマとして全体で学びつつ、経済学の広大なフィールドから興味のあるテーマを見出して、グループや個人で研究していきます。

〈市場と組織の経済学とは？〉

私たちが生きる現代社会では、多くの経済活動が「市場」を基礎として調整されていますが、他方では企業や政府や非営利組織などの「組織」が存在し、日々その経営に人々が尽力しています。また、そのような人々による取引は、貨幣、会計、規則、法律、規範、慣習、ルールといった「制度」にも支えられて成り立っています。

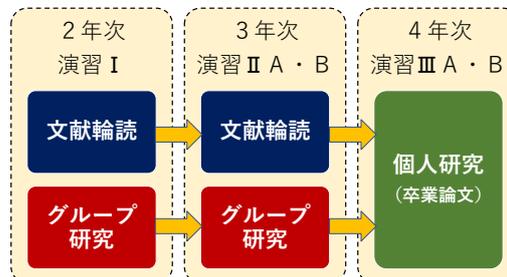
市場とは何か。組織とは何か。三上ゼミでは、そのような素朴な疑問から出発し、市場経済の歴史や仕組み、経済組織の効率性やコーディネーションなどを教科書でじっくりと学んでいきます。



〈グループ・個人で行う研究とは？〉

経済学は非常にスケールが大きく幅広い学問です。その中から自分の興味のあるテーマを見つけて研究していきます。2年次と3年次はグループ研究を基本とし、4年次は卒業論文に向けて個人研究に取り組みます。ゼミでの研究を通して、将来にわたり必要な力（論理的な思考力・表現力、問題発見・解決力、組織行動力、そして経済を読み解く力）を身につけることを目標としています。

※ゼミ内のコラボレーションに Teams を活用します。



3 参考文献

- ・『市場を創る―バザールからネット取引まで』(J・マクミラン著、瀧澤弘和ほか訳、NTT 出版、2007)
- ・『Who Gets What―マッチメイキングとマーケットデザインの経済学』(A・E・ロス著、櫻井祐子訳、日本経済新聞出版社、2018)
- ・『組織の経済学』(P・ミルグロム、J・ロバーツ著、奥野正寛ほか訳、NTT 出版、1997)

4 募集予定人員・選考試験

経済学を専門に学びたい者、12名前後。エントリーシート(研究計画含む)と面接によって、(1)研究分野・テーマの適合性、(2)求めるゼミ像・ゼミ活動の適合性を基準に選考します。入室時点で経済学や組織活動が得意である必要はありませんが、入室後は経済学を学び経済関連のテーマを研究していくこと、ゼミの組織・活動に意欲的かつ継続的に参加していくことが求められます。演習ガイド、シラバス、ホームページ上の説明をよく読み、じっくりと検討してください。

5 その他

- ・ゼミは「個」の主体性と協調性が求められる場です。ゼミ生の主体的参加があって初めて成立する組織であり、互いが組織の構成員だという自覚と思いやりを持つことが必要です。
- ・授業時間外の活動についてはゼミ生の自主性を尊重していますが、ゼミ合宿に参加し、学内外のプレゼン・ディベート大会、懸賞論文などにも挑戦することを推奨しています。ゼミに「専念」したい学生はもちろん、体育会や公認サークル等との「両立」を目指す学生も応援しています。

THE MIKAMI SEMINAR

理論と現実の間隙

合理的な「経済人」を見直す

新進気鋭の教授！

三上真寛先生

僅か30代で
経営学部専任教授就任



市場の新時代

個人の嗜好を最大限に尊重する市場は
お金以外にも注目する

市場と組織の
経済学が解明
する

「市場」と「企業」の存在意義

伝統的な経済学は、売り手と買い手と言った個人、企業間における市場での経済活動を解明してきた。その中には、市場の有用性や限界も語られてきた。

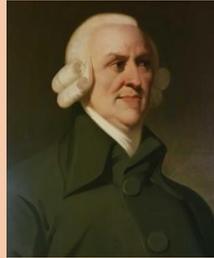
しかし、多くの経済活動において、取引は**市場を介さず、企業の内部**で行われている。故に、当経済学は、市場の存在意義、企業の在り方そのものを問い直している。

理想的な契約関係とは何か。**雇用、給与、昇進の仕組みは、社員の生産性にどのように寄与するか**、なぜ組織は、縦割りになりがちなのかと言った人間の行動様式をも解明しようとしている。

一人々々の個性を活かしながら**企業統治**を考えていく事の求められるこの21世紀においては、経営学部に学ぶ学生には、必須の分野かもしれない。

経済学に裏付けられた経営学？

「見えざる手」と「見える手」が融合



↑アダム・スミス



↑アルフレッド・チャンドラー

17世紀、経済学の祖アダム・スミスは、市場は「**見えざる手**」により適切に分配されると述べた。一方で、経営学の大家アルフレッド・チャンドラーは、大量生産＝大量販売可能な20世紀に、市場は「**見える手**」に基づき決定し、組織されると述べた。しかし、21世紀は、大量生産のみならず、個人の自由を際限なく広げるネットが発展する時代だ。今こそ、その前提にある「組織」という経営的側面の強い分野を経済学的側面からも**改めて考え直す**。

市場と組織の経済学 三上ゼミ

興味ある分野を自由に発見し、自在に研究する

ゼミでは、以下の使用教材の何れかを用いて授業前半に輪読を行い「市場」、「組織」に関する基礎的な知識を養っていきます（マッチング理論、マーケットデザイン、雇用、効率性、契約、現代企業組織、インセンティブ等）。一方、授業後半では、各自、自身の興味ある経済分野を見つけ、グループで研究し**各学期二回発表**していきます。ゼミ仲間、皆同志を持つので、結束も強く、仲良しです。

クラスがなくなってもゼミがある、管鮑之交、三上ゼミ！



↑これが、ゼミナールっ！

少しでも興味あればぜひ見に来て下さい！
仲間と切磋琢磨（毎週の様子）↓



多彩なグループ研究テーマ
身近なものから学際的なものまで

- ・スポーツの経済効果
- ・地方と都市の教育格差
- ・日本の観光業、観光公害
- ・転売問題の経済的影響
- ・教育と労働
- ・紛争とゲーム理論
- ・金利操作の波及経路
- ・産業革命と国際格差の淵源等



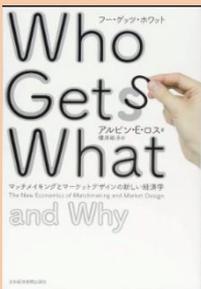
↑OB・OG会（9月）
豊富なOB陣多数輩出！

その他合宿も！（夏・冬）

「経済学」の予備知識は、一切不問
意欲と関心第一！



〈使用教材〉



詳細は、公式 SNS へ！



↑公式 SNS
公式インスタグラム



（写真引用）
読売新聞、
scrapbox.io

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

ビジネス・システムの国際比較研究

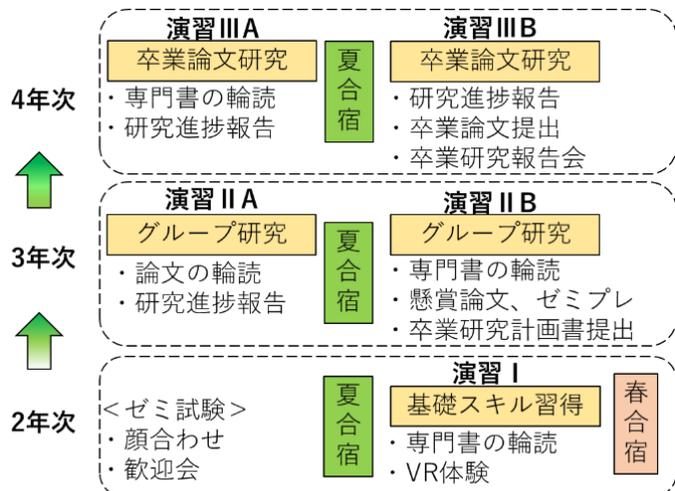
2 研究内容

本ゼミナールでは、「ビジネス・システムの国際比較」を研究テーマとして、歴史的視点から、様々な産業やビジネスの仕組み、その仕組みの変化を対象に研究しています。特定企業のビジネス・モデルや特定商品のサプライ・チェーンはもちろん、国全体の企業システムから、特定産業のビジネスの仕組みまで、各人が興味・関心のある研究対象を選び、研究します。そして、様々なビジネスに関わるシステムの分析や、制度を変化させる企業行動、経営戦略、イノベーション等の議論を通じて、ビジネスを支える「仕組みづくり」について理解を深め、現代社会を動かす企業の経営活動についての今後のあり方を考えていきます。

またゼミでの研究活動を通じて、

- (1) 自分で問いを設定して情報を検索する力、
- (2) 情報を考察して、自分の議論を組立てる力、
- (3) レポートとプレゼンで自分の考えを説得的に論じる力を養うことを目指しています。

具体的には、右記のように2年半のゼミを進めていく予定です（詳しい授業内容はシラバスを参照して下さい）。



ちなみに、私自身の現在の研究テーマは、アメリカ企業の戦略と成長、日本クリエイティブ産業企業（特にゲーム、アニメ、マンガ、音楽ビジネスなど）の研究になります。ただ、ゼミは「国際比較」や「企業間比較」を重視しているため、アメリカやクリエイティブ産業に興味がある学生はもちろんですが、国際比較、ビジネス・システム、ビジネス・モデルなどに興味ある学生も歓迎します。

3 参考文献

- M・クスマノほか著『プラットフォームビジネス』有斐閣、2020年。
 C・クリステンセン著『イノベーションのジレンマ 増補改訂版』翔泳社、2001。
 M・スタインバーグ著『なぜ日本は<メディアミックスする国>なのか』角川学芸出版、2015年。
 大東英祐ほか著『ビジネス・システムの進化』有斐閣、2007。（その他文献はシラバス参照）

4 募集予定人員・選考試験

8～12名程度を想定していますが、応募者数などを踏まえて多少前後します。エントリーシート、筆記試験（必修科目「経営学」の内容から出題）、面接によって選考します。

5 その他

期待されるゼミ生像：本演習では、課題の提出、グループ活動、ゼミ合宿など授業時間以外の活動に時間を割くことが必要となってきます。そうした活動に積極的かつ協調的な参加が求められるため、「ゼミできちんと学びたい」と思う皆さんのエントリーを待っています。

クリエイティブなワクワクを!



宮田ゼミってどんなゼミ?

研究テーマはビジネス・システムの国際比較研究となっていますが、特定企業のビジネス・モデルや特定商品のビジネス・システムなど研究テーマを自由に決めることができるので研究対象が幅広いゼミとなっています。

本ゼミは「ゼミは真剣に取り組みたい!」「興味関心を広げたい!」「楽しいゼミ活動をしたい」と思う方を募集しています!

また、ゼミの活動を通して「自ら課題を発見して対処する力」「自分の考えを論理的に説明する力」「他者と協力してやり遂げる力」を伸ばしたいと思う方を積極的に受け入れます!

すけじゅーる	4月 春学期ゼミスタート!	10月 スポーツ大会	
	5月 ゼミ入室試験	11月 VR体験会 ゼミプレ	
	6月 懸賞論文予備登録	12月 ゼミイベント	
	7月 納会&歓迎会	1月 納会	
	8月 夏合宿	2月 卒論報告会 追いコン	
	9月 秋学期ゼミスタート! 懸賞論文提出	3月 春合宿 (2年生)	

宮田先生はどんな人?

- ・担当講義
経営史
- ・好きなもの
フライドポテト、ビール
アニメ、漫画などなど
- ・最近の研究事例
「ピカチュウのグローバル化」

3期生活動実績!

- ・ゼミプレ
A班 1位、B班 2位
C班 1位、D班 1位
- ・懸賞論文
A班、B班佳作入選

各種SNS、HP

-  各期ゼミ生紹介掲載!
ゼミ試情報要チェック!
-  ゼミ活動記録掲載!
ゼミ試情報要チェック!
-  ゼミ生メッセージ掲載!
詳細はココをチェック!

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

簿記システムおよび会計理論の歴史研究

2 研究内容

中世イタリア社会において生み出された簿記システムは、世界各地へ伝播し、各地域の社会環境の特徴を反映しながら発達してきました。また、企業の経済活動および資金調達規模が拡大し、企業は利害関係者に対して会計報告を行うことが必要となりました。会計報告は、各地域の法律に取り込まれ、制度（会計制度）として確立するに至り、また、これを支える会計理論が研究されています。

本ゼミでは、簿記システム、会計理論およびこれらの歴史研究を行います。歴史的な考察を行うことは、現代会計学の理解を深めるうえでとても重要です。

まず、2年次の演習Ⅰでは、3年次の演習Ⅱに向けた基礎固めを行います。具体的には、文献の収集方法および発表方法を説明したうえで、教科書の輪読や関連する国家試験等の問題の検討を通じて、簿記システムおよび会計理論に関する基本的な論点の理解を深めます。

次に、3年次の演習Ⅱでは、グループに分かれて発表を行います。前半は担当教員によってあらかじめ用意されるテーマについて、グループで発表していただきます。後半はゼミ生全員またはグループごとに話し合いで決定したテーマについて、グループで発表を行います。

そして、4年次の演習Ⅲでは、各自が設定した会計学に関するテーマについて、卒業論文を執筆します。授業では、卒業論文の内容について報告を行い、他のゼミ生からの質疑応答や、教員からのアドバイス等をもとに、卒業論文を完成させます。

3 参考文献

授業の進行に応じて紹介しますが、主な参考文献は下記のとおりです。

- 片岡泰彦（1988）『イタリア簿記史論』森山書店
- 岸悦三（1975）『会計生成史－フランス商事王令会計規定研究－』同文館出版
- 久野光朗（1985）『アメリカ簿記史－アメリカ会計史序説－』同文館出版
- 小島男佐夫（1987）『会計史入門』森山書店
- 中野常男・清水泰洋編著（2019）『近代会計史入門〔第2版〕』同文館出版
- 橋本武久（2008）『ネーデルラント簿記史論－Simon Stevin 簿記論研究－』同文館出版
- 百瀬房徳（1998）『貸借対照表法の生成史』森山書店
- 百瀬房徳（2009）『体系複式簿記（改定版）』森山書店

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人員：10名程度

選考試験：エントリーシートの内容および面接

5 その他

- (1) 資格試験向けの勉強会の開催や合宿などの課題活動実施については、ゼミ生と相談して決定します。
- (2) 報告の準備として週1回サブゼミを設けたいと考えますが、資格試験の受験等を配慮します。サブゼミの具体的な運営方法は、ゼミ生と話し合いにより決定します。
- (3) 入室時点で、日商簿記検定試験3級程度の知識を有していることが望ましいです（資格取得の有無は問いません。）。
- (4) 授業内容の詳細は、シラバスも参照してください。

森田広大ゼミ

どんなところ？

森田ゼミは簿記、会計の基礎的な内容を探究していくゼミです。簿記、会計は難しく思われがちですが、内容は日商簿記3級の知識がある程度身に付いていれば、全く問題はありません。授業では教科書を使い基礎的な内容を学び、実際にそれに沿った問題を解いていきます。簿記が苦手な方でも welcome!先生が丁寧に指導してくれますよ。

現在は3年生6人と2年生7人(会計学科と経営学科が在籍)で活動しています。

なお先生は会計史を専門とされており、予備校での講師経験もあるため税理士、会計士、日商簿記などのアドバイスをもらうことができます。

演習内容

2年次(演習Ⅰ)

教科書の輪読・問題演習

(ex. 日商簿記や税理士試験)

3年次(演習Ⅱ)

グループ発表

(ex. 複式簿記、単式簿記とは？・財務諸表分析など)

4年次(演習Ⅲ)

会計学をテーマにした論文作成

年間予定

5月	ゼミ試
6月	新入生歓迎会
8月 or 9月	合宿
10月	スポーツ大会
11月	プレゼン大会
12月	忘年会
1月	卒論提出(4年)
3月	追いコン

詳細

合宿:任意です!!

目安: 8月下旬~9月上旬頃目安
(内容もゼミ生が決めます)

スポーツ大会:任意です!!

忘年会:任意です!!

※行事に参加するかはゼミ生が各自で決めることができます。詳しくはゼミナビにて!



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

本ゼミでは、「エビデンスに基づく管理会計研究」というテーマで演習を行います。

管理会計とは、様々な数値情報を企業や組織のマネジメントに活用するという目的で生まれたものであり、経営者に対し各種経営判断の裏付けとなるエビデンスを提供するという役割が期待されています。そのため、「企業経営や組織の運営における様々な意思決定において、どのようなエビデンスが有用であるのか」を探求することが1つの目的となります。

また、ゼミでの学習においても、特定の企業の強みや、特定の産業で成功する要因などを検討する際には、「自分はこう思う」という説明に終始するのではなく、こう思う根拠、つまりエビデンスを提示する必要があります。こうした「エビデンスにもとづいて論理的な説明を構成する能力の習得」も本ゼミの重要なテーマとなります。

2 研究内容

演習Ⅰの段階では、基礎的な知識を修養することを目的として、指定した文献の輪読やそれに基づくグループディスカッションなどを行います。

演習Ⅱにおいては、演習Ⅰで身に着けた基礎的な知識をさらに深化させ、グループに分かれて研究発表、論文執筆を行います。この際の研究テーマは、メンバーで話し合い、自分たちの興味関心に基づいて主体的に決定することを想定しています。また、この際にはエビデンスの提示の方法として、基本的なデータの扱い方や実証研究の方法などについても学習します。

演習Ⅲにおいては、これまでに学習したことを踏まえて、大学での学びの集大成として、個人で卒業論文の執筆を行います。

3 参考文献

演習内で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

募集は10名程度を想定しています。基本は書類選考を行いますが、状況によっては対面形式による面接を実施する場合があります。

5 その他

一人で学ぶと書いて大学です。ゼミで指示されたことを最低限でこなすのではなく、様々なことに関心を持ち、主体性をもって多くの学びに取り組んでください。

また、無断での欠席や遅刻等はしないでください。

森光ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

35. 山下(充)演習〔2年半タイプ〕

教授 山下 充

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

自分の興味と関心をベースに個人インタビューで企業活動を分析

2 研究の目的

本ゼミで私が最も重視していることは所属するゼミ生全員が大きく成長することです。ひとりひとりがしっかりと研究能力を身につけ、学生として成長することを実現するために**3つの特徴的なアプローチ**をとっています。【①経営社会学アプローチ】変化が激しい現代では、企業を取り巻く社会の変化や文化的状況を理解することは不可欠で、社会学的観点から現代の社会と企業の活動を結びつけて理解します。【②自分が選んだ対象に個人インタビュー】各人が自分の興味と関心をベースに、ディスカッションや教員との相談のもとに時間をかけて1つの業種、企業、ないしは職業を研究対象として選び、その企業や組織に対して自分でアポイントを取り、分析をおこないます。自分が選んだテーマなのでやる気を持続させ、最後までやり遂げる力が身につきます。【③協働学習】研究対象は個人単位ですが、毎回のグループディスカッションで徐々に研究を進めるので、同期全員が個々人の研究をより良いものにする役割を担います。ゼミ生の多様なテーマへの協力を通して自分の視野と関心を大きく広げることができます。

3 演習の進め方

【演習Ⅰ（2年秋学期）】先行研究・関連資料の収集方法、調査手法、レポート作成の基本的な方法を修得します。教員の指導を通して、調査対象、研究テーマを選びます。調査対象とする産業、職業は原則自由です。報告の頻度は学生一人あたり月に1～2回程度です。【演習Ⅱ（3年）】インタビュー調査を本格的に実施し（7・8・9月の時期）、ゼミ全員の執筆による報告書を年度内に作成します。【演習Ⅲ（4年）】卒論指導（2～3年とは異なったテーマを設定も可）が中心となります。卒論も基本的に自分の関心をもとにして、毎回ディスカッションをしながらテーマを決め、完成させます。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。応募者はエントリーシートとレポートを応募時点で提出すること。レポートは以下の（1）と（2）の課題の両方をA4で合計1200字以上（分量の配分は自由）とする。

- （1）ゼミの志望理由
- （2）自分が調べてみたい職業・仕事（対象を選んだ理由と知りたい内容を含めること。)

5 その他

ゼミ発足以来、延べの調査先企業は約160社（対象者は約170名）を越えており（2023年現在）、コロナで調査ができなかった時期を除きゼミ生の全員が調査と報告書執筆を達成しています。業種も、出版、広告、スポーツ、観光、カフェ、インテリア、食品、教育、通信、流通、ファッション、マスメディア、地域振興等、多彩です。過去の報告書（明治大学経営学部山下充ゼミナール編『職業の世界—インタビューで学ぶ「仕事」と「キャリア」』）が和泉図書館に所蔵されているので、応募者は必ず一読してください。調査は社会人の方々に協力して頂くので、年長者に対する敬意や謙虚さと学ぶ姿勢が不可欠です。依存的な学生、サークル・アルバイト等を理由にゼミやゼミの活動に遅刻や欠席をする学生は、他のゼミ生にとっても良い影響を与えないので、除籍としますので慎重にゼミ選択をしてください。素直で人柄のよい学生とゼミで出会えることを、先輩のゼミ生共々楽しみにしています。自分を大きく成長させたいと考える人、新しいことを発見しそれを自分の力でまとめ上げたいと考える人は、ぜひ本ゼミを検討してください。ゼミ試等の詳細はゼミのWebやSNSなどで。

<https://yamashita-sociology-seminar.jimdofree.com>



山下充ゼミ

ABOUT MR. YAMASHITA

おもしろい社会学の授業が大人気の山下先生。豊富な知識と的確なアドバイスでゼミ生を導いてくれます。ゼミ生が企画したイベントにノリノリで参加してくれるお茶目な一面も。きっとあなたも、明朗で優しい山下先生を好きになること間違いなし！



EVENT SCHEDULE

- 9月 新歓
- 10月 経営学部スポーツ大会
- 11月 OBOG 会
- 12月 クリスマスパーティー
- 2月 ゼミ合宿
- 3月 4送会
- 6月 ゼミ入室試験

ABOUT US

山下ゼミは、自分の好きなことを追求できるゼミです。一人ひとりが自分の興味・関心から自由にテーマを設定し、企業へのインタビューを通して企業と社会のつながりを研究します。少人数で同期全員と仲良くなれるので、ゼミは毎回明るく和やかな雰囲気です。先生や先輩との距離も近く、困ったことはすぐに相談できます。

RESEARCH SCHEDULE

- 2年秋 他己紹介・研究テーマ決め
- ↓
- 3年春 企業決定・アポイント・インタビュー
- ↓
- 3年秋 インタビューまとめ
- ↓
- 4年 研究まとめ・卒論



WEB/SNS

WEB→



INSTAGRAM→



@YAMASHITA_SEMINAR2024

36. 山下(佳)演習〔2年半タイプ〕

教授 山下 佳 江

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

Advanced Academic English

2 研究内容

本ゼミは、2年半の Advanced Academic Writing コースとして開講します。授業は英語で行います。2年半5タームを通して、ゼミ生の興味のある研究テーマについて研究し、英語によるリサーチペーパーを書きます。

- 2年次秋学期は、アカデミックライティング及びAPAスタイルについての理解を深め、技能習得のための練習を行う。
- 3年次春学期は、アカデミックライティングの基礎の復習を行いながら、指定された教材及びゼミ生が持ち寄った英語による論文、その他の英文による記事を家で読んできて、授業でその内容についてディスカッションをする中で、各自研究テーマを決める。1200語程度の学期末ペーパーを書く。APAスタイルを使用。
- 3年次秋学期は、自分の研究テーマをさらに深め、英文によるリサーチペーパー（1500語程度）を執筆する。最後のクラスで、各自研究したものについて英語で発表（academic presentation）を行う。
- 4年次春学期・秋学期についても各自研究テーマに沿って研究を深め、秋学期12月までに卒業論文として研究の成果を3500語程度でまとめる。卒業論文で行った研究については、1月に発表（academic presentation）を行う。（4年次春学期まで留学した場合、夏休みと秋学期に卒論執筆を行う。
- 授業以外のゼミ活動
 - 1) 英語プレゼンテーション大会、英語ライティングコンテストに参加する。
 - 2) その他の学部の英語・国際関係行事にも積極的に参加する。

＜担当教員からのメッセージ＞

本ゼミは、学術の世界を国際的な視点からとらえるため、リサーチを行う上で基本となる文献研究を英語による文献を用いて行います。自らの研究を進める上で、経営学の研究における国際学術ジャーナルで使用されるAPAスタイルの執筆要項を使用しながら執筆することにより「リサーチリテラシー」を高めていくことを目指します。

授業以外に、希望がない限り、特にゼミ合宿などは行いません。

根気よく最後まで真面目に取り組める学生さん、仲間とともに切磋琢磨しながら向上することを目指す学生さん、海外留学・インターンシップなど海外の大学での教育に興味のある学生さん、大歓迎です。一緒に頑張りましょう！！

3 教科書（2年次秋学期から使用）

Sourcework: Academic Writing from Sources, 2nd edition, Nancy E. Dollahite & J. Haun. Cengage Learning.

4 募集予定人員・選考試験

5～7名程度

5 その他

* 本ゼミに入るには一定の英語力が必要です。エッセイ問題の筆記試験と英語による面接を行います。

Yamashita Yoshie Seminar

Our Vision

グローバル社会で活躍するために英語運用能力を最大限に高めること



過去の先輩方の海外での様子（左）
UVIC DDPIに参加した先輩方（右）



2023年度「English Presentation Contest」の1位と特別賞

Activities

- ・英語による文献研究
- ・アカデミックエッセイの執筆
- ・プレゼンテーションの実施



大会参加

英語プレゼンテーション、
英語ライティング



留学相談



サブゼミなし



イベントなし

山下ゼミでは、英語による文献研究の学習を踏まえた上で、自身の興味のあるテーマの探求を行います。少人数ならではの手厚い指導で学生の成長をサポートします。

また、デュアルディグリープログラムやトップユニバーシティプログラムを利用した海外大学留学を経験した先輩を多く輩出する点が特徴的です。これまでのデュアルディグリー参加者は全員山下ゼミに所属しています。

- ・ GREATの授業より難易度の高い英語学習をしたい
- ・ 在学中・卒業後に留学したい
- ・ 高い英語能力を活かせる仕事に就きたい
- ・ 経営学に関わらず自分の好きなテーマを研究したい

我々はこのような志の高い皆さんの入室をお待ちしています！

1 研究テーマ

野外教育、多様なニーズのための自然体験活動

2 研究内容

近年、キャンプブームといわれファミリー世代を中心にキャンプ人気が再び増加しています。また、グランピング、ソロキャンプ、おうちキャンプなど新たな形態が生まれ、キャンプの多様化が進んでいます。このようなレジャー・レクリエーションとしてのキャンプ等の自然体験活動がある一方で、明確な教育的な意図や目的を持って実施される自然体験活動のことを、野外教育と呼びます。特に担当教員自身は、不登校や発達障がい、ひとり親家庭など、様々なニーズを抱える青少年を対象に Camp for everyone（社会の隅々までキャンプを届けよう）と実践・研究をしています。

本演習では、まず2年次に野外教育の基礎を実践と理論から学びます。実践では主に、野外での生活スキルやグループワーク、自然に触れ合う活動、登山やスキーなどのアウトドアスポーツ等について、体験を通して理解します。理論では、野外教育の歴史や背景にある理論、心理社会的な効果等について、テキストや文献に基づいて学習します。

次に、3年次においては野外教育の実践力および探求力を高めることを目的とします。実践面では様々な対象者への野外活動を計画・運営できるように、青少年教育施設や民間の自然学校およびNPO法人等の組織、安全管理や対象者理解、キャンプカウンセリングの方法等を学習します。理論面では、野外教育の研究方法についてテキストから理解すると共に、野外教育に関する研究論文を精読し、グループでのディスカッションを通して議論を深めます。

最後に、4年次においては卒業研究を中心に取り組みます。ゼミ学生各自が実践の中からテーマを設定し、適切な方法を用いて調査・分析等を実施した上で、卒業論文を執筆します。卒業研究のテーマとしては、野外教育の効果やキャンプカウンセリングに関する研究、野外関連の組織・団体（自然学校、キャンプ場、スキー場など）に関する研究、アウトドアスポーツ（登山・カヌー・クライミング・スキーなど）に関する研究、多様なニーズへの自然体験活動（不登校・発達障がい・ひとり親家庭など）に関する研究、などを想定しています。

3 参考文献

星野敏男・金子和正監修「野外教育入門シリーズ第1巻～第5巻」杏林書院, 2011～2014.
野外教育学会編「野外教育学研究法」杏林書院, 2018.

4 募集予定人員・選考試験

8～10名。面接を中心に行います。

5 その他

ゼミ合宿を年2回（2泊～3泊程度）実施します。キャンプや登山、スキー・スノーボード、野外関連団体への訪問など、3年次のゼミ学生を中心に計画を立てて内容を決める予定です。

ゼミ学生に期待する姿勢としては、アウトドアでの活動を本気で楽しむ心をもった人（経験は問いません）、4つの間（時間・空間・仲間・手間）を大切にできる人、野外関連の指導やボランティア等（主に土日や夏期休業中）に積極的に関わられる人です。

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

吉松ゼミ

吉松ゼミとは…

組織的、計画的に意図や目的を持って行われる野外活動、自然体験活動である**野外教育**を研究するゼミです!!

この研究テーマだからこそできる経験が吉松ゼミにはたくさんあります!!

夏合宿はキャンプ泊だけでなく釣り、キャニオリングなどをしました!



年間予定

2月 春合宿(スキー、スノボ)

8月 夏合宿(キャンプ)

10月 ゼミスポーツ大会

1月 卒論発表

吉松ゼミには大学生活を豊かにするイベントが盛りだくさんです!

体育会に所属している学生も多く、ゼミと部活の両立をしています。

キャンプ初心者、野外活動好き大歓迎!!



@CAMP_ZEMI_YOSHIMATSU

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

現代会計基準における基礎概念

2 研究内容

わが国では会計ビッグバンを端緒に、会計基準の大々的な改革が行われてきました。それは単に会計基準を改訂するにとどまらず、プライベートセクターとしての基準設定機関の設立や概念フレームワークの構築など、基準設定の基盤から変化してきているといえます。このような改革は会計基準の国際的収斂化を受けたものですが、その背景には企業観、業績観、利益観のダイナミックな変化があります。

会計基準の新設・改訂の内容を本当の意味で理解するためには会計基準における基礎概念を習得することが不可欠です。

本演習では、3年次は企業会計および会計基準における基礎概念を初歩的な論点から学習し、3年次秋学期の終わりに卒業論文のテーマを決定します。4年次では卒業論文の作成を通して、論理的思考とそのアウトプットの訓練を行うことを目標としています。

3 参考文献

演習の中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。入室試験時に本演習を希望する理由をA4用紙1枚にまとめて提出すること。入室試験は会計学の論述および面接。

5 その他

3年次の演習では、まず教員が指定した基本的な論点について各自がレジュメを作成し、報告会を行う形式をとります。4年次の演習では、各自が選択した卒業論文のテーマに沿ってレジュメを作成し、報告する形式をとります。また、本演習では、会計基準の基礎概念の習得と同時に、生涯付き合っていける仲間との出会いの場も提供したいと思っています。そのため、ゼミ合宿、懇親会、各種見学会などの催しに積極的に参加してください。「これから一生懸命勉強したい」「仲間とともに成長したい」という意欲のある学生を希望します。

浅野ゼミナール

テーマ：現代会計基準における基礎概念

ゼミナールの概要

浅野ゼミナールは二年タイプのゼミナールです。三年次には現代会計基準の基礎を学習していきます。学習の流れとしてはプレゼンテーション方式で進めます。毎週発表担当者がテーマに沿ってプレゼンを行い、ゼミ生と浅野先生で討論することで理解を深めていきます。また、三年次の終わりに卒業論文のテーマを決定します。

四年次では卒業論文の作成に取り組みます。各自の卒論テーマに沿って1年間の論文作成を通して、論理的思考とそのアウトプットの訓練を行うことを目標にしています。

浅野ゼミナールの特徴として、公認会計士や税理士、日商簿記の試験合格を目指す人の他に、経営学科の学生が在籍することが挙げられます。将来、金融やコンサルを目指す学生にとっても基礎的な論点から会計を学ぶことができる環境となっています。また、サブゼミがないため自分のペースで学習を進めることができます。研究テーマが現代会計基準における基礎概念となっていますが、書籍の輪読や実例を通して会計にかかわる様々な分野に触れることができます。

会計に興味がある人の浅野ゼミナールへの応募お待ちしております！！

・8大学合同ゼミ報告会の様子



・経営学部スポーツ大会の様子



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

様々な組織（営利組織・非営利組織）の活動に関する会計的考察

2 研究内容

営利組織とは企業会社を指し、非営利組織とは学校、病院、福祉施設（介護、保育等）、公益法人（音楽・美術団体、奨学金などの助成財団等）、NPO 法人（貧困、災害・国際支援等）、さらには官庁・市役所などを指します。こういった組織体における「利益」とは何でしょうか。SDGs への対応が身近な問題となっている現代、複雑・多様化し様々な「社会的課題」が生じている中で、これらの組織体はその解決のためにどういった活動をしているのでしょうか。活動の裏側には必ず「お金」が動いています。当ゼミでは、「お金」の面から組織体の活動を分析し、活動の成果としての「利益」がどのように使われるか、使われるべきかということを考えていきます。

まず、比較的身近な企業会計で土台となることを学習して基礎知識を得たのち、実際の具体的な組織体の経営・会計に関する情報を入手（インプット）し、それを分析・発信（アウトプット）する力を養います。現代は、様々なメディアから多様な情報が発信されていますので、その中から正確な情報を識別して掴み取ることはとても重要です。ゼミでは、まず、その力を養った後、各自（グループ）で収集した情報を分析しまとめて、その成果を発表していきます。論理的な資料作りができ、人前で話すことが出来る、そういった社会で役立つ「総合的な力」を楽しく培うことを目指してほしいと思います。

また、財務会計は社会と密接に結びついている研究分野ですので、座学のみでなく、実社会とのつながりを意識したゼミ活動を行います。学んだことを「社会でためす」「社会から学ぶ」という意味で、調べた組織体を訪問しプレゼンを行います。これまで、関東はもとより北海道、関西、沖縄など、学生の関心に応じてフィールドを選択して訪問してきました。2022年度は3つの班を作り、川崎でセンコー株式会社、広島で有機栽培農場はなあふ、松山で愛媛県観光協会を訪問して研究成果をプレゼンし、その結果を発表した学内プレゼン大会では3班とも入賞することが出来ました。この活動では、組織研究・発表の練習はもとより、会社へのアポイントメントの取り方や、訪問時のマナーなども修得することが出来ます。

4年生のゼミでは、卒業論文を書きます。3年生での研究を踏まえて、各自が選択したテーマについて個別研究をして、報告会も行います（これまでの卒論テーマ領域の例：、統合報告書、CSR 会計、国際会計、年金の将来、など）。

3 参考文献

必要に応じて紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

14名くらい。自己推薦書と面接で行います。

5 その他

当ゼミでは、毎回各自必ず1回は発言することを求めます。また、「今日できることを明日に伸ばさない」やる気みなぎる明るい人に来てもらいたいと思います。ゼミ合宿、プレゼン大会、企業や工場訪問などを行い、学ぶ時間と遊ぶ時間を皆で共有できる多様な機会を設けますので、積極的に参加して生涯にわたる仲間づくりをしましょう。

石津ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

☆石津ゼミとは

石津ゼミは、3年次前半に財務会計の基礎について学び、それ以降は学んだことを活用して、具体的な企業・組織の経営・会計を調査・分析します。

他のゼミにない特徴としては、その自分たちの分析結果を調べた企業・組織を訪問して成果発表することです。自分たちで調べた内容をプレゼンという形で表現することによって、プレゼン能力やパソコンスキル等を高めていくことができます。とても緊張しますが、この経験は就活での自己PRにもとても役立ちます。

また、授業以外にも合宿、スポーツ大会、ゼミプレ、その他イベント等、様々な活動にも取り組んでいて、ゼミ生同士とても仲が良いです（イベントについては自分たちで主体的に企画します。）



☆活動内容

普段の授業では、自分たちが調べてきた活動内容について個人、またはグループでプレゼンを行います。ゼミ生は発表内容への質問等を通じて理解を深めていきます。理解が難しいところは先生がわかりやすく教えてくれるので会計知識に自信がなくても問題ありません。

3年生次後半になると、企業・組織訪問を行い、その成果を学内でのプレゼン大会で発表します。自分たちで企業にアポを取り、積極的に調べていくことで主体性や協調性を身に付けることができます。4年次では各自でテーマを決め、卒業論文を書いています。

☆先生 & ゼミ生について

学科問わず皆で楽しく活動しています。
先生はとても優しく、知識も豊富で話が面白いです！
一緒に石津ゼミを盛り上げていきましょう！



【年間行事予定】

- 6月 新歓コンパ
- 夏休み 合宿
- 10月 スポーツ大会
企業訪問
- 11月 学内プレゼン大会
- 12月 Xmas パーティー
- 春休み 合宿

※状況によって一部行事が開催されないことがあります

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

企業の戦略や意思決定の要因について多角的に研究する

2 研究内容

1) グループワークによる企業研究

企業がなぜそのような戦略や解決方法を選択し採用するのか、その要因やプロセスについて、企業の歴史、ガバナンス構造、組織特性、経済的・制度的環境要因など、多面的な視点から分析していきます。

具体的には、個別企業のケースについて丹念にみていきます。面白そうな企業を1社選び、多面的な視点から分析します。分析に当たっては、グループを組んでもらい、各グループに別々の視点を課して分析してもらいます。主として、春学期に行います。

2) 外部主催イベントへの積極参加

首都圏では、企業が主催する学生を対象としたプレゼンテーション大会や研究発表大会が数多く開かれています。

これらのなかで、興味のあるものを自分たちで選択し、参加してもらいます。他大学の学生と交流することで、多様な考え方や自らの課題を発見してもらいたいと思います。主として春学期に行います。

3) 学部プレゼンテーション大会や大学間研究交流会・ディスカッション会等への参加

経営学部では、ゼミナールの研究成果を競うプレゼンテーション大会を開催しています。また、ゼミでは、青山学院大学や獨協大学といった他大学との研究報告会やグループ討論会などもやっております。これらへの参加ならびに運営なども行ってもらいます。秋学期に行います。

4) 企業訪問

時間と機会がある場合は、企業訪問を行います。これは、事前に企業研究を行い、その成果を訪問先企業のスタッフの前でプレゼンテーションをし、フィードバックをもらうというものです。可能ならば、学年末の2月から3月にかけて行います。

3 参考文献

適宜指示

4 募集予定人員・選考試験

16名程度（交換留学生を含む）

5 その他

牛丸ゼミ 2024

牛丸ゼミとは…

- ・システムシンキングや統計学を学び、企業の失敗、成功要因を考察するゼミです。
- ・二年タイプですが、ゼミプレでの優勝、準優勝を果たしています！！

JAL への企業訪問

年間スケジュール

○2年生（授業自体はありません！）

5月 ゼミ試験

6月 合格発表

7月 顔合わせ・コンパ

10月 ゼミ合宿

▷セミナーハウスで2泊3日！

スポーツ大会

▷昨年はバスケットとバレー、大縄に参加！

12月 DHC コンペ・忘年会

4月ゼミ開始



ゼミプレ 2019
優勝&準優勝！



○ゼミ試

ES, 筆記テスト, 面接を行います。十分な準備や基礎的な経営学の知識が必要です。

○ゼミ合宿

ゼミ合宿は毎年10月に2泊3日で行います。2年生は最初のゼミ活動になります！
プレゼン発表を行います！

経営学部ゼミプレや外部のコンペに参加するなど、かなり活躍をしています！！

2年タイプではありますが、ゼミが始まる前から交流は多くできるので、すぐに仲良くなれます！！

興味を持ったら、ぜひ話を聞きに来てください！

41. 枝村演習〔2年タイプ〕

教授 枝 村 祥 平

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

哲学

2 研究内容

本ゼミでは、学生が自発的にもった関心を尊重しながら、現代でも有意義な哲学的テーマを掘り下げることをめざします。古典を重視はしますが、教員も学生もたえず今の時代の問題と関係づけて考えることが大事だと思っています。

暫定的に、以下のような演習の進め方を計画しています。

演習Ⅱ（3年）

学生も興味深いと思える（と私が考える）テーマを設定し、それぞれのテーマについて四つ以上の重要文献を輪読するつもりです。暫定的なテーマは「幸福とは？」「自分とは？」「仕事とは？」（以上前期）、「コミュニティー・国家とは？」「合理的思考とは？」「歴史とは？」（以上後期）です。文献は西洋のものが中心になりますが、日本や中国のものなども考えています（例えば仕事についていえば、アリストテレス、マルクスなどの他、石田梅岩も面白いと思います）。学生からのテーマの提案や文献紹介も積極的に聞き入れます。

輪読は、①事前に特定のゼミの日で扱う文献が何ページから何ページまでで誰が担当だと決めておき、②その回には担当者がスライドかレジメをつかって文献について解説し、③次に教員が補足プレゼンをし、④さらに読んだテキストに関連した質問を書いたワークシートを配るので、それに沿って学生がリアクションペーパーを書いたりディスカッションをしたりする、という段取りを基本とします。②のあとや③のあとに自発的に質問をすることを歓迎します。

演習Ⅲ（4年）

卒論指導です。スライドを使用したプレゼンと、途中経過の原稿を使用したプレゼンの両方をやってもらうつもりです。プレゼンの後、教員や他の学生を交えた質疑応答をします。卒論テーマは「個人とは何か？」といった大きなテーマを掲げたものでも、「犯罪者をどの程度道徳的に責めることができるのか？」といった具体的な問題に切り込むものでも、「カントにおける直観の形式としての空間」といった有名な哲学者についての精緻な解釈を目指すものでもかまいません。教員は、学生の選んだテーマに沿った文献をpdfファイルでアップロードしたり、テーマに関連したディスカッショントピックを作ったりします。

最終的な提出物の質を担保するため、夏休み前に途中経過原稿を送ってもらい、それについて教員がコメントバックすることが望ましいと考えています。

以上の演習で、（1）プレゼン能力と文章作成能力が鍛えられ、（2）的を射た質問をしたりそれに答えたりする力やグループディスカッションに参加しそれをリードする力も鍛えられ、（3）自分なりの人間観や世界観を練り上げることができます。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は、ゼミの中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。エントリーシート、ZOOM面接を適宜用い選考させていただきます。

枝村ゼミ募集！

・先生がかなり学生の関心に合わせていただけるので、自由にやりたいことができる環境だと思います！哲学について知らなくても、学ぶ意欲があれば大丈夫です！

・哲学はいろんな話題が関連していて、その意味で体系的だし面白いと思います。例えば心の哲学がこんな感じで政治哲学に関係しているとかを実感できると楽しいです。

・ゼミは基本的に日本語の文献で学びます。※希望者は英語の文献で学べます。（先生がアメリカ留学していたため）また、先生は中国についても詳しいです！

・先生の専門は、17世紀のドイツの哲学者ライプニッツです。もちろん、他の哲学者にも詳しいです。サッカーなど哲学以外の雑談も出来るので、いろいろ話しかけてください！

ご応募お待ちしております。



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

中小企業・ベンチャービジネスの成長戦略

2 研究内容

日本企業の 99.7%を占める中小企業の成長発展なくして日本経済の成長はなしえないといっても過言ではありません。それゆえ中小企業の成長発展に向けての研究は意義あるものといえます。ただし、中小企業の存在は異質多元的であり、一括りに論じることはできません。

ゼミでは、研究目的を明確にしたうえで、業種、業態、規模、立地など一定の基準で研究対象を定め、研究目的達成に向けての活動を進めていきます。

その際、全員で一つのテーマに取り組むのか、いくつかのテーマを設定してグループに分かれて研究に取り組むのか、そもそもどのようなテーマを設定するのかなどについては、基本的にゼミ生が自主的に決めて進めています。

2023年度は2チームに分かれて、「伊勢神宮とおかげ横丁」「中小規模テーマパークにおける成長戦略」をテーマに研究をしました。2チームともに中小企業による「地域活性化」「街づくり」を意識した研究テーマであり、相互に刺激しあってよい研究ができました。そして、研究成果をプレゼンテーション大会で発表にして、2チームとも入賞を果たしました。

また、中小企業の実際の経営をみるために工場見学に出かけています。見学先は、地場産業の活性化、地域振興ということで注目されているイベントの一つである「燕三条工場の祭典」です。

「燕三条工場の祭典」は、2013年から新潟県三条市と燕市で毎年10月に開催されているイベントで、「モノづくり企業」を中心に両市で100社ほどの企業によるオープンファクトリーであって、中小企業経営の在り方に様々な示唆を与えてくれます。それを見学することは、ゼミでの研究活動においても意味のあるものとなっています。

3 参考文献

岡田編著『中小企業のIT経営論』同友館。

岡田編著『ケースで学ぶまちづくり』ぎょうせい。

等々、必要に応じて随時紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度を想定していますが、意欲があつて積極的なゼミ活動を目指す人に集まってもらいたいので、特に人数にこだわりはありません。

選考方法は、例年、面接とグループディスカッションをおこなっています。

5 その他

特になし。

岡田ゼミって？



興味のある
ことを選んで
自由に研究
できる

朗らかな
雰囲気

どのくらい
ハードワーク
するかは自分
たち次第

中小企業に
関して深く
研究できる
唯一のゼミ

ゼミ以外の
活動とも両
立できる

年間スケジュール



4月ゼミ活動スタート

11月のプレゼンテーション大会
に向け、テーマを決めて研究を
始めます。



10月ゼミ合宿 in 新潟

燕三条で開かれている
工場の祭典に足を運び、
現地の企業見学をします！



11月ゼミ対抗

プレゼンテーション大会
各チームの研究内容を、大会
で発表します！

以上がざっくりとした岡田ゼミの紹介になります。それぞれがチームに分かれて、中小企業関連のテーマを決め、研究を進めるというスタイルで活動しています！ちなみに私たちが指導して下さる岡田先生はとても知識・経験共に豊富で、実は大学活動以外にも、地域活性化のためのコンサルや、霞が関の行政機関などでの意見交流なども行っています！岡田先生含め、生徒も非常に朗らかな雰囲気で、でもやるときは本気で取り組む素敵なゼミですので、是非皆さんの応募をゼミ生一同お待ちしております！



Instagram も♡

Okadaseminar2023

43. 佐々木演習〔2年タイプ〕

教授 佐々木 聡

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本の経営発展を担った企業と企業家の革新と発展要因についての実証的研究

2 研究内容

3年の前半期（春学期）には、日本経営史・日本企業家史に関する基本的な文献を輪読するとともに、他大学との研究交流会の準備を自主的に進める。また、フィールド・スタディに参加して、実際の企業の歴史と現状について学ぶ。それ以外にも、財界団体や中央銀行や諸企業の見学を積極的に実施する予定である。3年の後半期（秋学期）は、研究交流会の発表（ケース・スタディ）の内容の完成に集中して取り組むことになる。

4年は、指導教授と相談しながら各自の卒業論文に取り組む。

3 参考文献

佐々木聡編『グラフィック経営史』（新世社）
宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・沢井実・橘川武郎『日本経営史』【第3版】（有斐閣）
宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史—江戸期から現在まで』（有斐閣）
安部悦生『経営史<第2版>』（日経文庫），米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）
島田昌和『渋沢栄一』（岩波新書），
佐々木聡『日本の企業家群像』（丸善）
佐々木聡『日本の企業家群像Ⅱ』（丸善），佐々木聡『日本の企業家群像Ⅲ』（丸善）
佐々木聡『日本の戦後企業家史』（有斐閣）
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』（有斐閣）
佐々木聡『科学的管理法の日本的展開』（有斐閣）
佐々木聡『日本的流通の経営史』（有斐閣）
佐々木聡『シリーズ情熱の日本経営史③暮らしを変えた美容と衛星』（芙蓉書房）
佐々木聡『地域卸売企業ダイカの展開』（ミネルヴァ書房）
佐々木聡『産業経営史シリーズ⑩石鹸・洗剤産業』（日本経営史研究所）
佐々木聡『日本の企業家9 丸田芳郎』（PHP 研究所）
佐々木聡『中部地域有力卸売企業・伊藤伊の展開』（ミネルヴァ書房）
佐々木聡『グラフィック経営史』（新世社）
佐々木聡『西日本の有力卸売業サンビックの展開』（ミネルヴァ書房）

4 募集予定人員・選考試験

10～13名程度

※選考試験時に、志望動機を300字程度にまとめた文章をエントリー・シート内の該当欄に記入すること。

※選考で合格が決定しても2年次中の課題レポート（3回を予定）の提出状況（およびゼミ活動への積極性の欠如）などによっては、3年次のゼミ履修を遠慮してもらうので注意して下さい。

5 その他

意欲的かつ積極的な勉学の姿勢が求められるので、ゼミ活動と勉学を最優先できる方の応募を期待する。

佐々木ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

佐々木ゼミは日本経営史について学んでいます。研究対象は創業 200 年以上の老舗企業から、最近できた新しい会社まで幅広いです。2023 年度はオリエンタルランドについて分析しました。実際の企業を見学できるフィールドスタディや、三大学 4 ゼミ研究発表会などがあり、ゼミ生は熱心に学んでいます。また、論文の書き方など、文章づくりの基本を学ぶこともできるので、就職活動のみならず、就職した後の仕事にも大いに役立ちます。是非、佐々木ゼミで知識を深めましょう！

日本工業倶楽部見学の様子（東京駅のほぼ目の前にあります！）2023 年 6 月 12 日



フィールドスタディでは、企業や企業資料館の実際を見ることが出来ます。昨年までは、日本工業倶楽部、花王、オムロン京都太陽、島津製作所、同社創業記念館、ナビックピドットコム（位置情報の IT 企業）、東芝未来科学館、トヨタ産業技術記念館、名古屋のノリタケ、北海道の五島軒、五稜郭タワー、金森商船などの見学を実施しました。

毎年冬に、明治大学、慶應大学、駒澤大学のゼミが集まり、1 年通して研究したものを発表する合同プレゼンがあります。他大学の学生や先生と交流が持てるのも大きな魅力です。

佐々木聡先生は、経営史・企業者史を専門に、駿河台キャンパスで授業を行っています。日本の経営史や企業家に関するさまざまな書籍を執筆されており、最近では、小中学生向けに『すごい実業家のアカン話』という本の監修もされました。厳しいところもある一方で、我々ゼミ生を気にかけてくれる優しい先生です。佐々木先生と一緒にイノベーションを起こそう！

Instagram

meiji_sasaki_seminar



44. 高澤演習〔2年タイプ〕

専任講師 高澤 陽太郎

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

経営数学

2 研究内容

社会や産業の世界で生じる複雑な事象は、数理モデルとして表現することによってそれに対して有益な情報や示唆が得られることが多い。本演習では、身の回りの社会現象や経営課題を数理モデル的な観点で捉えることができるようになることを目標とする。

【演習Ⅱ（3年生）】

前期：輪読を通して数学の基礎を学ぶ。

後期：ゼミ生ごとに身近な問題に対して課題設定をし、その発表を行う。

【演習Ⅲ（4年生）】

輪読やプログラミングを通して経営数学（特にオペレーションズリサーチ）を学ぶ。

3 参考文献

1. 『データ分析のための数理モデル入門 本質をとらえた分析のために』江崎貴裕（ソシム）
2. 『Python ではじめる数理最適化 一ケーススタディでモデリングのスキルを身につけよう』岩永二郎・石原響太・西村直樹・田中一樹（オーム社）
3. 『論理と集合から始める数学の基礎』嘉田勝（日本評論社）

4 募集予定人員・選考試験

募集人員：最大10名程度。

選考試験：希望人数が多い場合は筆記試験等を予定。

5 その他

少人数のため、受講生の様子/要望に応じて演習内容を一部変更する可能性があります。

Q. ゼミを通して学べることは？

A. 「物事を論理的に考える力」、「自分の考えを“言語化”し発表できる力」の2つです！

Q. ゼミメンバーは？

A. 新4年生:3名 新3年生:約3~4人(予定)
2023年度創設したての超少人数ゼミです！

Q. ゼミで行うことは？

A. 3年生の段階では「(数学の教科書を用いた)議論の基礎となる考え方の学習」と「自由研究(興味を持った問題/課題を発見し探究する)」の2つを行う予定です！

Q. このゼミの魅力ってなに？

A. 主にはこのようなものが挙げられます！

- ・ 研究テーマは自由！
- ・ 少人数のためディスカッションの機会が多く、論理的思考力や発表力が身につく！
- ・ ゼミ外でのイベントが少ないため、自分のやりたいことと両立させやすい！
- ・ 数学がニガテな方でも大丈夫！（必要な数学知識はナシ）
- ・ 卒論は基本ナシ！

Q. このゼミに向いている人ってどんな人？

A. 下記のような方はこのゼミに向いていると思います！

- ・ 主体性があり、積極的に発言ができる人
- ・ 議論が好きな人
- ・ 物事を深く考えることが嫌いじゃない人
- ・ 日常生活が忙しすぎない人(自分の時間を確保できる人)

〈各ゼミ生から一言〉

S.M.: このゼミでは分からないことが分かるようになったというより今まで分かった気であったことがよく分からなくなったことの方が増えました。

Y.M.: 入室後すぐの頃は「どんなことを学べるのだろう？」と少し不安に感じていましたが、ゼミの内容をこなしていく上で、身近に存在する問題に対してより関心を抱くようになったり、思考する上で欠かせない論理的な思考法が見についたりしました。ゼミ活動で得られたものはかけがえのない財産であり、「高澤ゼミに入室して良かったな」と感じています！

H.D: このゼミは自由度と包容力が高いゼミです。日本語が得意ではない留学生でも自由に発言でき、論理的な日本語コミュニケーション能力を高めるのに役立ちます。また、ゼミ外のイベントが少ないので、時間を利用し、資格の勉強と両立できました！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

心理学を活かしたビジネスとマネジメント

マーケティングにおける消費者心理や組織におけるリーダーシップ研究など、経営において人間心理を理解することは非常に重要です。研究テーマに悩む人もいるかもしれませんが、基本的には広く経営学や心理学に関するものであれば自由です。むしろ、そうした課題を自ら探し出せる人を求めます。指導教員は ICT 企業や行政体を含むインフラ業界を中心に安全、セキュリティ、コンプライアンスなどについてのアドバイスをを行っていますので、こうした分野に興味がある方も歓迎します。

2 研究内容

中西晶ゼミナールでは、メンバーが主体的に研究テーマを決めて、3年生はグループ研究、4年生は卒業論文研究を中心に活動します。教室の中だけではなく、ビジネスの現場を知ることが重視されています。2023年度は、東京理科大学、拓殖大学、目白大学、北海学園大学、札幌市立大学とともに、北海道仁木町のワインツーリズムを考える課題解決型プロジェクトを実施しました（<https://www.meiji.ac.jp/social/japan/mkmht0000012xixx.html>）。こうした機会を通じて、グループワークやプレゼンテーションの技術も向上させていきます。将来のキャリアについても、2023年度は、金融機関出身のキャリアコンサルタントの講義、IT企業 CAC 様からのオファーで AI を利用した就活アプリ「カチメン」（https://www.instagram.com/kachimen_official/）の体験などを通じて考えていきました。これらの成果を踏まえ、学習院大学との合同ゼミを実施しました。4年生の卒業論文の研究対象は自由であり、最近の卒業論文では、「部屋と心の関係」など心理学的な研究もあれば、非正規雇用の実態と女性のキャリアや AI の問題、コロナ禍を経験した若者にとっての「青春とは」など多様です。今後も、企業訪問や工場見学、実務家との交流、他ゼミや他大学との交流も積極的に行っていきます。

3 参考文献

『マネジメントの心理学』中西晶著(2014)日科技連出版社

経営心理学の教科書です。授業を受けていない人も基礎知識として読んでください。

『産業・組織心理学を学ぶ』金井篤子編(2019)北大路書房

シリーズものの第1巻です。経営心理学（産業・組織心理学）全般を知るために。

『心理学ミュージアム』日本心理学会 <https://psychmuseum.jp/>

文献ではありませんが、心理学に関するさまざまな研究がまとめてあります。

『高校生のための心理学講座』日本心理学会

https://psych.or.jp/interest/lecture_hs/

高校生向けですが、心理学の入門としてわかりやすい動画です。

4 募集予定人員・選考試験

15名程度。エントリーシートと先輩ゼミ生の面接によって評価します。

5 その他

サブゼミは強制していませんが、プロジェクト活動や、ゼミプレ等で授業時間以外を使うことがあります。多様性を楽しみ、自主性と協調性、情報リテラシーとモラルの高い人を求めます。将来の進路は、情報通信、コンサルティング、人材関連、ベンチャー、金融保険、メーカー、公務員、大学院など多様です。

中西晶ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

～中西晶ゼミとは??～

私たち中西晶ゼミは、ゼミ生それぞれの個性を重んじ、学びたいこと、興味があること、将来やりたいことなどを自分たちで自由に、そして主体的に研究していくゼミです。統括するのは経営心理学やナレッジマネジメントのスペシャリスト、我らが **BIG BOSS**、

中西晶先生!! 私たちのゼミでは経営に関係する内容であるならば、基本的にどのような研究を行っても問題ありません。泣いても笑っても大学生活最後の2年間。同じ2年間なら自分たちがやりたい研究をやりませんか?

～活動内容～

昨年度の3年生は、東京理科大、拓殖大、目白大、北海学園大、札幌市立大とともに北海道ワインツーリズムを研究しました。各グループのテーマは、「仁木町ワインの知名度向上に向けて (ブランディング)」「長期ワイン生産プロジェクト (関係人口の創出)」「ワインを活用した地域活性化に向けて (ワインツーリズム)」3つのテーマでグループごとに研究を行い、1月に6大学合同ゼミで発表しました。また、12月には学習院のゼミとの合同ゼミにおいてディスカッションをし、お互いの知見を深めあいました!

～2022年度のスケジュール～(3年時よりゼミ活動開始)

- 4-5月 ゼミ試験
- 6-7月 自己分析, 企業研究, プレゼン
- 8-10月 ゼミ合宿, ワインツーリズム研究
- 12月 合同ゼミ, 特別講義, 就活相談・座談会, 忘年会
- 1-3月 ワインツーリズム発表



[Instagram](#) で nakanishisemi を検索!
ぜひ中西晶ゼミへ! 待ってるよ!

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

経営学を使って Well-Being を創り出す

2 研究内容

- 1年を通じて、**幸せな人生 (Well-Being)** とは何かについて、さまざまな角度から学びを深め、それぞれの論点を理解できるようにします。そのために、「働くということ」「病気・貧困・失業など、逆境をどう乗り越えるか」などを一緒に追究してゆきます。
- また、経営学がこれらにどのような貢献ができるか、どのような関わりがあるかということも考えてゆきます。これまでに学んだ経営学の知識をテキストの中の学習に終わらせず、実社会といかにつながっているか、体感してほしいと思っています。
- 共通していることは、医療や経営学の学習を通して、人間を学ぶということです。病気になったり、失業したり、障害を負ったり— 人生にはアクシデントがつきものです。それでも幸せな人生 (Well-Being) を追い求めるにはどうすればいいのでしょうか？ゼミでの2年を終える頃には、より深く人間というものについて考えられる人になっているはずです。
- 毎回の授業では全員が必ず自分の意見を述べるように促します。一つのテーマについてディスカッションできる機会というのは、卒業すると案外ないものです。「なぜだろう？」という素朴な疑問を大切に、自分の想いや考えを、たくさん話してください。
- 2023年度の3年生は、「**クリエイティビティを豊かにする**」というテーマで活動をしてきました。春学期には医療・福祉・労働と班を分けて、楽しみながら学べるゲームの開発を行いました。そして、秋学期には2つの班に分かれて、1コマの授業を創ってもらいました。いずれも各班で創意工夫をこらし、楽しい時間となったようです。
- 毎年必ず、**外部講師を招いた特別講義**を催し、視野を広げるようにしています。2021年度は労働組合の役員の方、2022年度は医師をお招きしました。2024年度は行政の関係者をお招きする予定です。
- 4年生は各自の興味関心を絞り込み、**卒業論文**を執筆してゆきます。
- 2022年度は16名、2023年度は13名、2024年度は13名が入室しています。人数は多いですが、一人ひとりの個性を大切にしたいので、必ず**個人面談**を行い、就職活動や日常の悩みを話せるように努めています。ピクニックや飲み会など、レクリエーションも実施しています。

3 参考文献

- エヴァ・イルーズ、エドガー・ガバナス (2022) 『ハッピークラシー』みすず書房
- 中村高康 (2018) 『暴走する能力主義』ちくま新書
- 大友良英・稲葉俊郎『見えないものに、耳をすます：音楽と医療の対話』アニノマ・スタジオ
- ジェイク・ローゼンフェルド (2022) 『給料はあなたの価値なのか』みすず書房
- ウィル・ストーリー (2022) 『ステータス・ゲームの心理学』原書房

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。面接と小論文の提出を求めます。

5 その他

3・4年次で早川の「医療マネジメント論」「福祉マネジメント論」のいずれかを履修すること。
4年次では卒業論文の執筆が必須となる。

【早川ゼミナールとは？】

私たち早川ゼミナールは、自分たち自身と深く関連し合う、「社会」に対する理解を深めることを前提に、現在の世界における、労働や医療、福祉に関するアプローチを基に、「人間」という存在を突き詰めていくことにその学習の焦点を当てています。

また、お互いに意見を出し合う姿勢を心掛けていくことを軸に、グループワークに取り組むことの大切さを実感することもできるゼミナールです！



【これまでの活動内容】

春学期においては、市販のボードゲームを参考にしながら、「医療」「労働」「福祉」の3グループに分かれてそれぞれボードゲームを作成しました。現代の医療における問題やブラック企業、特定の業種での長時間労働問題について取り上げたゲームを自分たちで作ることで、普段の学習では考えが及ばないことについても深く知ることができました。また、完成後にそれぞれのゲームをプレイしながら学生同士で教え合える環境もこのゼミの魅力であると感じました。

秋学期においては、二つのグループに分かれて「ハッピークラシー」「暴走する能力主義」という二冊の本について、こちらも2つのグループに分かれて講義を1回分ずつ作りました。「本当の幸せとは何か、本当の意味で幸せになることはできるのか」や「近代から現代にかけて社会人として求められる能力がどの用に変化してきたか、またその評価方法の妥当性」について同じゼミの仲間と議論をととても貴重な経験をすることができました。



【お勧めしたい情報！】

グループワークを中心とした活動が大半を占めており、メンバーの一人一人のキャラクターがたっていて、またグループワークに励みながらも、時にはグループ関係なく雑談を交えた話し合いが行われているため、お互いを気遣い学び合う姿勢を育んでいくこともできます！以上のように、私達のゼミナールは、「勉強と遊びの両立を行いたいな〜」と考えている学生や、これからの自分の進路で悩んでいる時に、「自分のことをよく知る相手に気軽に相談をしたいな〜」と考えている学生に対して、自信を持ってお勧めすることのできるゼミナールです！

是非ご検討ください！皆様のご応募お待ちしております。



47. 真継演習〔2年タイプ〕

専任講師 真 継 左和子

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

地域研究、応用言語学（英語教育）

2 研究内容

専門とアメリカ留学（約8年住んでいました）の経験を生かし、1年目は地域研究（アメリカとその他各国）を通して世界の様々な文化、経済、社会問題等を学びます。それにより日本（留学生の場合は自分の出身国）を客観的に見られるように演習を進めていく予定です。

2年目は日本（出身国）の英語教育と関連する問題について学びます。共通語としての英語の在り方（World Englishes, Native speaker norms など）、大学入試改革、TOEICをはじめ英語資格試験が大学英語教育や社会に与える影響、これからの日本（出身国）の英語教育はどうあるべきか等と一緒に考えていきたいと思えます。また、2年目は英語の文献も読み、クラスで分析・討論していきます。

それと同時に受講生の英語を伸ばすことも目的としています。アカデミックプレゼンテーション、エッセイ、ディスカッションの指導も2年間を通して行います。

学生主体の演習なので、具体的な研究内容は受講生それぞれの興味や関心に沿って選択してもらいます。映画やドキュメンタリーなども適宜使い、フィールドトリップ（2023年度は東京ジャーミィ・ディヤナト トルコ文化センター、東京国際フォーラムにて開催のGlobal Festaに行きました）、ゲストレクチャーやインタビュー等も予定しています。

3 参考文献

適宜授業で紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

5-6名程度。自己紹介と志望動機を英語（指定部分）と日本語でレポートを作成し、提出。面接も予定。

5 その他

授業は主に英語で行う予定です。高い英語力は必須ではありませんが、2年目は英語の文献を読むので一定レベルの英語力は必要です。学生主体のゼミなので、積極的に授業に参加し、丁寧に授業準備ができる学生を求めます。プレゼンテーションやエッセイは英語のみです。

世界の文化と英語に興味があり、かつ日本（出身国）の英語教育について学びたい学生を募集します。留学生も歓迎します。

真継ゼミ



American Industries-
Economy



English Debate



Entertainments



Social Issues

真継ゼミとは？

アメリカを含む世界各国の地域特性・社会問題について英語で発表、議論を行います。3年次に文化・地域特性について研究を行い、4年次には3年次に習った内容を踏まえて、世界各国と各自の出身国の英語教育について自由に研究を行う事ができます。



Mrs. Sawako Matsugu
北アリゾナ大学 PhD
2児の母
アメリカ人の旦那さんがいる
民族料理に詳しい



少人数なのでとてもアットホーム
映画鑑賞を通して英語力向上！
留学に行った気分になれる！



お問い合わせは
Instagram

@matsuguseminar_meijikeiei

にてお願いします！

48. 森田(直)演習 [2年タイプ]

教授 森田直美

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

多彩な観点から「日本の文化」を研究する。

2 研究内容

グローバル社会において、私たちの立脚点となる日本文化への知見を深めることは大変有益です。このゼミでは、フィールドスタディ (FS) やゼミ旅行を通して地域文化や伝統工芸の調査をしたり、企業ミュージアムで日本文化を絡めた CSR 活動について知見を広げたりと、学外での活動と事前・事後学習を中心に進めていきます。

3年生から4年生の2年間、概ね以下のようなスケジュールを予定しています。

[3年生春学期]

学外での FS を中心に活動的な学びを行います。事前・事後学習を通して、文献調査やプレゼンテーションの方法も習得しましょう。

4月 駿河台キャンパス周辺でのミニ FS

5～6月 ㈱伊勢半本店 紅ミュージアムでの FS

7月 夏休みのゼミ旅行準備(日程・調査先の決定、事前学習など)

[夏休み]

7月の準備を踏まえて、ゼミ旅行(実地見学やインタビュー)に出かけます。

[3年生秋学期]

秋学期の前半は、ゼミ旅行の事後学習を行います。後半は、ゼミ生各自が個別のテーマを設定して調査・研究をし、口頭発表やレポート執筆に取り組みます。

9～11月 ゼミ旅行の事後学習

(全員での話し合いにより、11月中旬のゼミプレに参加する可能性があります)

12～1月 ゼミ生各自による調査・口頭発表・レポート執筆

[4年生春学期～秋学期]

これまでの学びを活かし、ゼミの集大成として各自の卒業論文・卒業研究に取り組みます。

[その他]

教員の専門は日本の古典文学・伝統文化ですが、ゼミ生の方々には、古代・現代にかかわらず、興味のある時代・ジャンルで卒論に取り組んでほしいと思います。「日本文化」に関わっていれば、テーマ選択の自由度は高いです。

3 参考文献

- ・ 『文化財を活かしたまちづくりの歩み』(『月刊文化財』第674号、第一法規出版、2019年)
- ・ 日本遺産ポータルサイト (<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>)

4 募集予定人員・選考試験

10名程度 エントリーシートと面接によって選考します。

5 その他

ゼミ生の皆さんには、以下の2点を求めます。これを了承した上でエントリーして下さい。

- (1) 特段の理由がない限り遅刻や欠席をせず、他のゼミ生と協力する姿勢をもつこと
- (2) 学外での学び(FS、ゼミ旅行など)に意欲的に参加すること

学ぶ時間と楽しむ時間のメリハリをつけ、充実したゼミ活動を行いましょう！

森田直美ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

ゼミの雰囲気

2023年度の3年生は、日本文化を学びたい男女4人と、おっとりとした先生の計5人で活動しています！（2024年度の3年生は8人）

少人数なため、ゼミ生と先生共にとても仲良く和気あいあいとした雰囲気です！
研究の一環と称して大学の外へ出て、仲間達と楽しく日本文化を学べます！



森田ゼミって何するゼミ？

森田ゼミでは、主に日本文化について深く学びます。日本の地域文化・伝統文化が社会にどう生かされているのか、どうしたらより発展するのかなどを考えていきます。2023年度の春学期は、主に神田明神や日本遺産について学び、プレゼンテーションや事前学習を元にフィールドスタディを行いました。秋学期は、10月に「日本のものづくり」を通して職人と交流できる見本市・ててて商店街（上の写真）に行き、12月に江戸時代後期から続く（株）伊勢半本店の紅づくりについて学ぶために表参道の紅ミュージアムへ見学に行きました。

普段はこのような活動をしています。卒業論文に選べるテーマは温泉・スポーツ・アイドルなどでもOKで、意外と間口が広いです。

これまでの3年生個別発表テーマ例

- (1) イギリス人の日本へのイメージ
- (2) 日本野球界のこれまでとこれから
- (3) 熱海温泉の現状と将来
- (4) 日本刺繍の伝統と革新
- (5) 地下アイドル文化が今後発展していくためには



最後に一言

日本の伝統から現代社会まで幅広く日本文化を学び、フィールドスタディを通して実際に日本文化や地域文化に触れる機会がとても多いです。

日本文化に興味があり、旅行や街歩きが大好きであればぜひ一緒に頑張りましょう！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

企業活動をめぐる社会・経済システム

2 研究内容

企業活動は社会や経済、政治、地域といった外的な環境と密接なつながりのなかに存在しています。そこには当然に持続可能な経済成長といった課題や一人ひとりの働きがいや生活といった問題も含んでいます。経済のグローバル化、AI や IoT などの科学技術の進展は企業や働く一人ひとりをこれまで以上に結び付けることを競争力の要とするようになるなかで、どうやって働く一人ひとりが働きがいや生活の糧を得るのかがこれまで以上に大きな課題となっています。

人事労務管理を探求することは、個別企業の経営だけでなく、複数の企業がつくるネットワークや企業が存在する地域社会やグローバルなレベルで、働きがいや女性、若年、高齢、介護、子育て、地域コミュニティ、政治・経済システム、労働者の権利、持続可能な経営といった課題と密接に関係しています。本ゼミは、先行研究の知見に頼りながら、参加する学生のみなさんの興味関心に基づいて、いっしょに考えていきます。

企業に採用されるためにはどのような能力が必要なのか、就職活動や企業でどのように働けばよいのか、自分で起業するときにはどのようにすればよいのか、働くとはどんなことなのかといったことについて考える種をたくさん育てていきましょう。

3 参考文献

(1) Ken Yamazaki, 『*Skills and the Future of Work, Strategies for inclusive growth in Asia and the Pacific*』, International Labour Organization(ILO), Akiko Sakamoto, Jonny Sung, eds. pp.1-471, Ken Yamazaki, **Managing business restructuring, employment adjustment and implications for skills in Japan** pp.43-62. 2018

(2) 共著『価値創発(EVP)時代の人的資源管理—Industry4.0の新しい働き方・働かせ方』(ミネルヴァ書房, 2018年)

(3) 共著『JILPT 第3期プロジェクト研究シリーズ④日本的雇用システムのゆくえ』(労働政策研究・研修機構, 2017年)

(4) 単著『働くことを問い直す』(岩波書店, 2014年)

(5) 共著『フレキシブル人事の失敗』(旬報社, 2012年)

(6) 共著『仕事と暮らしを取りもどす—社会正義のアメリカ』(岩波書店, 2012年)

(7) 単著『デトロイトウェイの破綻—日米自動車産業の明暗』(旬報社, 2010年)

4 募集予定人員・選考試験

5 その他

山崎ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

【教員プロフィール】

名前：山崎憲（専任准教授）

専門分野：労使関係と社会システム

ゼミ生からの印象：

- ・専門分野に留まらず就活の知識も豊富
- ・1人1人の相談に親身に乗ってくれる



【専攻】

人事労務管理論について学んでいます。

入ゼミ後は輪読を通じて人事労務管理について大掘みに理解し、その後より関心の強いテーマについて各自理解を深めていきます。



【ゼミ生研究テーマ】

- ・外国人労働者問題
- ・引きこもりの就労問題
- ・企業のジェンダー平等問題

【在籍人数】 15名（男性14名、女性1名）



【このゼミに向いている人】

- ・「チームワーク」が好きな人

→皆で同じ文献を読みながら考察を深め、3年生ではゼミプレに向けてチームを組んでテーマに取り組みます。どちらも「チームワーク」が大事です。またゼミの授業だけではなく、合宿やスポーツ大会などイベントを通じて男女関係なく仲良くなれます！

- ・「働く」というテーマについて探求したい人

→人事労務管理論だけに留まらず各自が学びたいことを後押しするゼミなのでぎっくりと「働く」ということに興味がある人はぜひ来て欲しいです！

【ホームページ】

<https://yamazakisemi.jimdofree.com/>

経営学部

ゼミナール協議会

ゼミ協とは？

経営学部のゼミを統括し、
学校生活がより
充実したものとなるよう、
様々なイベントを企画、運営する
学生主体の組織です！

ゼミの情報が満載！

Instagram

@k.zemikyo

Twitter

@k_zemikyo

フォローお願いします！



ゼミナビ

2年生のゼミ選びの
サポートをします

オープンキャンパス

経営学部の魅力を
高校生に伝えたり、
受験相談を受けたりします

ゼミプレ

経営学部最大のイベント
プレゼン大会の
運営をします

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

就活講演会

就活サイトの方にお話しを
させていただきます

スポーツ大会

ゼミ生同士の
交流の場となります

経営学部ゼミナール協議会はメンバーを募集しています！

ゼミナール協議会に入って

ここでしかできない経験を試してみませんか？